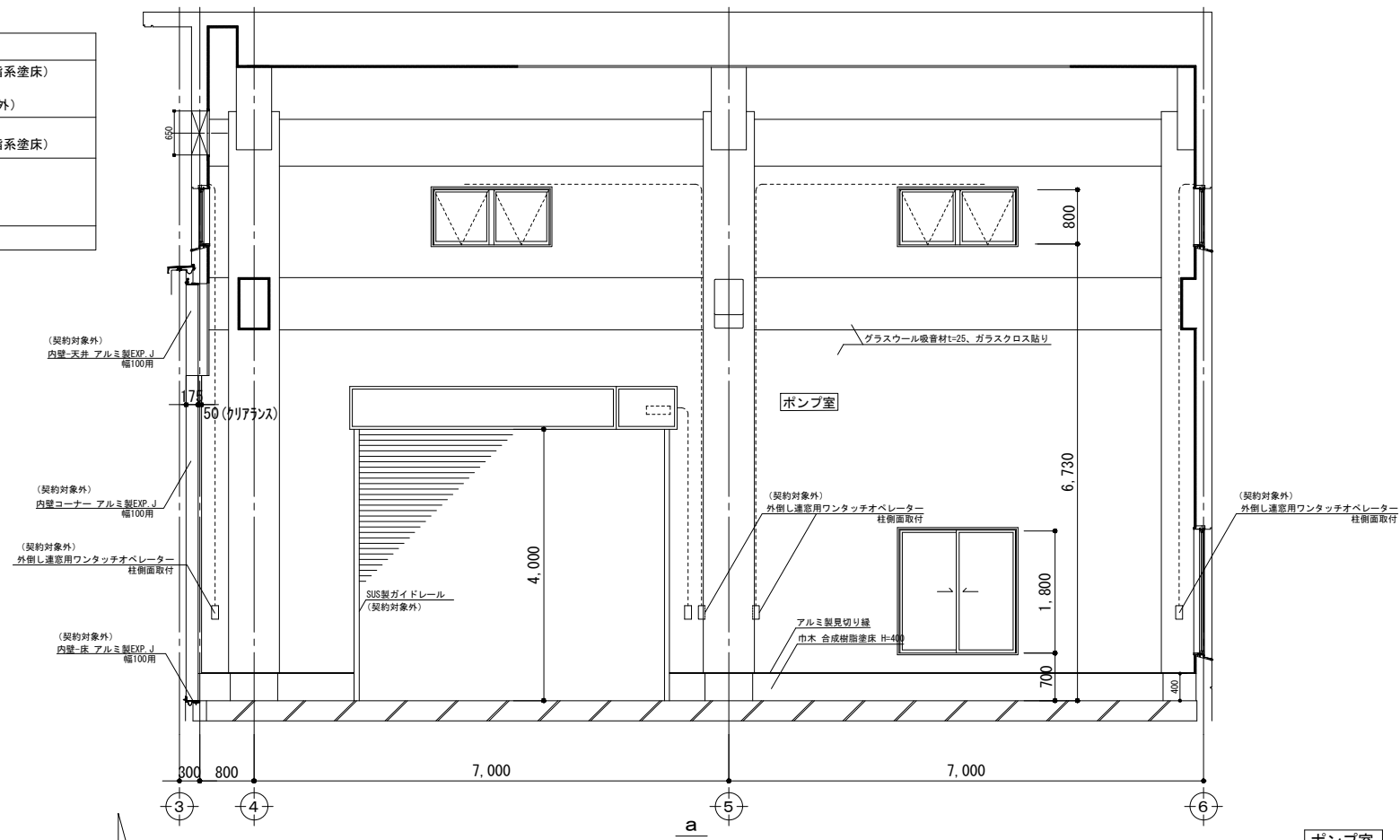
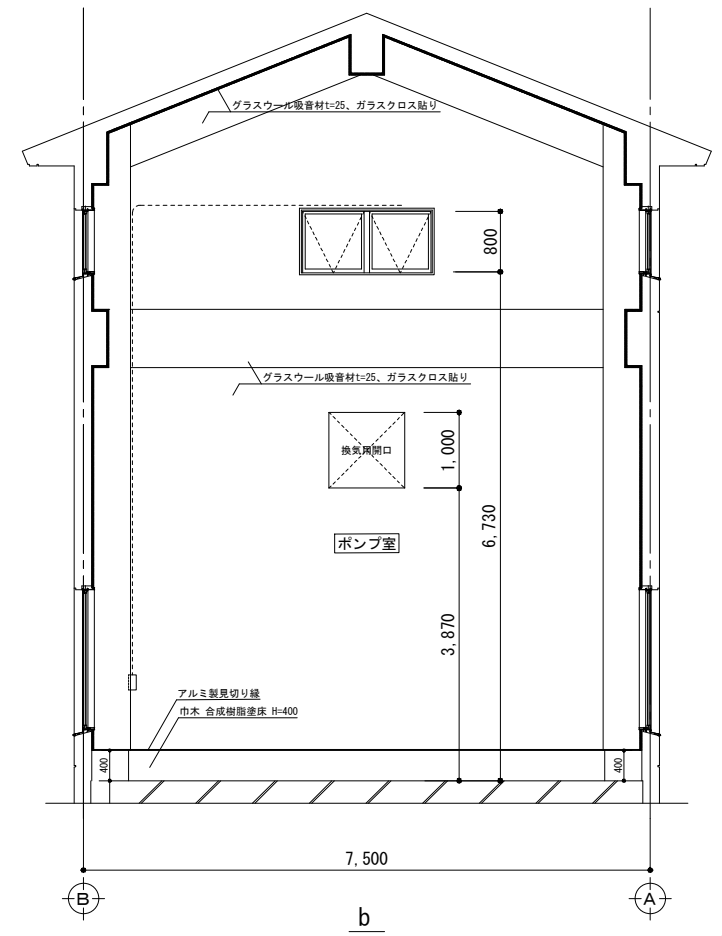


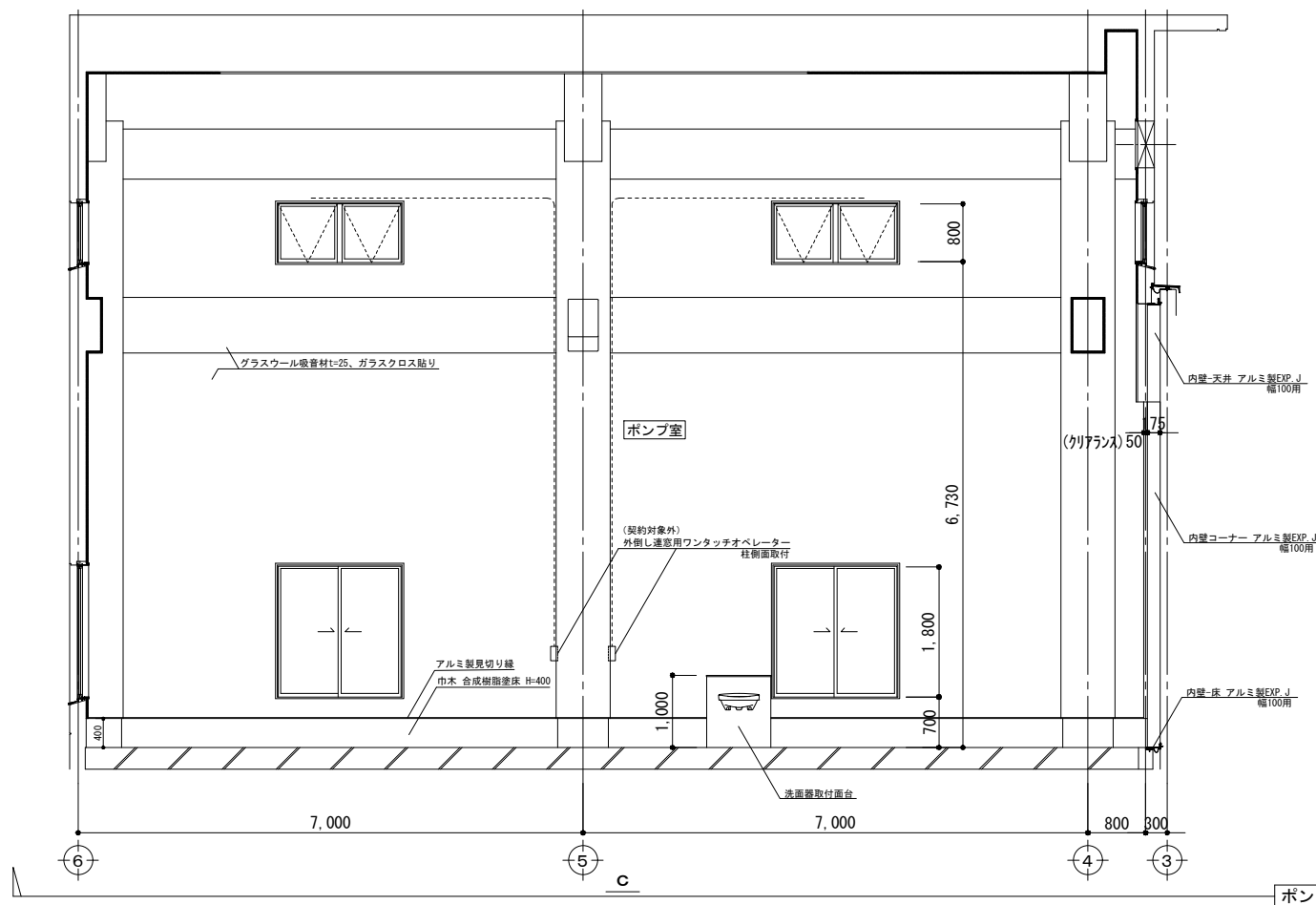
ポンプ室	
床	合成樹脂塗材 (ウレタン樹脂系塗床) (契約対象外) 二次RC t=300 (契約対象外)
巾木	CRC (B) H=400 合成樹脂塗材 (ウレタン樹脂系塗床)
壁天井 柱型梁型	CRC (B) グラスウール吸音材 t=25 ガラスクロス貼り
備考	



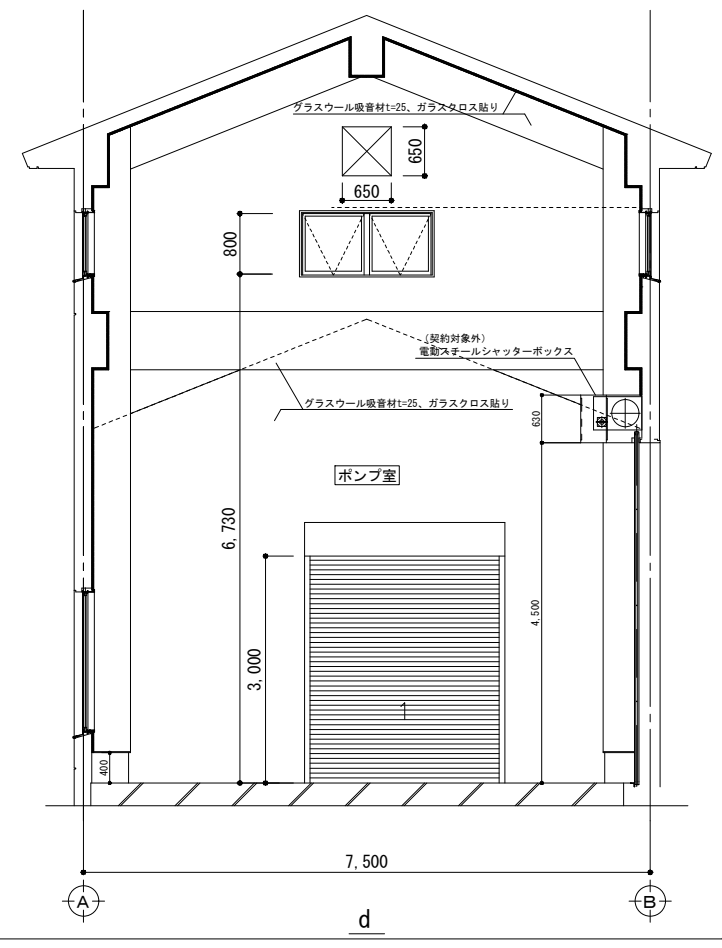
ポンプ室



b

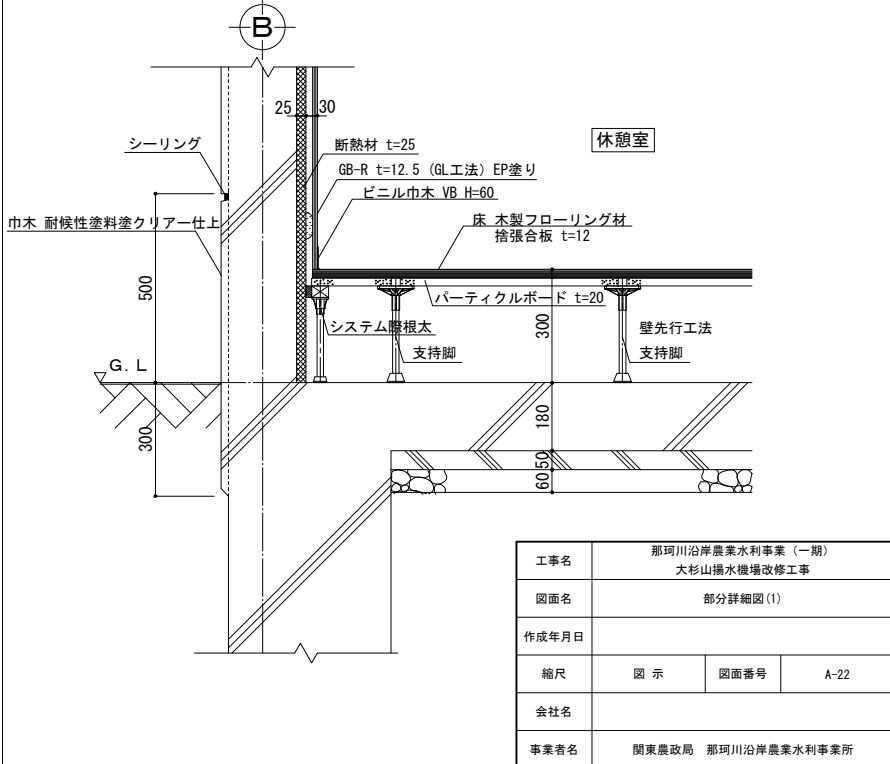
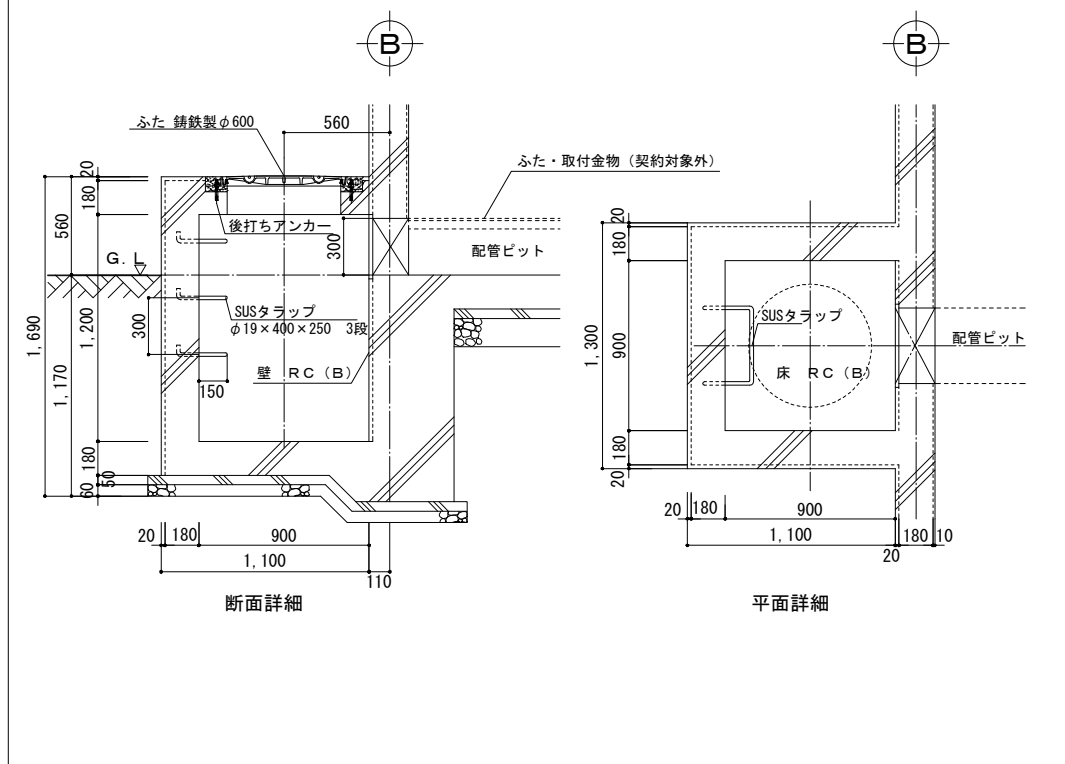
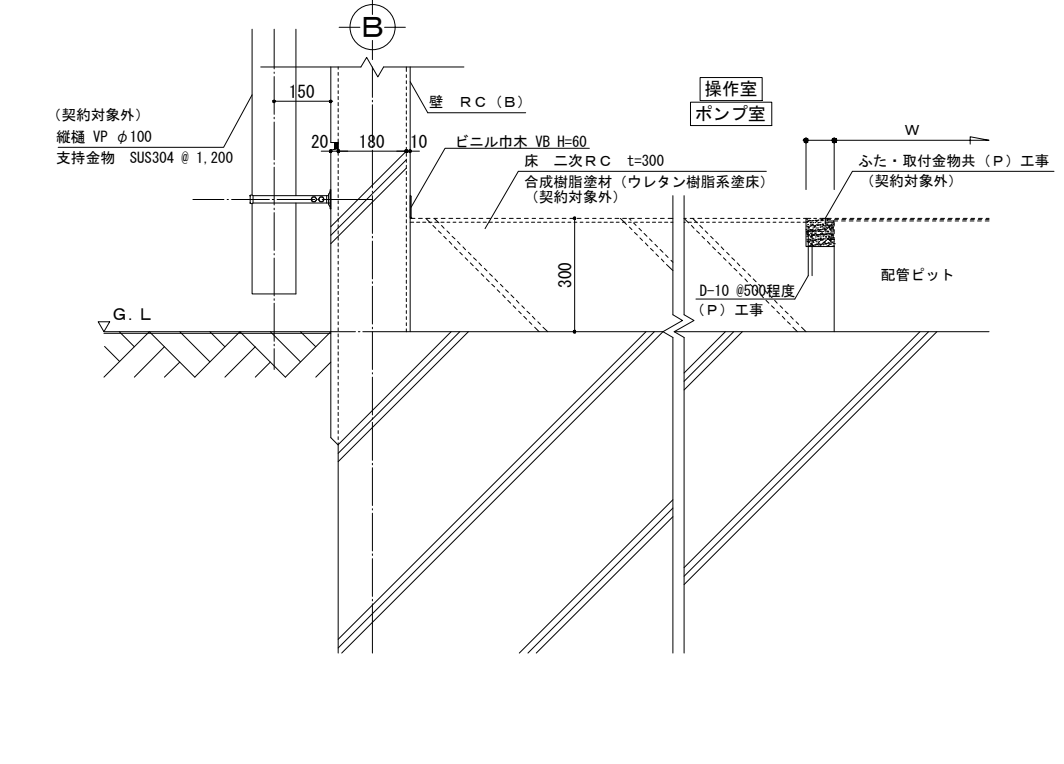
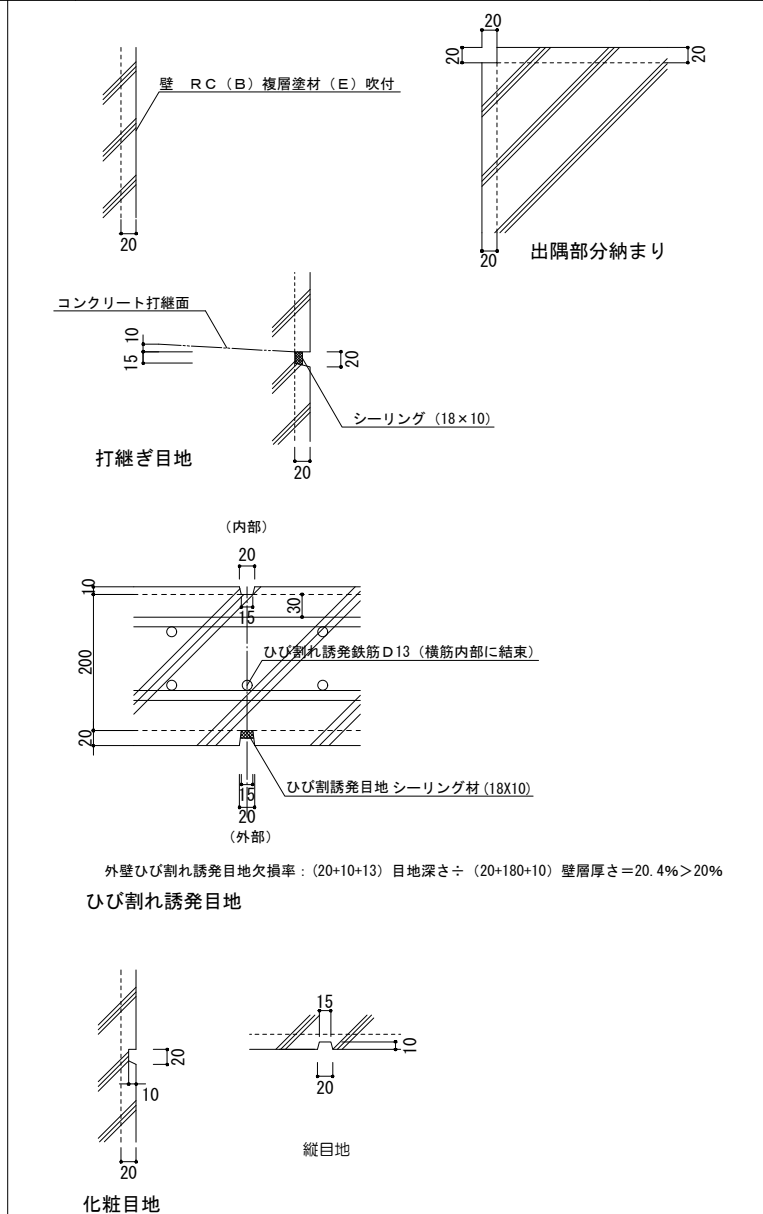
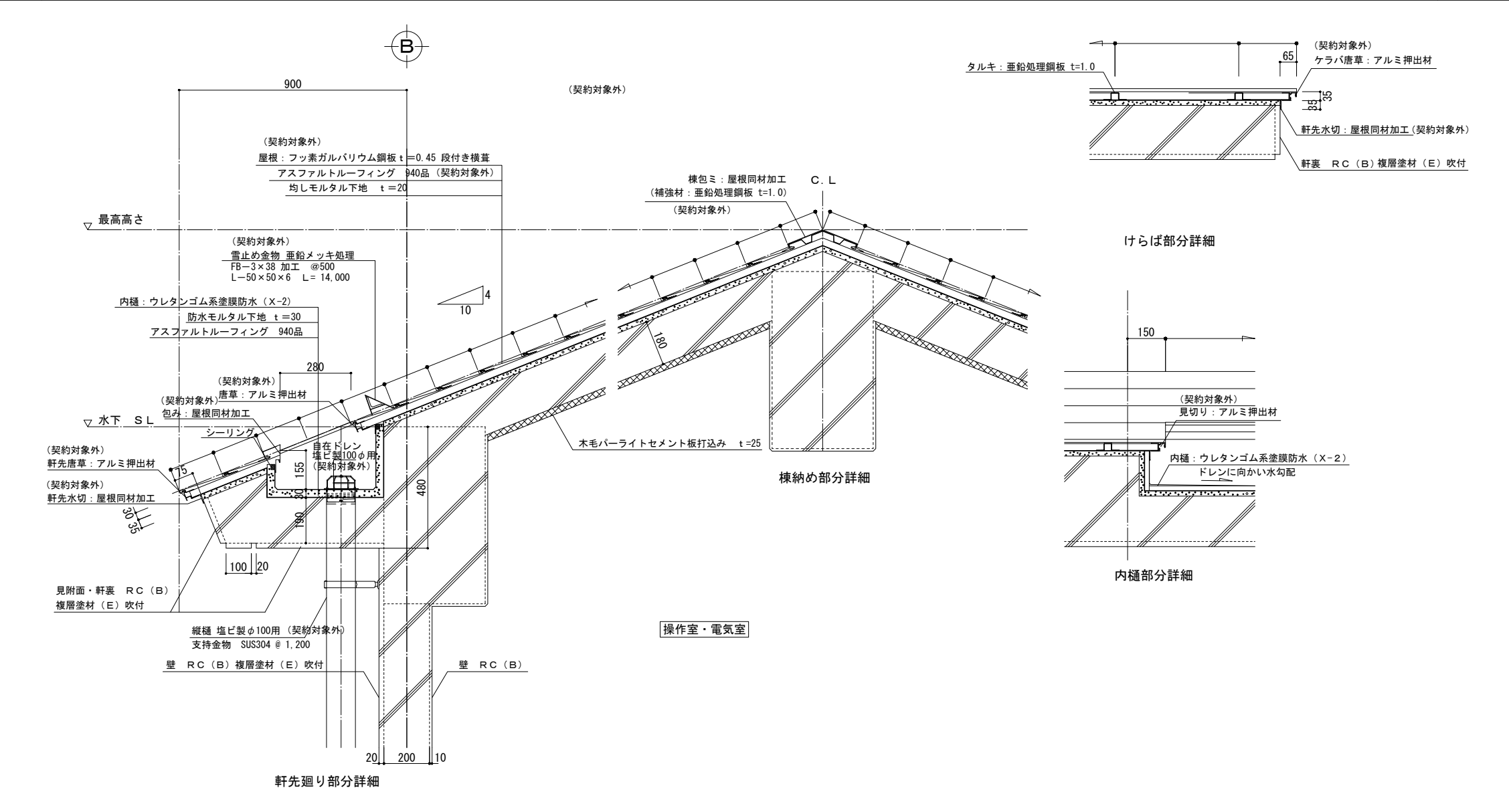


ポンプ室



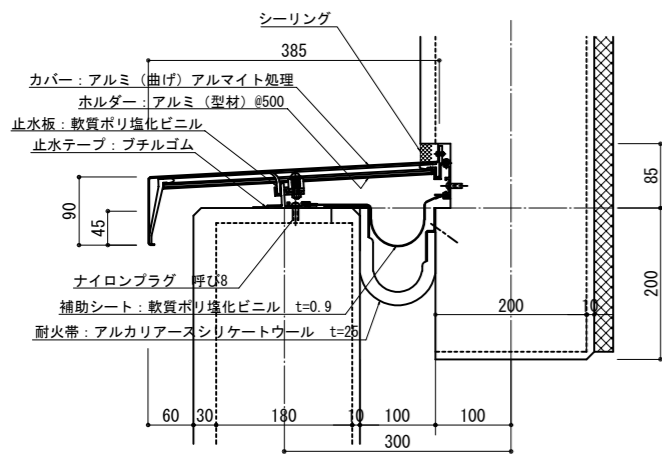
d

工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	展開図 (2)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	A-21
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		



工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	部分詳細図 (1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	A-22
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

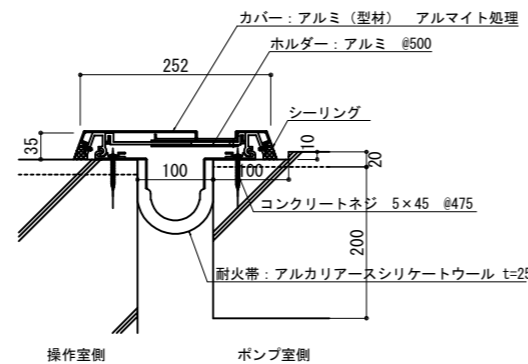
6 屋根-外壁用 アルミ製 EXP.Jカバー詳細 1/5



屋根-外壁 遮熱性能および遮炎性能(遮炎性能)

※ 上図はクリアランス100mm用、変異性能50%の既製品の参考図であり、詳細はメーカー仕様による。

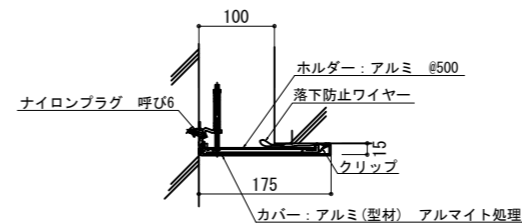
7 外壁-外壁用 アルミ製 EXP.Jカバー詳細 1/5



外壁-外壁 遮熱性能および遮炎性能(遮炎性能)

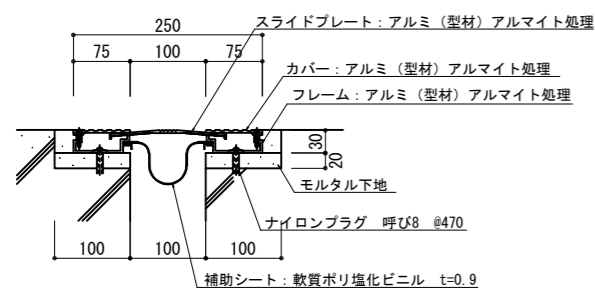
※ 上図はクリアランス100mm用、変異性能50%の既製品の参考図であり、詳細はメーカー仕様による。
※ ポンプ室側外壁部取付箇所は幅100mmで10mm面落ち処理。

8 内壁コーナー用 アルミ製 EXP.Jカバー詳細 1/5



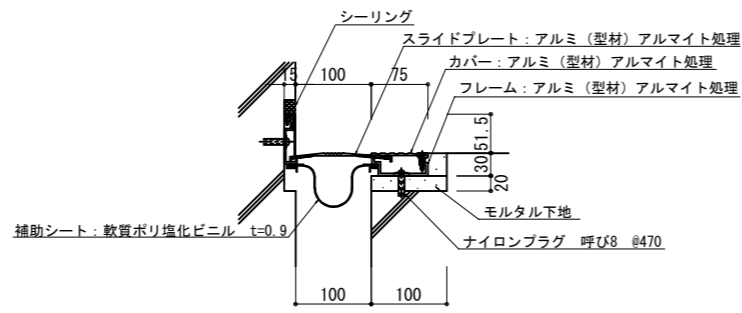
※ 上図はクリアランス100mm用、変異性能50%の既製品の参考図であり、詳細はメーカー仕様による。

9 床-床用 アルミ製 EXP.Jカバー詳細 1/5



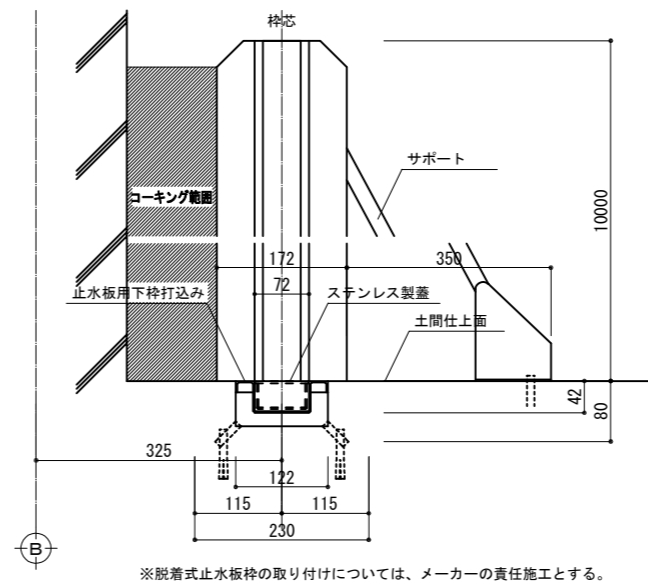
※ 上図はクリアランス100mm用、変異性能50%の既製品の参考図であり、詳細はメーカー仕様による。

10 床-内壁用 アルミ製 EXP.Jカバー詳細 1/5



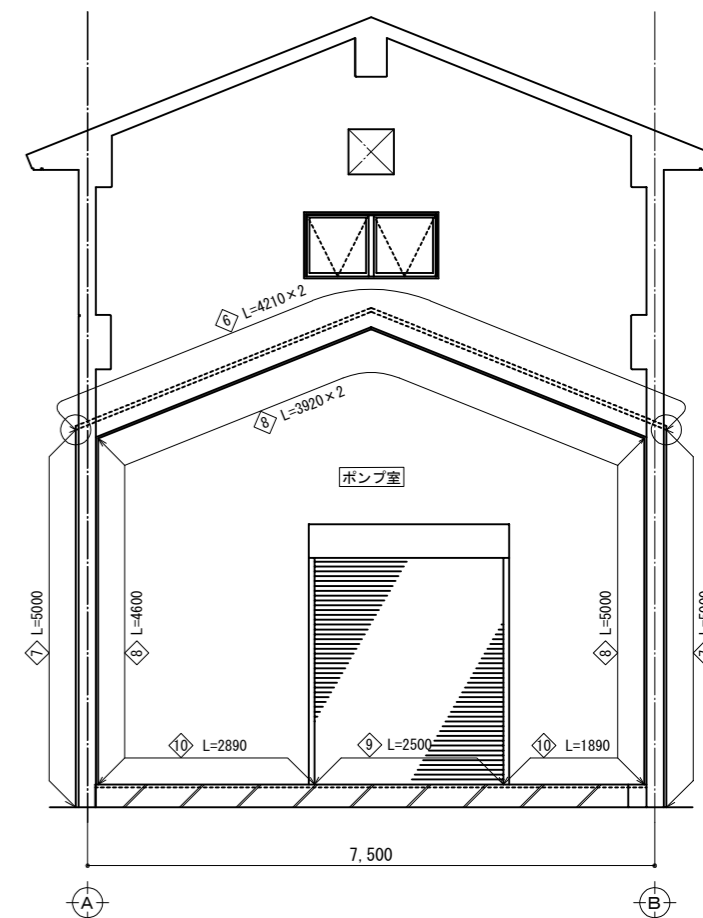
※ 上図はクリアランス100mm用、変異性能50%の既製品の参考図であり、詳細はメーカー仕様による。

12 脱着式止水板詳細図 1/5



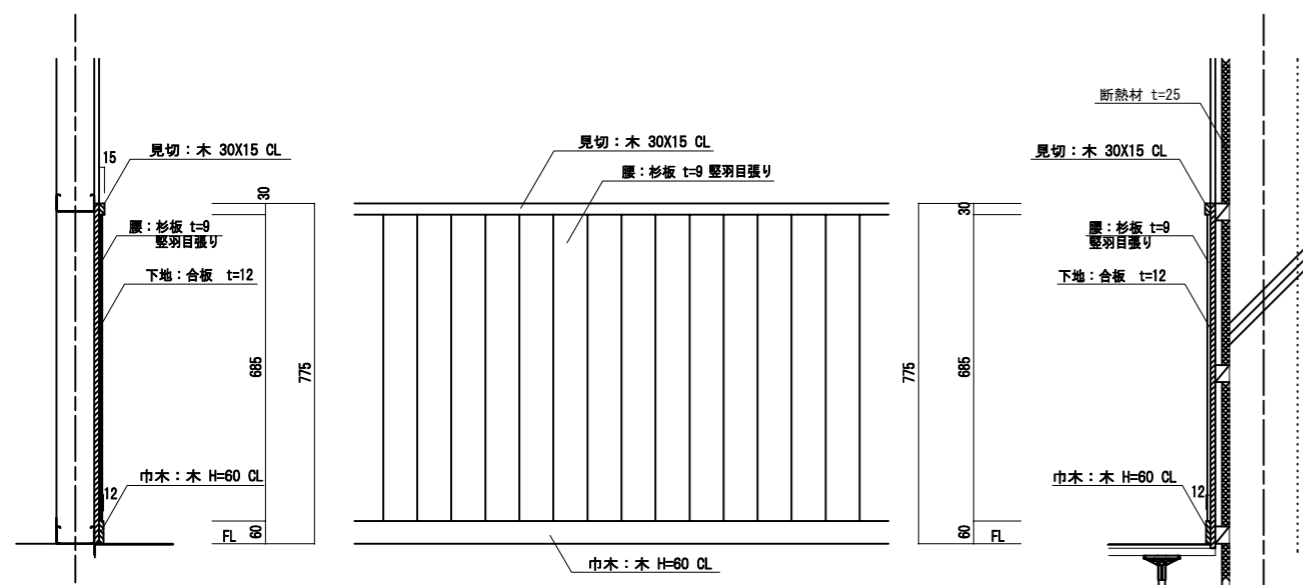
※脱着式止水板枠の取り付けについては、メーカーの責任施工とする。

14 アルミ製 EXP.Jカバー 数量表 1/50

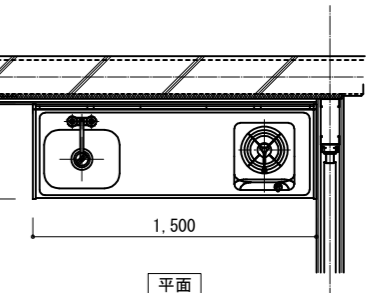
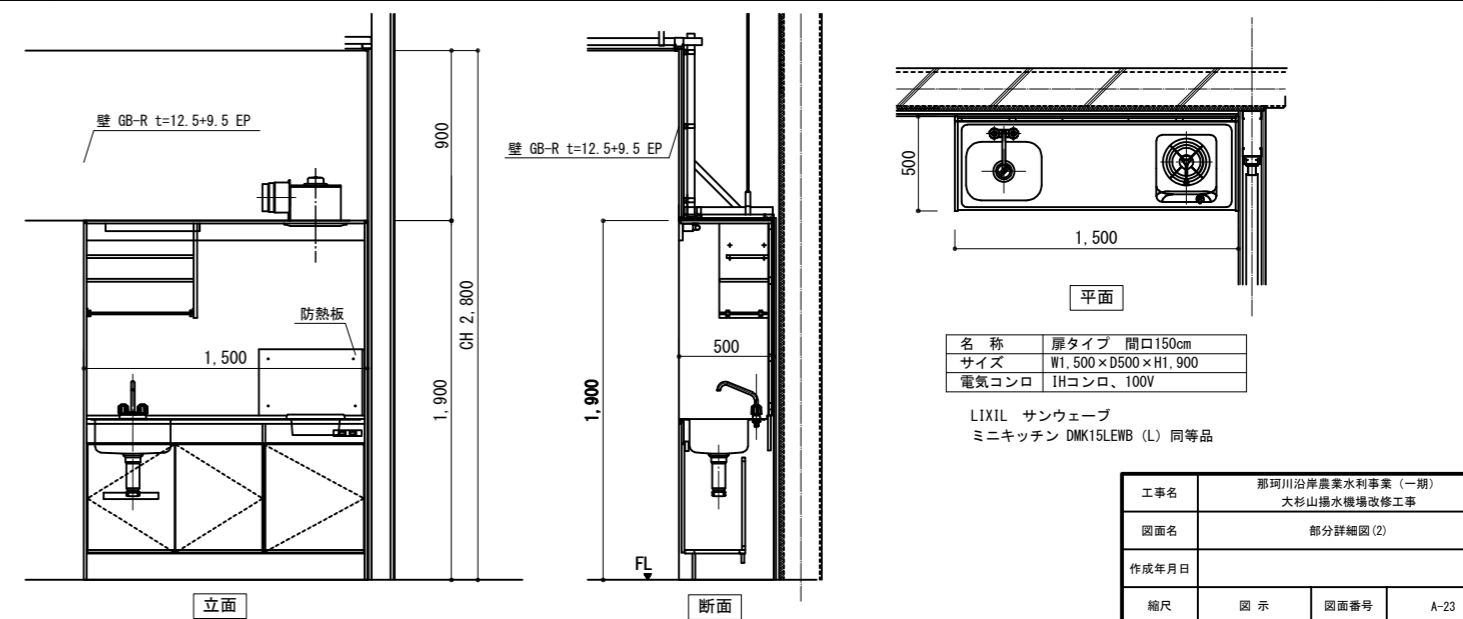


※1: ○印の屋根用と壁用の取り付け部分には小口カバー取り付け

11 休憩室 腰壁羽目板張り詳細 1/10



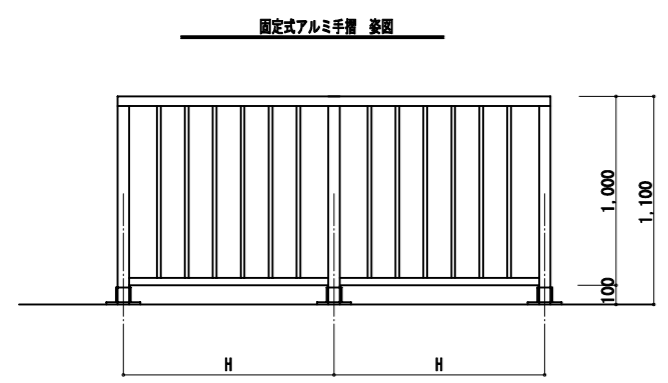
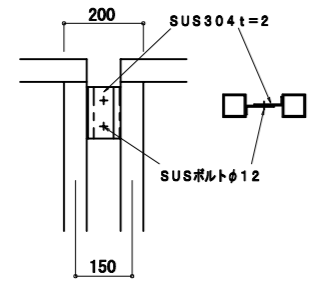
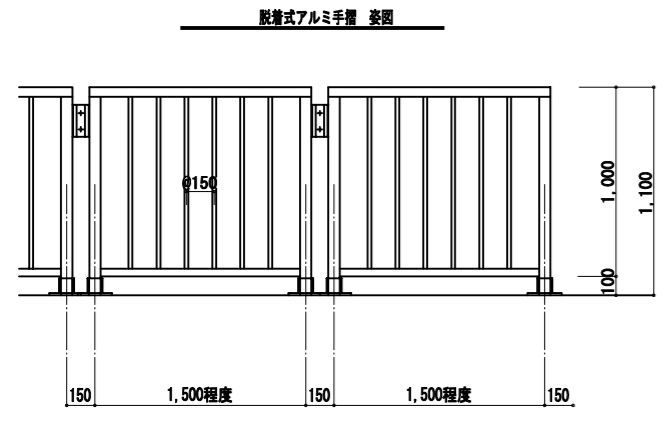
13 ミニキッチン L=1500 詳細 1/20



名称	扉タイプ 間口150cm
サイズ	W1,500×D500×H1,900
電気コンロ	IHコンロ、100V

LIXIL サンウェーブ
ミニキッチン DMK15LEWB (L) 同等品

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	部分詳細図(2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	A-23
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		



材料
 1) 材質はJIS H4100によるA6063S-T5またはA6063S-T6またはA6061S-T6とし押し出し形材を使用する。
 2) 設計条件

部材名	荷重方向	設計条件
笠木	水平方向	設計耐力 1.5kN/m
		たわみ量 500N/mで1/500以下かつ5mm以下 局部荷重で500Nで1/100以下
	垂直方向	設計耐力 1.0kN/m
		たわみ量 500N/mで1/500以下かつ5mm以下 局部荷重で500Nで1/100以下
支柱	設計耐力 2.7kNまたは3.0kN	
	たわみ量 局部荷重で500Nで1/100以下	

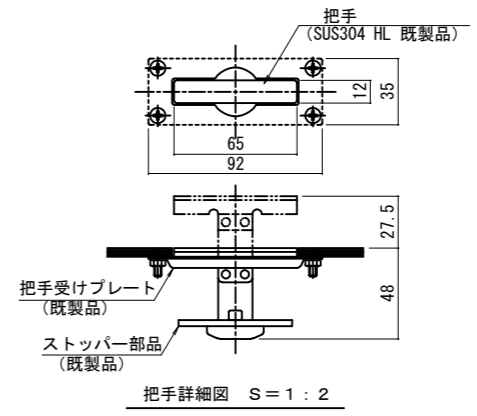
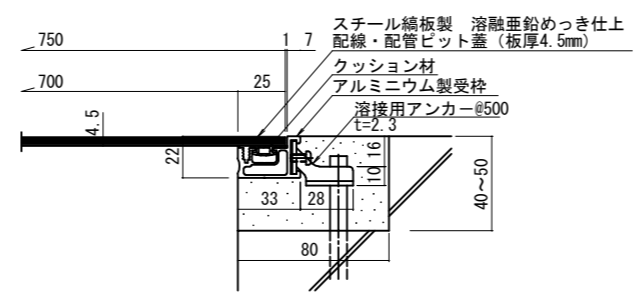
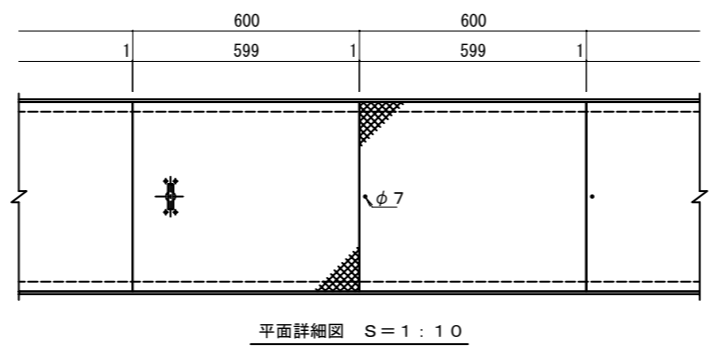
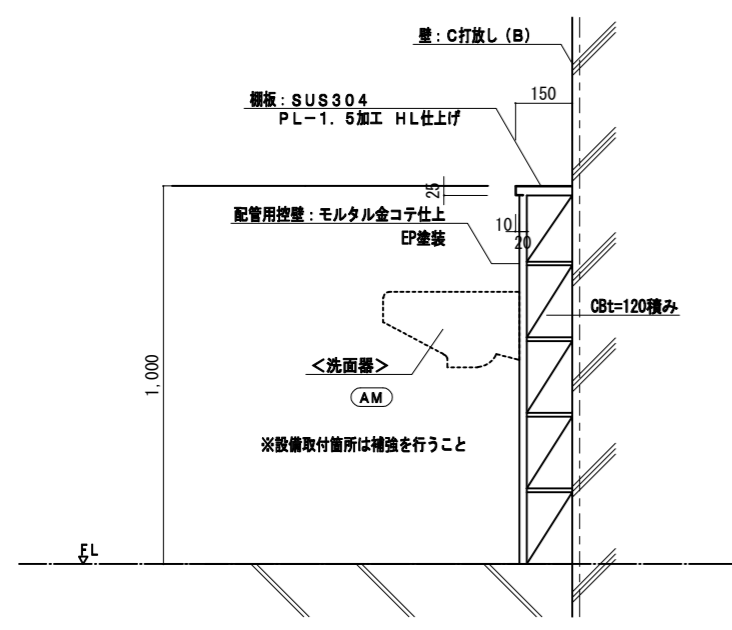
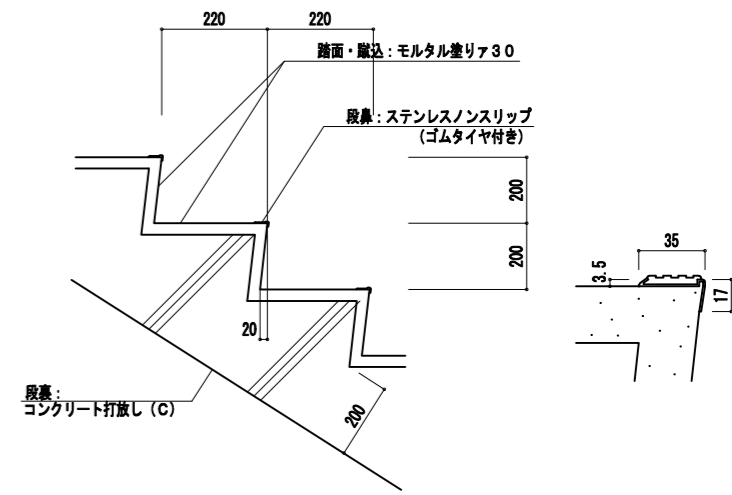
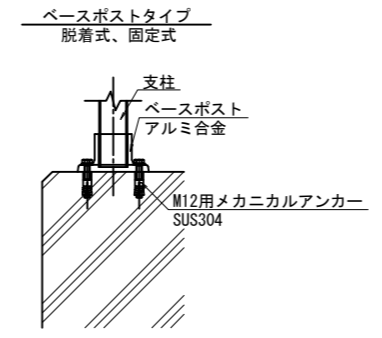
3) 表面処理は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）14.2.1表のB-1種とする。
 4) 支柱、笠木、控柱には補強材は使用しない。その他の部位に使用する補強材はJIS G 3101によるSS400とし垂鉛めっきはJIS H 8610の5級（クロメート被膜JIS H 8625のCM2C）以上とする。
 5) 小ネジの類はステンレス製（SUS304、SUS305J1またはSUSXM7）とする。

取付・その他 (単位mm)

1) 形状

	支柱間隔	笠木	バラスト 中心間隔	高さ	下部の すき間	控柱
1F, 2F	1,500程度	-	@150	1,000	100	@3,600 又は -
部材厚	3mm以上	3mm以上	-	-	-	3mm以上

2) 現場取付作業以外の組立などは工場製作とする。伸縮目地は必要に応じて設ける。
 3) 切断面の処理透明合成樹脂塗膜は、建築工事共通仕様書14.2.1表B-1種に準じて行う。端部の小口は同材にてふたをして仕上げる。
 4) 設計耐力・たわみ量は、工場にて試験を行い監督職員に報告する。なお公的試験場の試験成績書をもって、これに代える事が出来る。
 5) 躯体に堅固に取付けコンクリートと接触する部分は防錆処理（透明合成樹脂塗膜7μm以上）を行う。
 6) ステンレス、アルミ等、異種金属の接する箇所は電食等の障害をおこさないこと。



仕様
 スチール鋼板製 溶融亜鉛めっき仕上
 配線・配管ビット蓋（板厚4.5mm）
 材質：鋼鋼板 t=4.5 (SS400)
 処理：溶融亜鉛めっき (HDZ45)
 定尺：599mm
 アルミニウム製受枠（既製品）
 材質：硬質アルミ押し出し形材（メーカー仕様による）
 処理：陽極酸化塗装複合皮膜（A2種）
 定尺：3000mm

国土交通省 営繕部 建築工事標準詳細図 1-2-1-3相当

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	部分詳細図(3)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	A-24
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

構造関係共通事項（配筋標準図）

1.1 鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直徑及びその使用箇所は、表1.1を標準とする。

表1.1 鉄筋の折曲げ内法直徑

折曲げ 角度	折曲げ 図	折曲げ内法直徑(D)		
		SD295A SD295B, SD345	SD390	
180°		D18 以下	D19 ~D38	D19 ~D38
135°		3d以上	4d以上	5d以上
90°				
135° 及び 90° (幅止め筋)				

(注) 1. 片持スラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90° フックまたは135° フックを用いる場合は、余長を4d以上とする。
2. 90° 未満の折曲げの内法直徑は特記による。

2.1 異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。
(1) 柱及び梁（基礎梁を除く）の出隅部

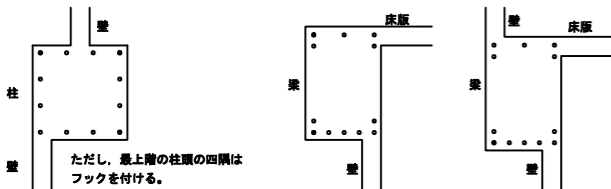


図2.1 末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋（●印）

- (2) 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
- (3) 杭基礎のベース筋
- (4) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

3.1 継手及び定着

(a) 鉄筋の重ね継手

- (1) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
- (2) 鉄筋の重ね継手の長さは、表3.1による。

表3.1 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの 設計基準強度 F _c (N/mm ²)	直継定着の長さ		フックあり定着の長さ	
		L ₁	L ₂	L ₁	L ₂
SD295A SD295B	18	45d	35d	35d	30d
	21	40d	30d	30d	25d
	24, 27	35d	25d	25d	20d
SD345	18	50d	35d	35d	30d
	21	45d	30d	30d	25d
	24, 27	40d	25d	25d	20d
SD390	18	50d	35d	35d	30d
	21	45d	30d	30d	25d
	24, 27	40d	25d	25d	20d

(注) 1. L₁, L₂ : フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
2. フックありの場合の L₂ は、図3.1に示すようにフック部分 i を含まない。
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

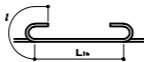


図3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

(3) 鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず40d以上（軽量骨材を使用する場合は50d以上）と表3.1の重ね継手の長さのうち大きい値とする。

(4) 隣り合う継手の位置は、表3.2による。

ただし、壁の場合及びスラブ筋でD18以下の場合は除く。

表3.2 隣り合う継手の位置

重ね継手	フックありの場合	L ₁ + L ₂ ≥ 1.5L ₁	
		L ₁	L ₂
重ね継手	フックありの場合		
		a ≥ 0.5 L ₁	a ≥ 0.5 L ₂
重ね継手	フックなしの場合		
		a ≥ 0.5 L ₁	a ≥ 0.5 L ₂
溶接継手	—	圧接継手・溶接継手 a ≥ 400mm	
機械式継手	—	カプラー a ≥ 400mm, かつ、a ≥ (b+40)mm	

(b) 鉄筋の定着

(1) 鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。

表3.3 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの 設計基準強度 F _c (N/mm ²)	直継定着の長さ		フックあり定着の長さ	
		L ₁	L ₂	L ₁	L ₂
SD295A SD295B	18	45d	40d	35d	30d
	21	40d	35d	30d	25d
	24, 27	35d	30d	25d	20d
SD345	18	50d	40d	35d	30d
	21	45d	35d	30d	25d
	24, 27	40d	35d	30d	25d
SD390	18	50d	40d	35d	30d
	21	45d	35d	30d	25d
	24, 27	40d	35d	30d	25d

(注) 1. L₁, L₂ : 2. 以外の直継定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
2. L₁, L₂ : 割裂破壊のおそれのない箇所への直継定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
3. L₁ : 小梁及びスラブの下縁筋の直継定着の長さ。（基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁を除く）
なお、片持小梁及び片持スラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。
4. L₂ : 小梁の下縁筋のフックあり定着の長さ。
5. フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分 i を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。また、中間部での折曲げは行わない。
6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

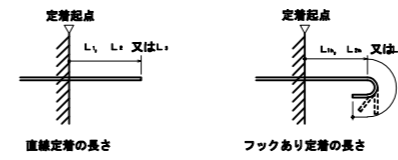


図3.2 直継定着の長さ及びフックあり定着の長さ

(2) 梁主筋の柱内折曲げ定着又は小梁及びスラブの上縁筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の(1)。(II)及び(III)をすべて満足するものとする。
(I) 全長は表3.3に示す直継定着の長さ以上
(II) 余長は8d以上
(III) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さは表3.4に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

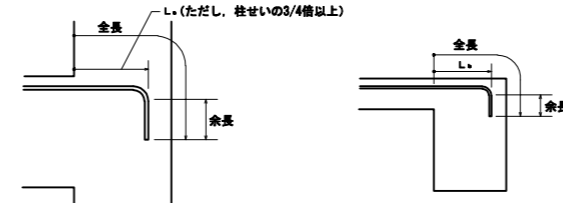


図3.3 折曲げ定着の方法

表3.4 鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの 設計基準強度 F _c (N/mm ²)	L ₁	L ₂
SD295A SD295B	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24, 27	20d	15d
SD390	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24, 27	20d	15d

(注) 1. L₁ : 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ。（基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。）
2. L₂ : 小梁及びスラブの上縁筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ。（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

(3) 溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。

なお、L₁ は表3.1に、L₂ 及び L₃ は表3.3による。

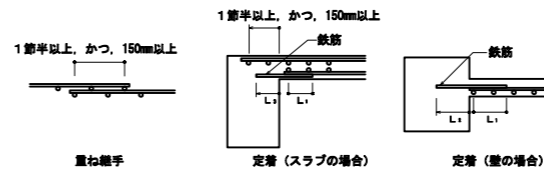


図3.4 溶接金網の継手及び定着

(4) スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による。

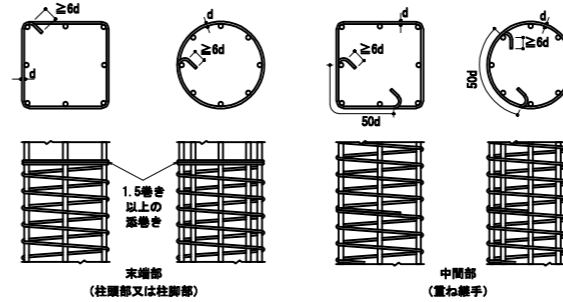


図3.5 スパイラル筋の継手及び定着

4.1 最小かぶり厚さ

(a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。
ただし、柱及び梁の主筋にD9以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ（単位：mm）

構造部分の種類	最小かぶり厚さ		
	仕上げあり	仕上げなし	
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	20	
	柱、梁、耐力壁	仕上がりあり	30
		仕上がりなし	30
		仕上がりあり	30
土に接する部分	仕上がりあり	40	
	仕上がりなし	40	
煙突等高温を受ける部分	柱、梁、スラブ、壁	40	
	基礎、換気、耐圧スラブ	60	
		60	

(注) 1. *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は特記による。
2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上げ塗材、塗料等）のものを除く。
3. スラブ、梁、基礎及び換気室、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。
5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

(b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。
(c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
(d) 鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のものを以上とする。

- (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- (2) 25mm
- (3) 隣り合う鉄筋の平均径（呼び名の数値）1.5倍

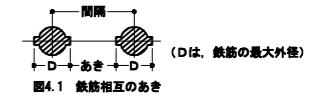


図4.1 鉄筋相互のあき

(e) 鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは(d)による。

(f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは(c)による。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	構造関係共通事項（配筋標準図）(1)		
作成年月日			
縮尺	NON	図面番号	S-02
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

5.1 基礎梁

- (a) 一般事項
 (1) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、梁筋の本数が異なる場合は図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部等では折り曲げて定着する。
 (2) 梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(b)(4)による。

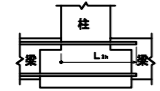
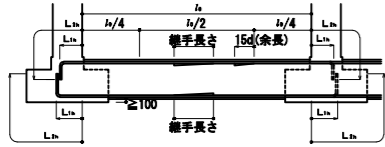


図5.1 梁筋の基礎梁内への定着

- (b) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

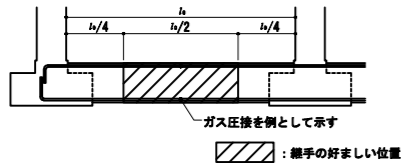
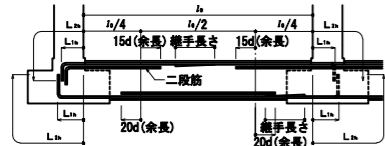


図5.2 主筋の継手、定着及び余長（その1）

- (c) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。ただし、副圧スラブが付く場合は、(d)による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

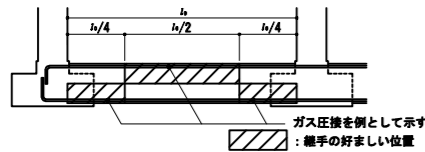
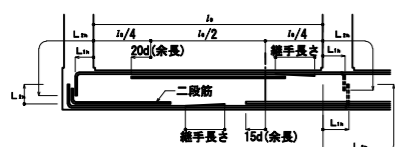


図5.3 主筋の継手、定着及び余長（その2）

- (d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

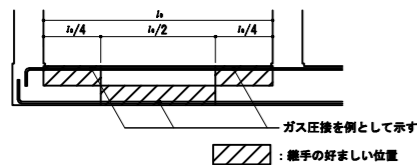


図5.4 主筋の継手、定着及び余長（その3）

5.2 基礎梁のあばら筋

- (a) 一般事項
 (1) あばら筋の径及び間隔は、特記による。
 (2) あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(b)による。
 ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることができる。

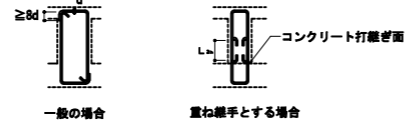
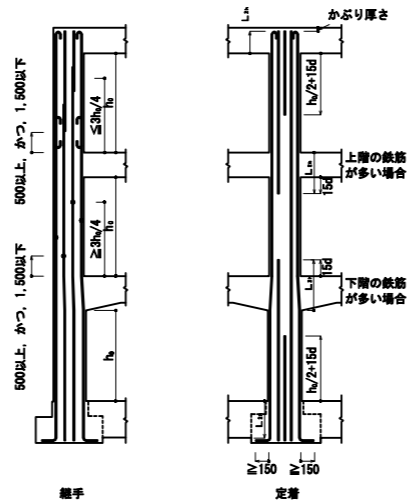


図5.5 あばら筋組立の形及びフックの位置

- (b) 腹筋及び縦止め筋は、7.2による。
 ただし、梁せいが1.5m以上の場合は特記による。
 (c) あばら筋の割付けは、7.2(c)による。

6.1 柱

- (a) 一般事項
 (1) 継手の中心位置は、梁上端から500mm以上、1,500mm以下、かつ、 $3h/4$ (h は柱の内法高さ)以下とする。
 (2) 継手、定着及び余長は図6.1による。
 ただし、柱頭定着長さ L_n を確保できない場合は、特記による。



- (注) 1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上層の柱頭にある場合には、フックを付ける。
 2. 隣り合う継手の位置は、表3.2「隣り合う継手の位置」による。
 3. 継手及び定着は、すべての層に適用できる。

図6.1 柱主筋の継手、定着及び余長

- (b) 柱打ち増し部

- (a) 打ち増し部分に、壁、梁、スラブ筋等がとりつく場合は、壁、梁、スラブ筋等の定着長さには、打ち増し部分を含めない。
 (b) 土に接する柱周囲の打ち増しは図6.2による。

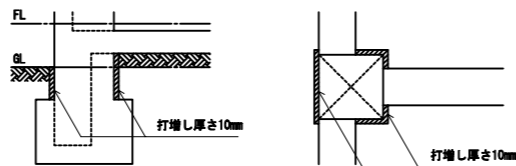
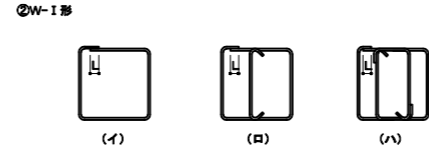
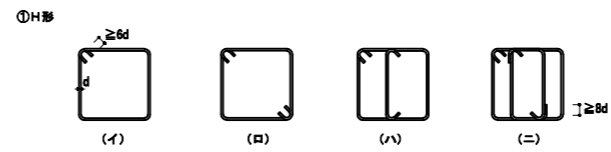


図6.2 柱打ち増し部

6.2 帯筋

- (a) 帯筋の種類及び間隔は、特記による。
 (b) 帯筋組立の形は図6.3により、適用は特記による。
 (1) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
 (2) 溶接する場合の溶接長さ L は、両面フレア溶接の場合は $5d$ 以上、片面フレア溶接の場合は $10d$ 以上とする。
 (3) S P形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻以上の巻巻きを行う。



- (注) 溶接は、鉄筋の組立前に行う。

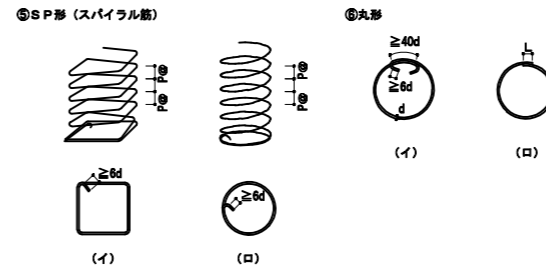
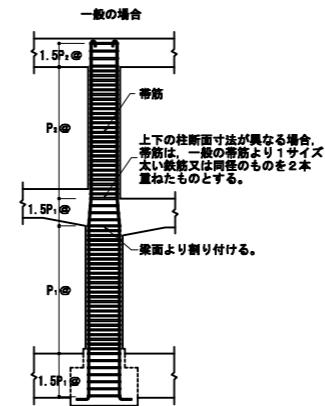


図6.3 帯筋組立の形

- (c) フック及び継手の位置は交互とする。
 (d) 帯筋の割付けは、図6.4とし、それ以外の場合は特記による。



- (注) 1. 図示のない事項については、一般の場合と同じ。
 2. 柱に取り付け部に段差がある場合、帯筋の間隔を $1.5P_n$ または $1.5P_n$ とする範囲は、その柱に取り付けすべての梁を考慮して適用する。
 なお、 P_n 、 P_n は、特記された帯筋の間隔を示す。

図6.4 帯筋の割付け

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	構造関係共通事項（配筋標準図）(2)		
作成年月日			
縮尺	NON	図面番号	S-03
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

7.1 大梁

- (a) 一般事項
- 梁の上り下りりは、FLを基準とした寸法とする。
 - 地中梁下の砂利地層厚さ及び給コンクリート地層厚さは、特記による。
 - 打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合のスラブ、壁、梁筋等の定着長さには、打増し部分を含まない。
- (b) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項
- 継手中心位置は、次による。
上端筋：中央 $h/2$ 以内
下端筋：柱面より梁せい (D) 以上とし、 $h/4$ を加えた範囲以内
 - 継手中央部の位置、定着長さ及び余長は、図7.3及び図7.4による。
 - 梁主筋は、連続増で柱に接する梁の主筋が両側の時は、柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では折り曲げて定着する。

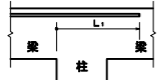


図7.1 梁主筋の梁内定着

- 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
なお、定着の方法は、3.1 (b) (2) による。
上端筋：曲げ降ろす。
下端筋（一般）：原則、曲げ上げる。
下端筋（ハンチ付き）：原則、曲げ上げる。
- 梁にハンチを付ける場合、その傾斜は特記による。
- 梁の定着は、図7.2による。

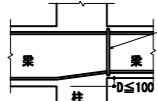
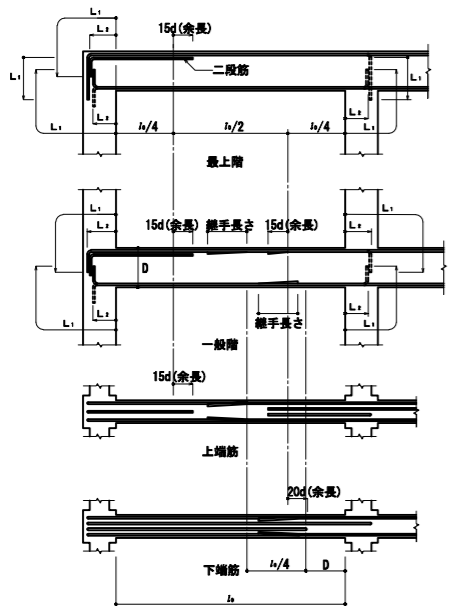


図7.2 梁の定着

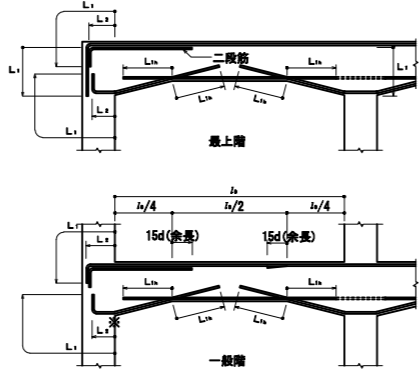
- (c) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図7.3による。



- (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の隅部にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

図7.3 大梁の重ね継手、定着及び余長

- (d) ハンチのある場合の重ね継手、定着及び余長は、図7.4による。



- (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の隅部にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、.....のように引き通すことができる。
4. 破線は、柱内定着の場合を示す。
5. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

図7.4 ハンチのある大梁の定着及び余長

7.2 あばら筋等

- (a) あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項
- あばら筋の種類、径及び間隔は、特記による。
 - 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とし、定着長さは図7.6による。ただし、腹筋を計算上考慮している場合の継手長さ及び定着長さは、特記による。
 - 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000程度とする。
- (b) あばら筋組立の形及びフックの位置
- 形は、図7.5(イ)とする。
ただし、L形梁の場合は、(ロ)又は(ハ)、T形梁の場合は、(ロ)～(ニ)とすることができる。
 - フックの位置
I. (イ)の場合は、交互とする。
II. (ロ)の場合は、L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。
III. (ハ)の場合は、床板の付く側を90°折曲げとする。

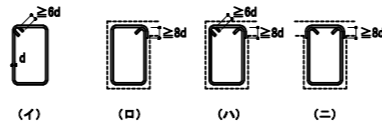
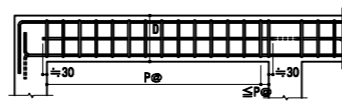


図7.5 あばら筋組立の形

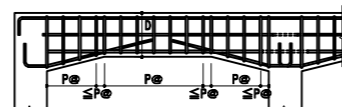
- (c) あばら筋の割付け
- 間隔が一律でハンチのない場合は、図7.6による。



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図7.6 あばら筋の割付け (その1)

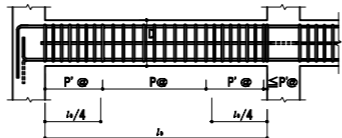
- 間隔が一律でハンチがある場合は、図7.7による。



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置及びハンチに切り替わる位置から割り付ける。
2. 図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図7.7 あばら筋の割付け (その2)

- 梁の端部で間隔の異なる場合は、図7.8による。



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中P@、P'@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

- (d) 腹筋及び幅止め筋

- (1) 一般の梁は、図7.9による。

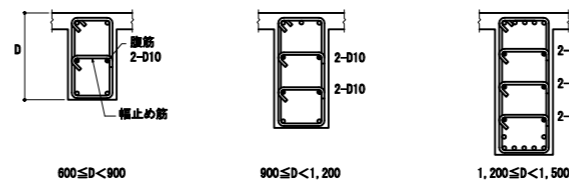
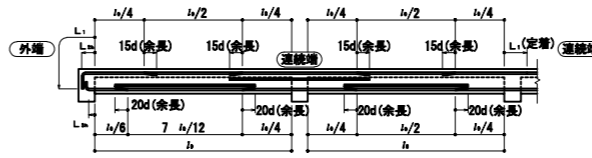


図7.9 腹筋及び幅止め筋

7.3 小梁

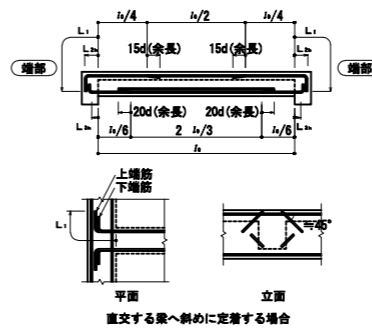
- (a) 連続小梁の場合は、図7.10による。



- (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。
2. 印は、余長位置を示す。

図7.10 小梁主筋の継手、定着及び余長(その1)

- (b) 単独小梁の場合は、図7.11による。



- (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。
2. 印は、余長位置を示す。

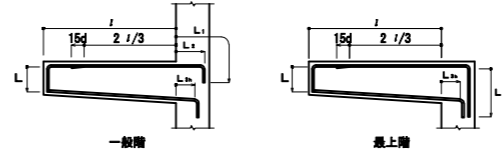
図7.11 小梁主筋の継手、定着及び余長(その2)

- (c) あばら筋は、7.2による。

7.4 片持梁

- (a) 片持梁主筋の定着及び余長

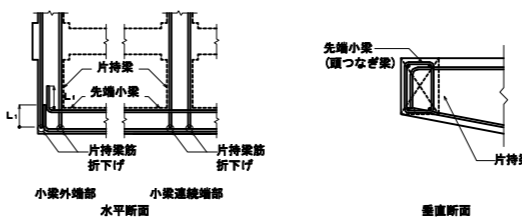
- (1) 先端に小梁のない場合は、図7.12による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
2. 印は、余長位置を示す。
3. 先端の折曲げの長さは、梁せいからぶり厚さを除いた長さとする。

図7.12 片持梁主筋の定着及び余長

- (2) 先端に小梁がある場合は、図7.13による。



- (注) 1. 図示のない事項は、(1)による。
2. 先端小梁先端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

図7.13 片持梁主筋の定着

- (b) あばら筋は、7.2による。

8.1 壁

- (a) 一般事項
- 壁筋の重ね継手の長さは L_n 、定着の長さは L_d とし、鉄筋の継手位置は、柱・梁以外とする。
 - 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000程度とする。
 - 打増し部分に、壁スラブ等が取り付く場合のスラブ筋等の定着長さには、打増し部分を含まない。

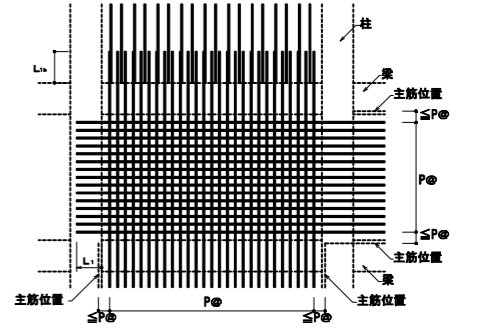


図8.1 壁の配筋

- (b) 壁の配筋は表8.1により、種別は特記による。

表8.1 壁の配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

- (注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

- (c) 片持スラブ形階段を受ける壁の配筋は表8.2により、種別は特記による。

表8.2 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	縦筋の配筋種別 (表10.1)
KW1	縦筋	D13-200@ダブル	KA1
	横筋	D13-200@ダブル	KA3
KW2	縦筋	D13-150@ダブル	KA2
	横筋	D13-200@ダブル	KA4

- (注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

- (d) 土圧を受ける壁の配筋は、構造図による。
(e) 壁の交差部及び端部の配筋は図8.2による。

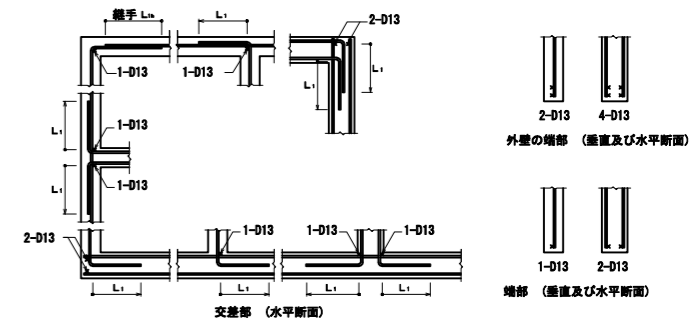


図8.2 壁の交差部及び端部の配筋

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	構造関係共通事項（配筋標準図）(3)		
作成年月日			
縮尺	NON	図面番号	S-04
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

8.2 壁の補強

(a) 壁開口部の補強

- (1) 耐震性を除く壁開口部の補強筋は、A形は表8.3、B形は表8.4とし、適用は特記による。
なお、耐震性の補強筋は、特記による。

表8.3 壁開口部補強筋 (A形)

壁の種類	補強筋	
	縦横	斜め
W12, W15	1-D13	1-D13
W18, W20	2-D13	2-D13

表8.4 壁開口部補強筋 (B形)

壁の種類	補強筋	
	縦横	斜め
W12, W15	2-D13	1-D13
W18, W20	4-D13	2-D13

- (2) 壁開口部補強筋の定着長さは図8.3による。

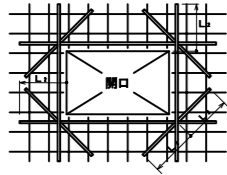


図8.3 壁開口部補強筋の定着長さ

- (3) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記による。

9.1 スラブ

- (1) スラブ及び土間コンクリートの上がり下がり、FLを基準とした寸法値とする。
(2) 土間スラブ下の砂利地層厚さ及び捨てコンクリート厚は、特記による。
(3) 土間コンクリート補強筋 (D₀) の配筋及びコンクリート厚さは、特記による。
(4) スラブリング配筋 (S形配筋) は表9.1及び図9.1により、配筋種類及びスラブ厚さは、特記による。

表9.1 S形配筋

配筋種類	短辺方向 (主筋) 全域		長辺方向 (配筋) 全域	
	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配筋) 全域	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配筋) 全域
S 1	D13-100φ	D13-100φ	S 8	D10, D13-150φ
S 2	同上	D13-150φ	S 9	同上
S 3	同上	D10, D13-150φ	S 10	D10, D13-200φ
S 4	D13-150φ	D13-150φ	S 11	同上
S 5	同上	D10, D13-150φ	S 12	同上
S 6	同上	D10-150φ	S 13	D10-200φ
S 7	D10, D13-150φ	D10, D13-150φ	S 14	同上

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

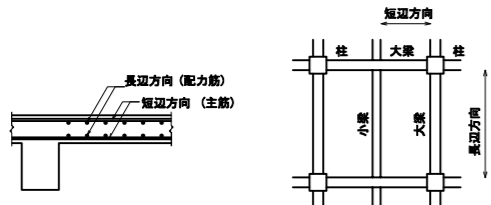


図9.1 スラブリング配筋

- (5) 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
(6) 鉄筋の重ね手長さは、L₁とする。

- (7) 定着長さ及び受け筋は、図9.2による。
ただし、引き通すことができない場合は、図9.3により案内に定着する。

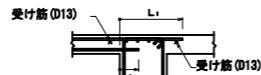
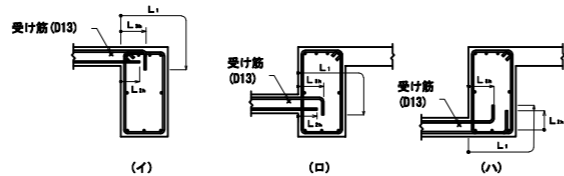
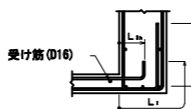


図9.2 スラブリングの定着長さ及び受け筋(その1)



一般スラブの場合



耐圧スラブの場合

図9.3 スラブリングの定着長さ及び受け筋(その2)

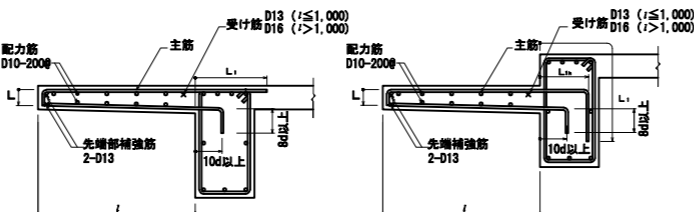
9.2 片持スラブ

片持スラブリングは、次による。

- (1) 片持スラブリング配筋 (CS形配筋) は、表9.2並びに図9.4及び図9.5により、配筋種類及びスラブ厚さは、特記による。

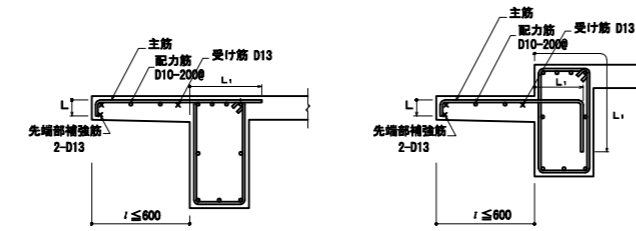
表9.2 CS形配筋

配筋種類	主筋		配筋種類	主筋	
	上	下		上	下
CS1	上	D13-100φ	CS5	上	D10-200φ
	下	D13-200φ		下	D10-400φ
CS2	上	D13-150φ	CS6	上	D10, D13-200φ
	下	D13-300φ		下	—
CS3	上	D10, D13-150φ	CS7	上	D10-200φ
	下	D10, D13-300φ		下	—
CS4	上	D10, D13-200φ			
	下	D10-200φ			



(注) 1. 先端の折曲げ長さLは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

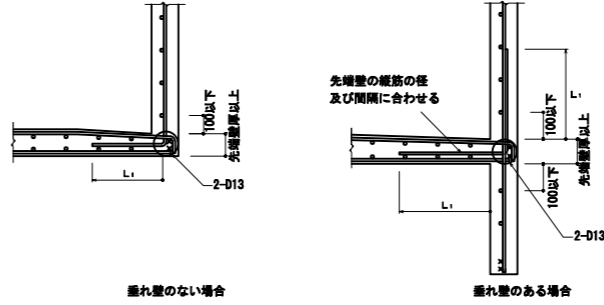
図9.4 片持スラブリング配筋 (CS1 から CS5)



(注) 1. 先端の折曲げ長さLは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図9.5 片持スラブリング配筋 (CS6 及び CS7)

- (2) 先端に壁が付く場合の配筋は図9.6による。



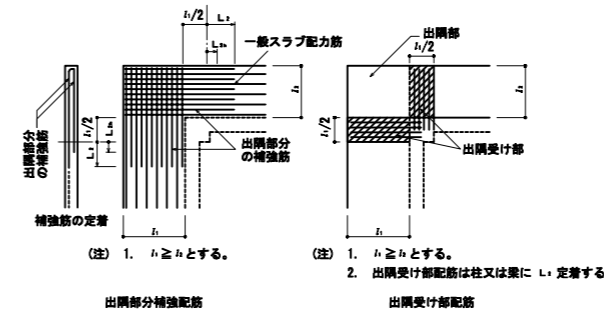
垂れ壁のない場合

垂れ壁のある場合

図9.6 先端に壁が付く場合の配筋

- (3) 出隅部

- (Ⅰ) 補強の配筋は特記により、配筋方法は、図9.7による。
(Ⅱ) 出隅受け部分 (図9.9の斜線部分) の補強筋は特記による。



(注) 1. h₁ ≥ hとする。

(注) 1. h₁ ≥ hとする。
2. 出隅受け部配筋は柱又は梁にL₁定着する。

出隅部分補強配筋

出隅受け部配筋

図9.7 片持スラブリング出隅部の補強配筋

9.3 スラブ等の補強

- (a) スラブリング開口部の補強

- スラブリング開口部の補強は、特記による。
(Ⅰ) スラブリング開口の最大径が700mm以下の場合、図9.8により、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (i=2, l=2) シングルを上下筋の内側に配筋する。

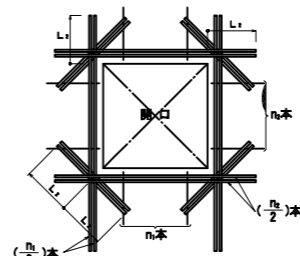


図9.8 スラブリング開口部の補強配筋

- (Ⅱ) スラブリング開口の最大径が同方向の配筋間隔以下で、鉄筋を縦や横に曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

- (b) 層間スラブリングの補強

- 層間スラブリングの出隅及び入隅部分には、図9.9により、補強筋を上端筋の下側に配置する。

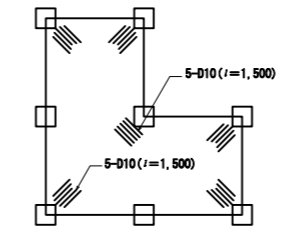
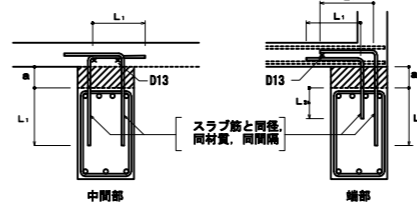


図9.9 出隅及び入隅部の補強配筋

- (c) 土間スラブリングの打継ぎ補強

- 基礎梁とスラブリングを一体打ちとし、打継ぎを設ける場合の補強は、図9.10による。
ただし、土間スラブリングとは、土に接するスラブリングでS形の配筋によるものをいう。

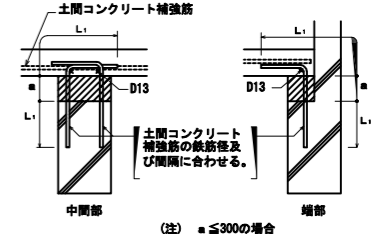


(注) a ≤ 300の場合

図9.10 打継ぎ補強配筋

- (d) 土間コンクリート補強

- 土間コンクリートの補強筋は、特記による。
なお、基礎梁との接合部は図9.11による。



(注) a ≤ 300の場合

図9.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

10.1 片持スラブリング階段

片持スラブリング階段の基準配筋は、表10.1及び図10.1により、寸法及び配筋種類は、特記による。

表10.1 片持スラブリング階段の配筋

配筋種類	KA1		KA2	
	短辺方向	長辺方向	短辺方向	長辺方向
配筋種類	D13-300φ	D13-300φ	2-D13 D13	D10-300φ
配筋種類	同上	D10, D13-150φ	同上	D10-300φ
配筋種類	D10-300φ	D10-300φ	D10-300φ	D10-300φ
配筋種類	D10-300φ	D10-300φ	D10-300φ	D10-300φ

- (注) 1. 片持スラブリング階段を受ける壁配筋は、8.1(a)による。
2. 階段主筋は、壁の中心線を継ぎ足してから壁に下す。
3. スラブリング配筋の継ぎ手及び定着の長さは、表3.3「鉄筋の定着長さ」のL₁とする。

図10.1 片持スラブリング階段の定着

工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	構造関係共通事項 (配筋標準図) (4)		
作成年月日			
縮尺	NON	図面番号	S-05
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

10.2 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段の基準配筋は、表10.2並びに図10.2及び図10.3により、寸法及び配筋種別は、特記による。

表10.2 二辺固定スラブ形階段

配筋種別	上端筋、下端筋とも(全域)
KB1	D13-200φ
KB2	D13-150φ
KB3	D13-100φ
KB4	D13、D16-150φ
KB5	D16-150φ
KB6	D16-125φ
KB7	D16-100φ

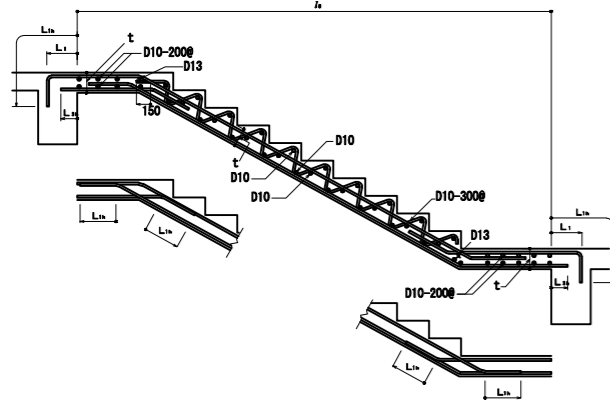
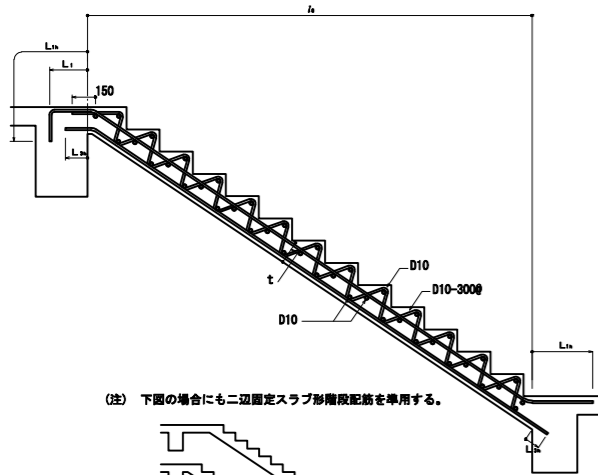


図10.2 二辺固定スラブ形階段配筋(その1)



(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

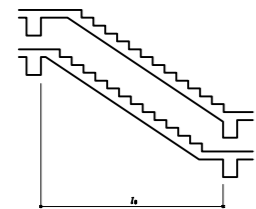


図10.3 二辺固定スラブ形階段配筋(その2)

11.1 梁貫通孔

- (a) 梁貫通孔は、次による。
 (1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、図11.1による。
 (2) 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
 (3) 孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲には設けてはならない。
 (4) 孔は、柱面から、原則として、1.0D以上離す。ただし、基礎壁及び壁付帯梁を除く。
 (5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
 (6) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
 (7) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図11.2による。
 (8) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
 (9) 溶接金網の余長は1倍子以上とし、突出しは10mm以上とする。
 (10) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
 (11) 溶接金網の割付け始点は、横筋であれば筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

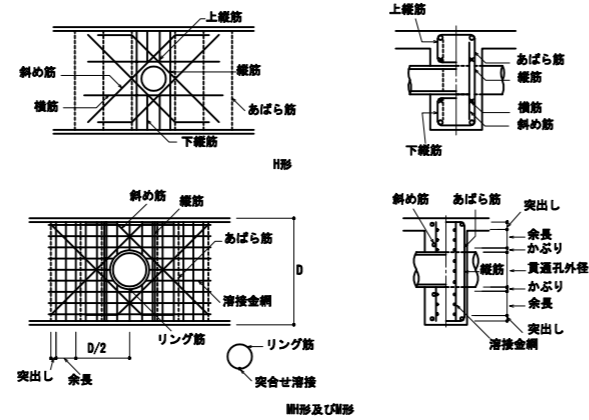


図11.1 梁貫通孔補強筋の名称等

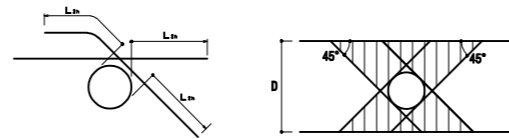


図11.2 補強筋の定着長さ

図11.3 他の開口を設けない範囲

(b) 梁貫通孔の補強形式は表11.1~表11.3により、配筋種別は特記による。

表11.1 H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	なし	なし	なし	なし	
H2	2-2-D13	なし	なし	なし	
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H7	4-2-D22	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	

(注) ----- は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.2 N形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
N1	2-2-D13	なし	
N2	4-2-D13	なし	
N3	4-2-D13	2-6φ-100φ	
N4	6-2-D13	2-6φ-100φ	

(注) ----- は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.3 N形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
NH1	2-2-D13	なし	なし	
NH2	2-2-D13	なし	なし	
NH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100φ	
NH4	4-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100φ	
NH5	4-2-D16	2-2-D13	2-6φ-100φ	
NH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100φ	
NH7	4-2-D19	4-2-D13	2-6φ-100φ	

(注) ----- は、一般部分のあばら筋を示す。

11.2 コンクリートブロック横壁との取合い

- (a) 横壁は、次による。
 (1) 横壁の配筋図、特記による。
 (2) 配筋は、図11.4による。

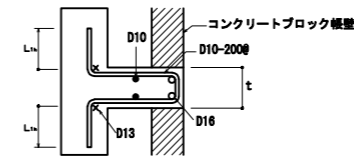


図11.4 横壁の配筋(水平、垂直とも)

(b) 横壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図11.5による。

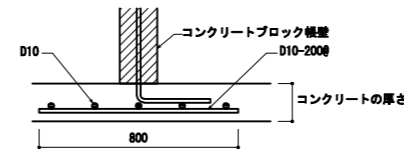


図11.5 土間コンクリートの補強配筋

11.3 バラベット

バラベットの配筋は図11.6による。
 コンクリート厚さ、縦筋は特記による。

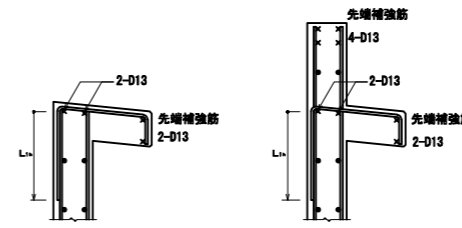


図11.6 バラベットの配筋

12.1 擁壁

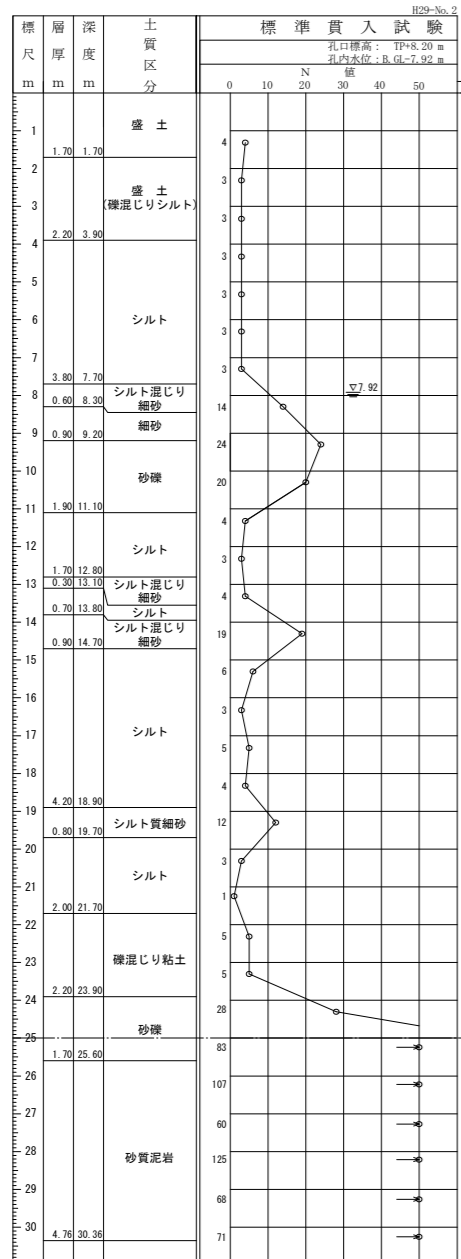
宅地造成等規制区域外での高さ2m以下の擁壁の鉄筋の定着長さは図12.1により、コンクリートの厚さ及び配筋は構造図による。



図12.1 擁壁の鉄筋の定着長さ

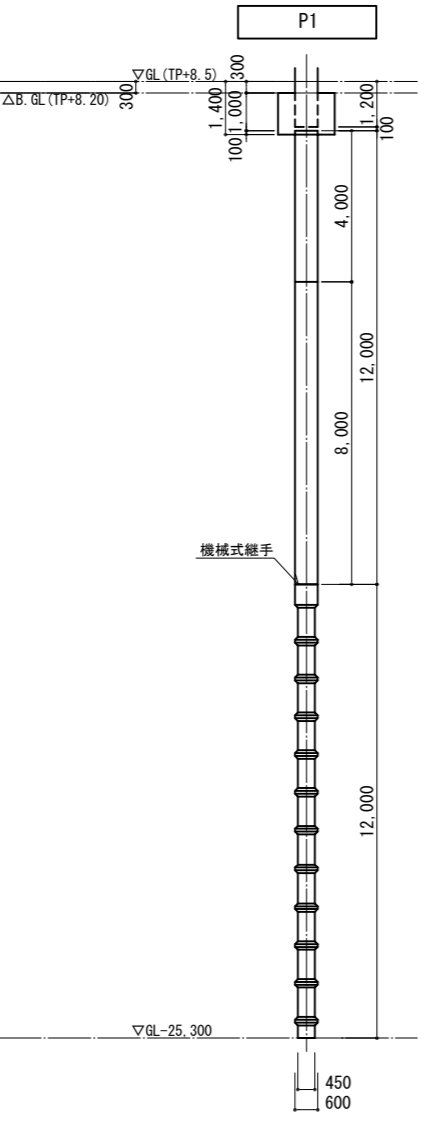
工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	構造関係共通事項(配筋標準図)(5)		
作成年月日			
縮尺	NON	図面番号	S-06
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

柱状図 A3 S=1/200
A1 S=1/100



茨城県水戸市三の丸地内 平成29年12月4日～12月8日

杭断面表 A3 S=1/200
A1 S=1/100

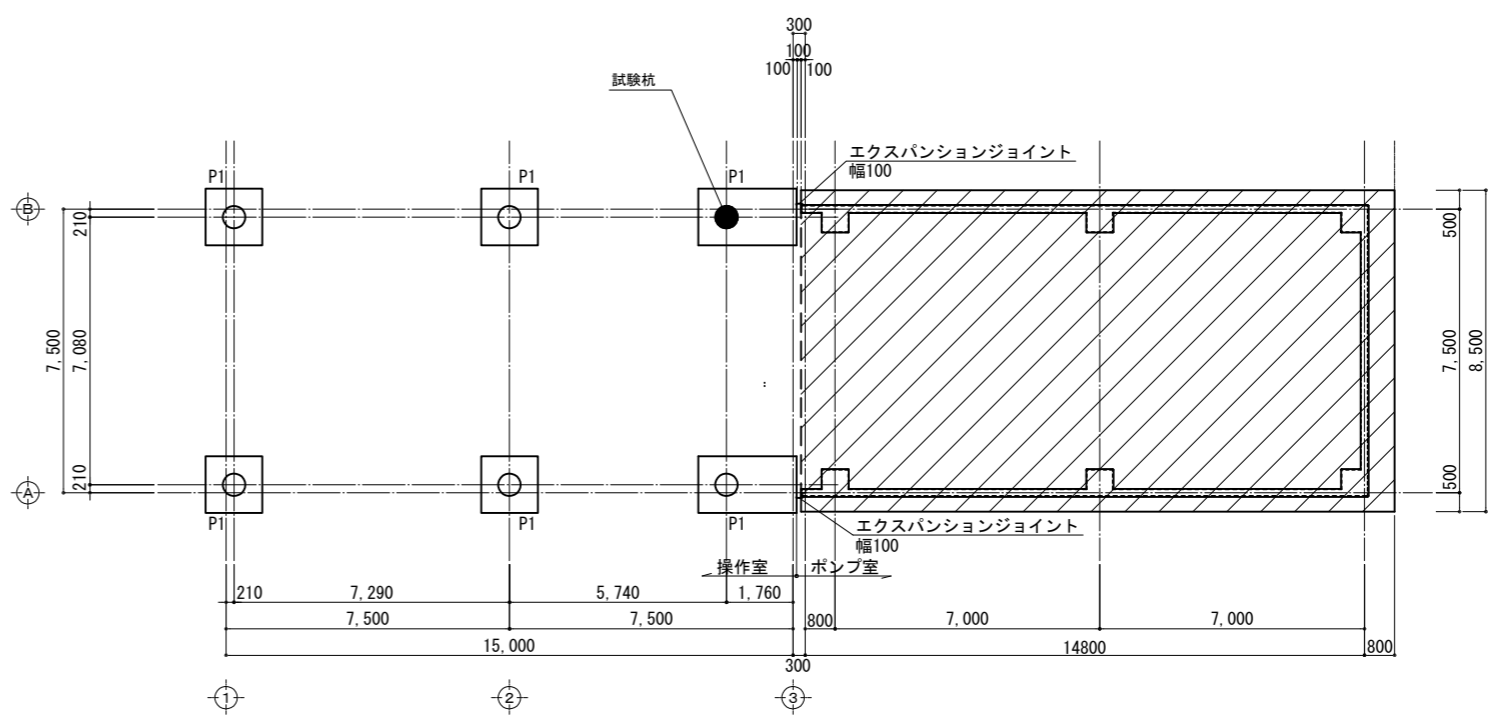
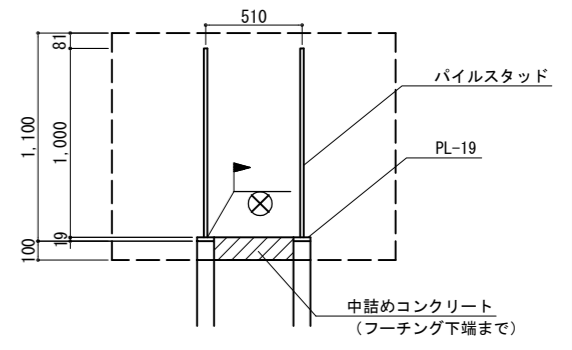


杭仕様

工法	プレボーリング拡大根固め工法	認定番号	国住指発 TACP-0527(砂)・0528(礫)・0529(粘土)																
記号	P1	杭天端	GL-1.300	杭先端	GL-25.300	杭全長	24.0	上杭	CPRC φ600 (IV種) (PRC部 4m+PHC部 8m) L=12m	下杭	JP-NPH φ600-450-600 (A種85N) L=12m	セット数	6	長期許容支持力	1,650 kN/本	杭頭補強	16-D25 (SD345) パイルスタッド	備考	

機械継手：評価報告書 (BCJ評価-FD0393-06)とする。 計6セット

杭頭補強要領 A3 S=1/40
A1 S=1/20

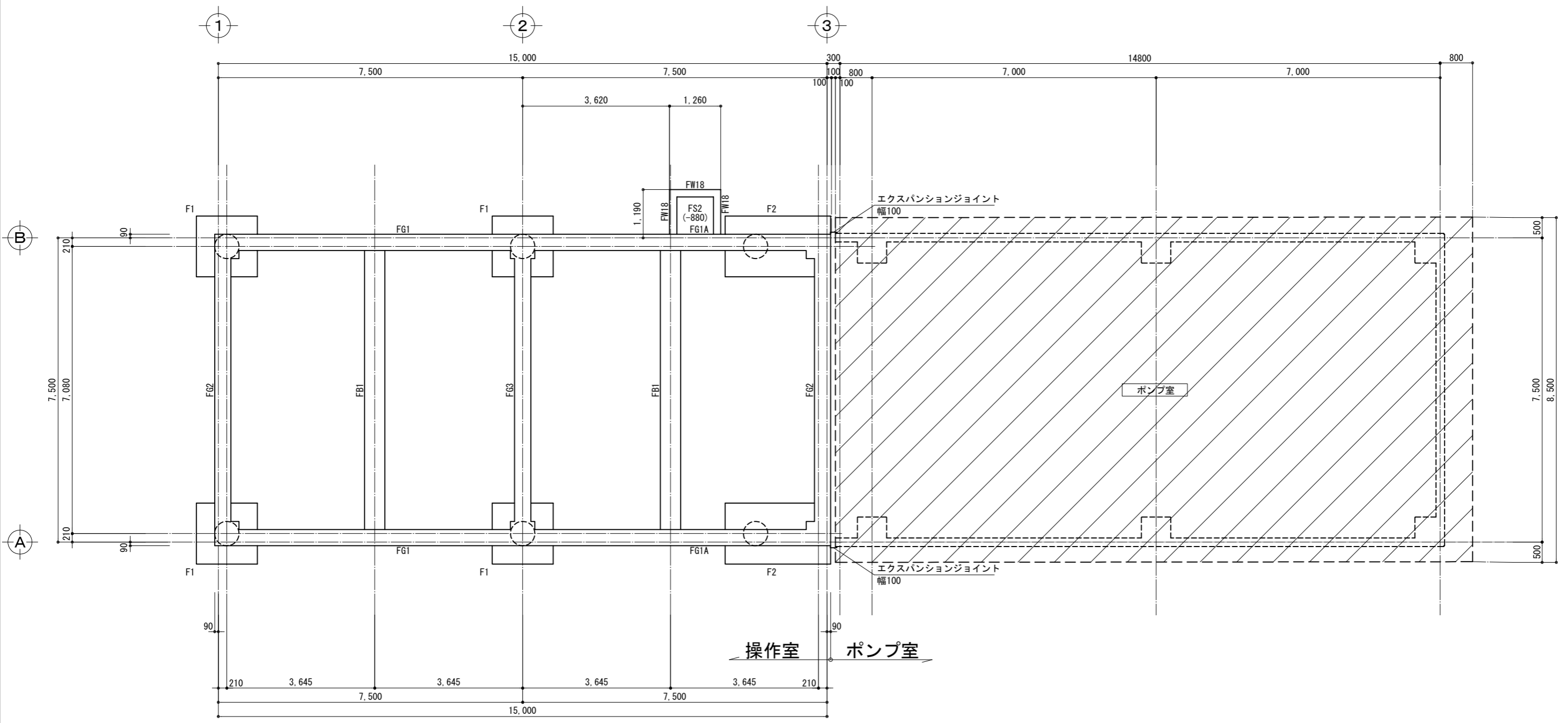


杭伏図 S=1/100

特記事項
1) GL=TP+8.500とする。
2) 特記なき杭頭レベルは、GL-1.300とする。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	柱状図・杭伏図・杭仕様		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	S-07
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

(操作室)

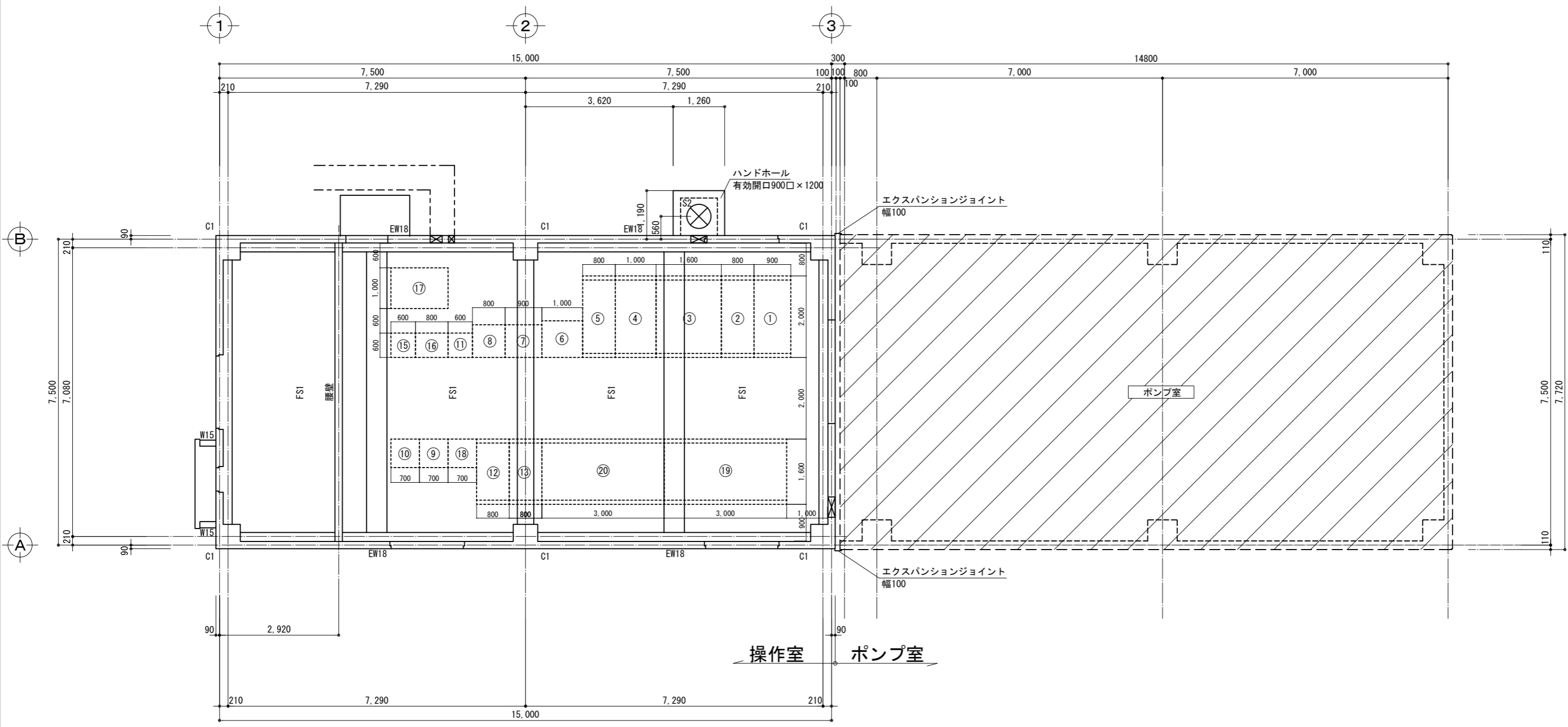


基礎伏図 S=1/50

特記事項
 1) 特記なき基礎梁上端レベルは、GL±0 (TP+8.5) とする。
 2) 特記なきフーチング下端レベルは、GL-1.400とする。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	基礎伏図		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	S-08
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

(操作室)

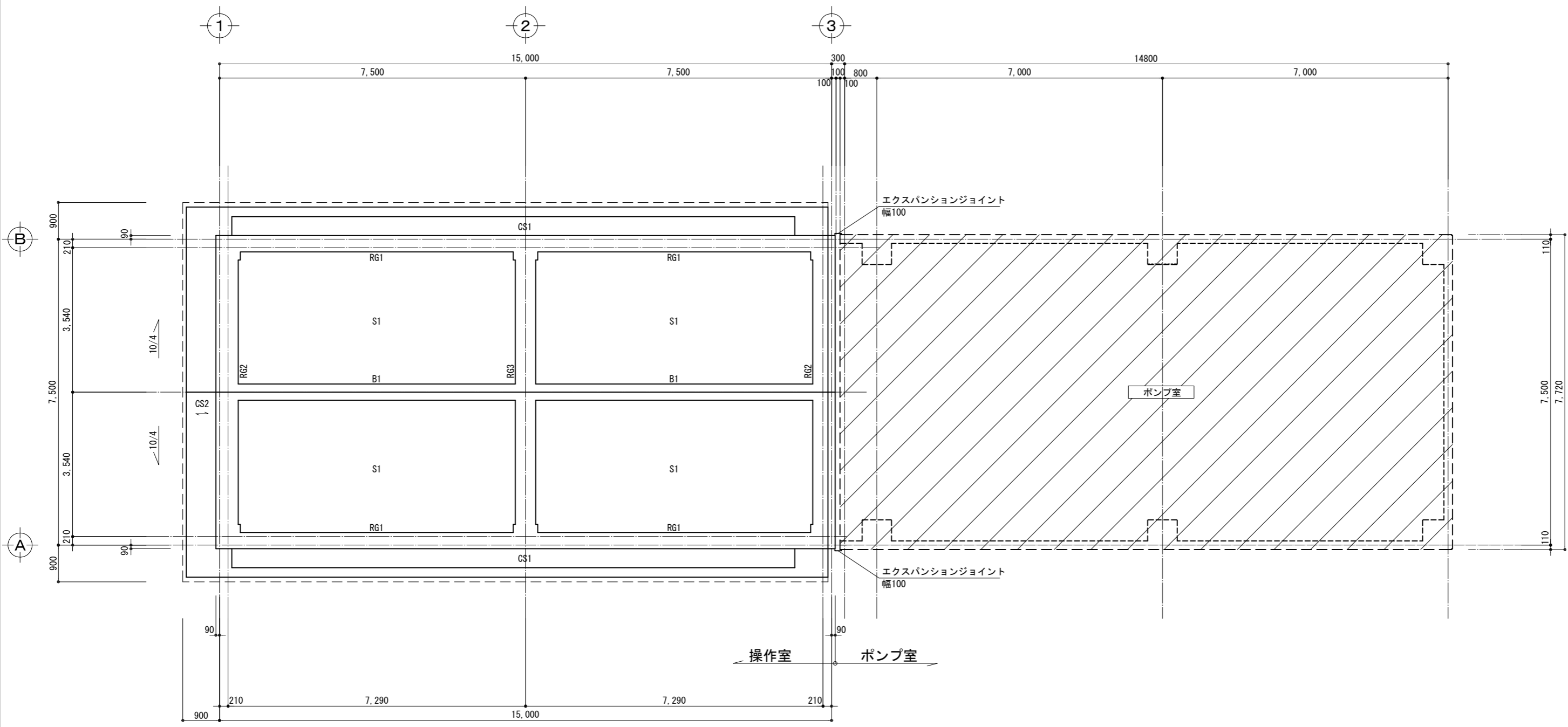


1階床伏図 S=1/50

- 特記事項
- 1) 1FL=GL+300とする。
 - 2) 特記なき基礎スラブ上端レベルは、GL±0とする。
 - 3) 特記なき壁符号は、W18とする。
 - 4) 部は、嵩上げコンクリート範囲とする。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	1階床伏図		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	S-09
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

(操作室)

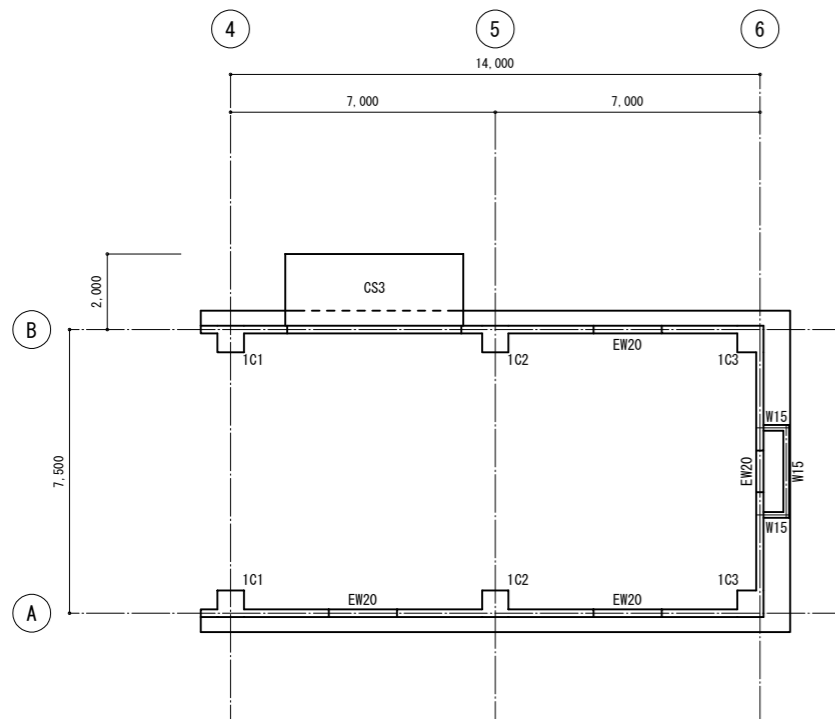


R階床伏図 S=1/50

- 特記事項
- 1) 特記なきスラブ・梁上端レベルは、RFL±0とする。
 - 2) 特記なきスラブ主筋方向は とする。
 - 3) 特記なき梁は、屋根勾配なりに上端フカシとする。

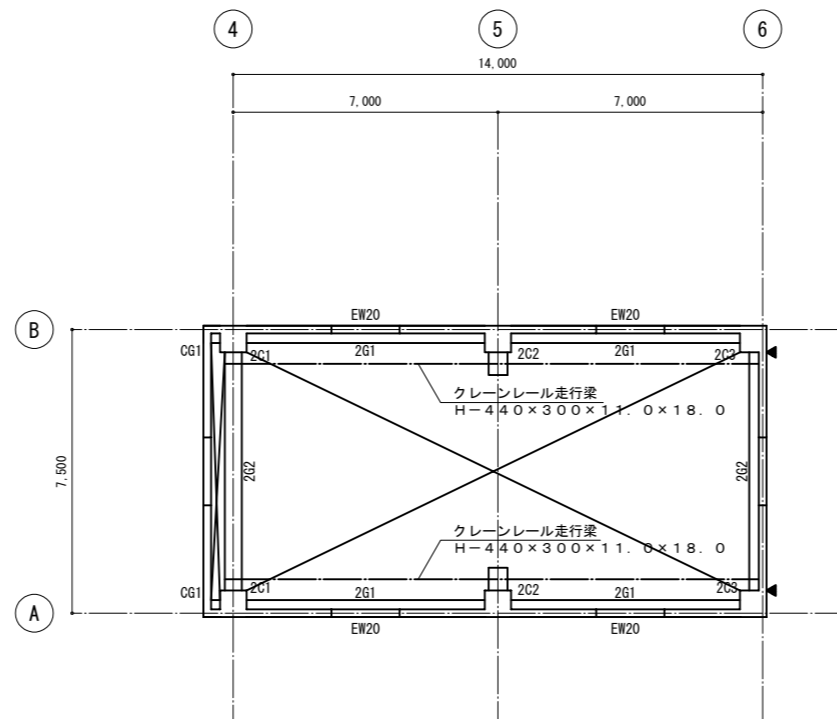
工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	R階伏図		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	S-10
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

(操作室)



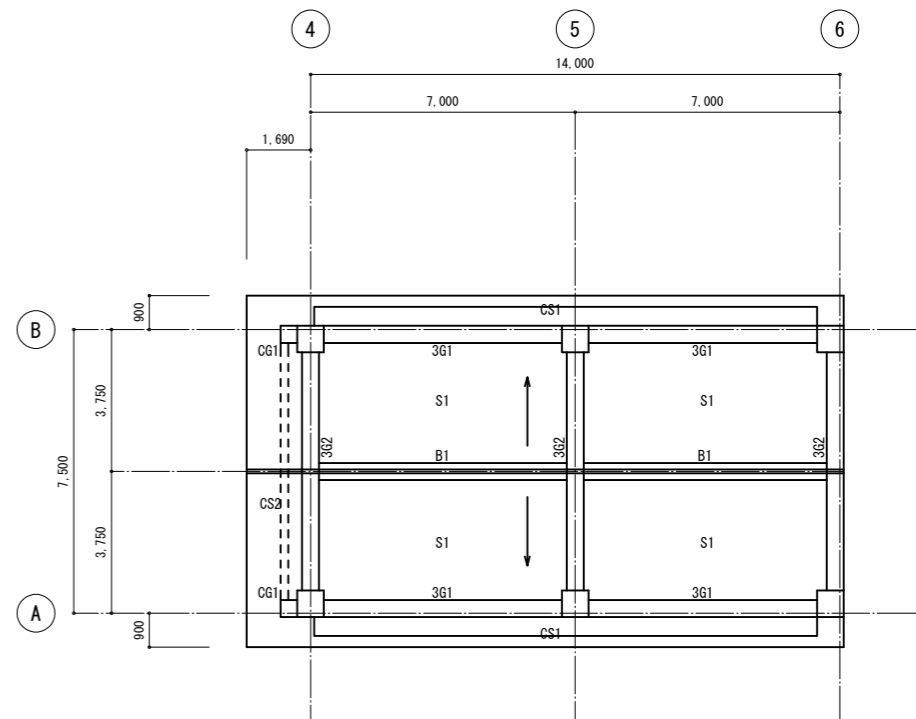
1階伏図 1/100

- 特記なき限り（共通事項）
1. 1FLは、TP+8.500とする。
 2. 土木躯体天は、1FL±0とする。
 3. 壁は、W20とする。



1MF伏図 1/100

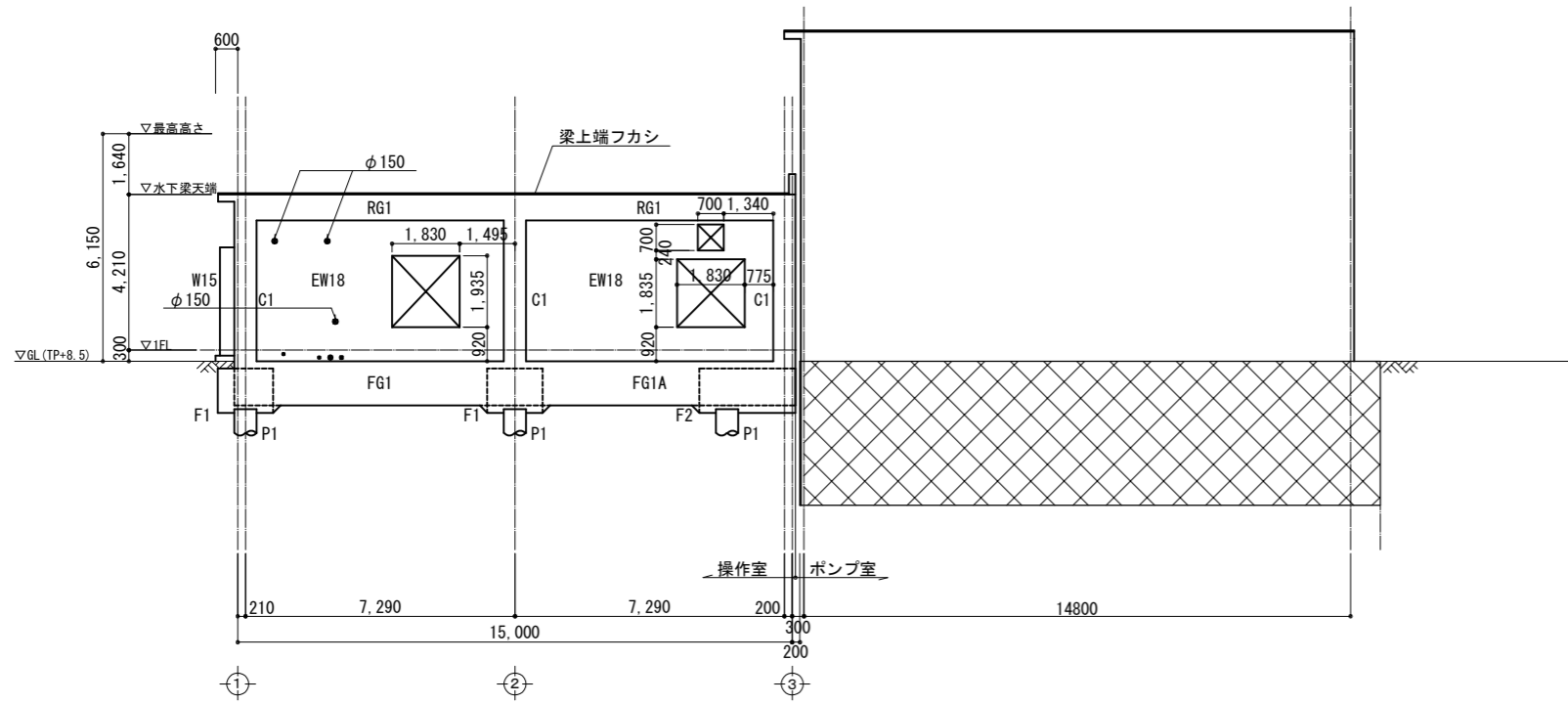
- 特記なき限り（共通事項）
1. 1MFLは、TP+15.000とする。
 2. 壁は、W20とする。
 3. ◀ 印は、構造スリットを示す。



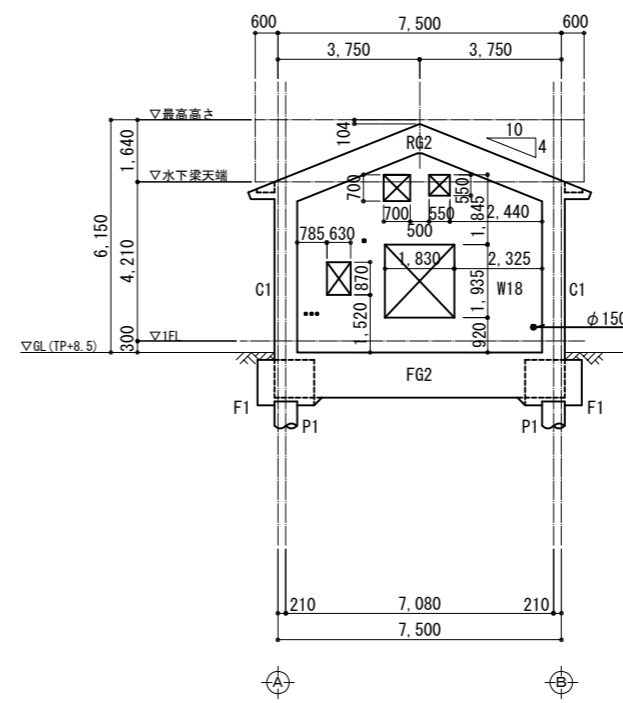
屋根伏図 1/100

- 特記なき限り（共通事項）
1. 床版・梁コン天は、水勾配にそろえる。

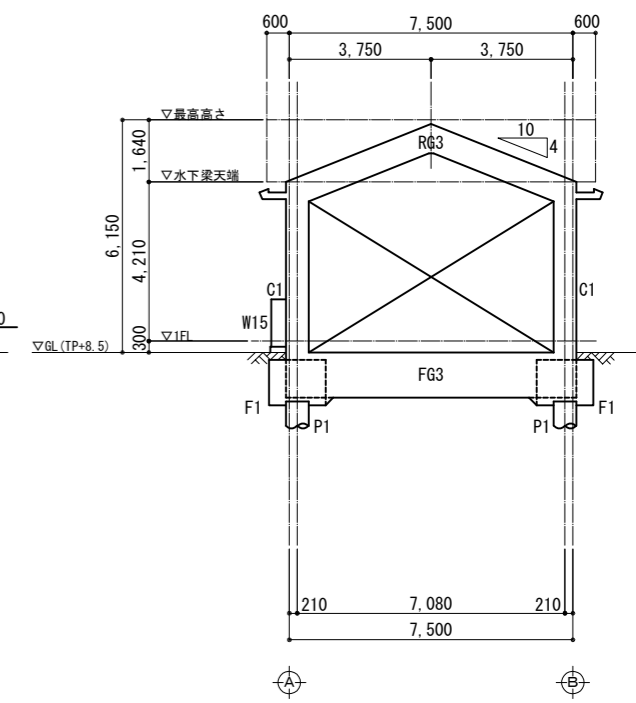
工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	ポンプ室上屋 伏図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	S-11
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		



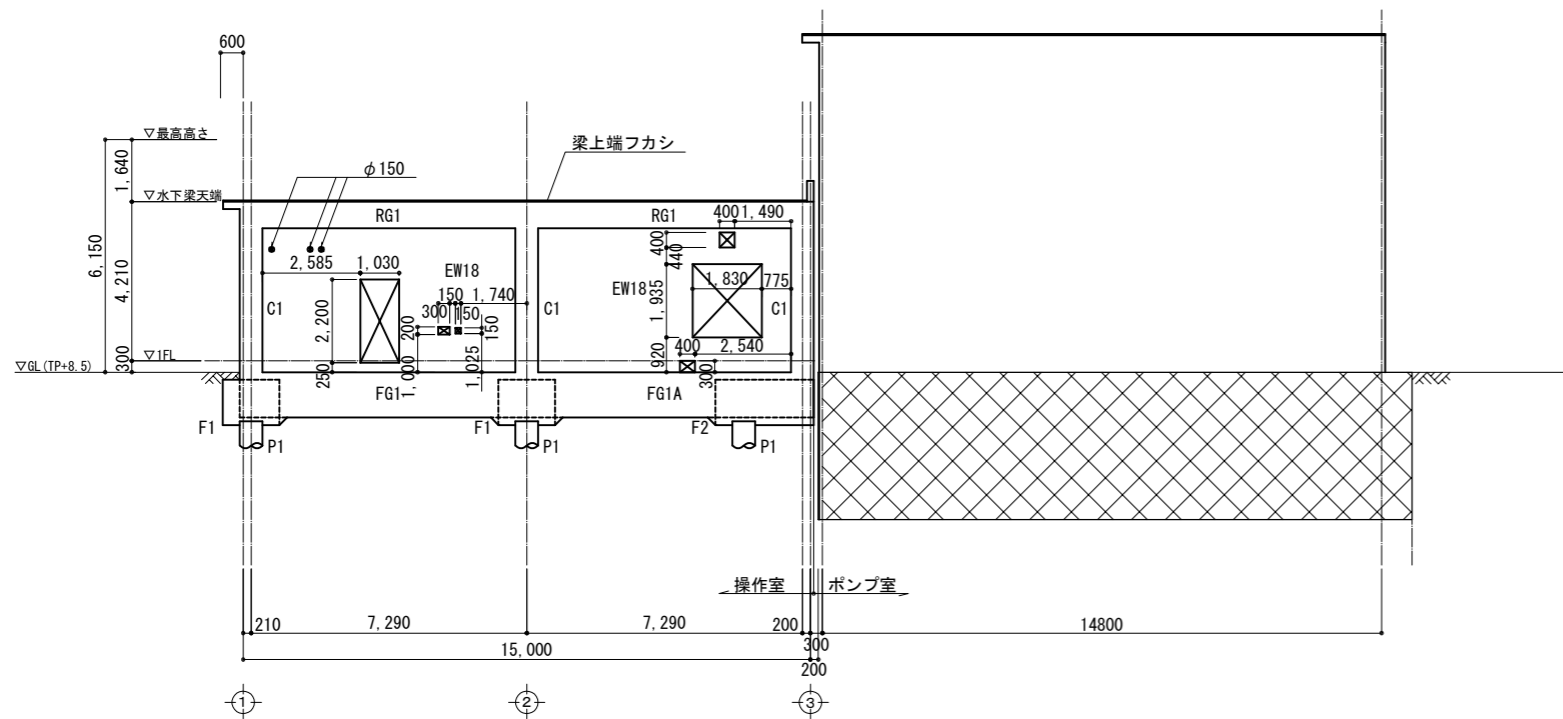
A通り軸組図 S=1/100



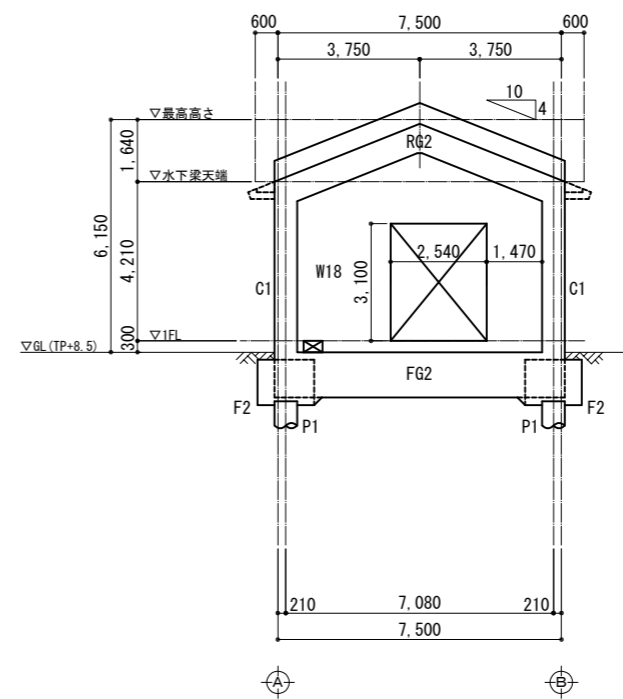
1通り軸組図 S=1/100



2通り軸組図 S=1/100



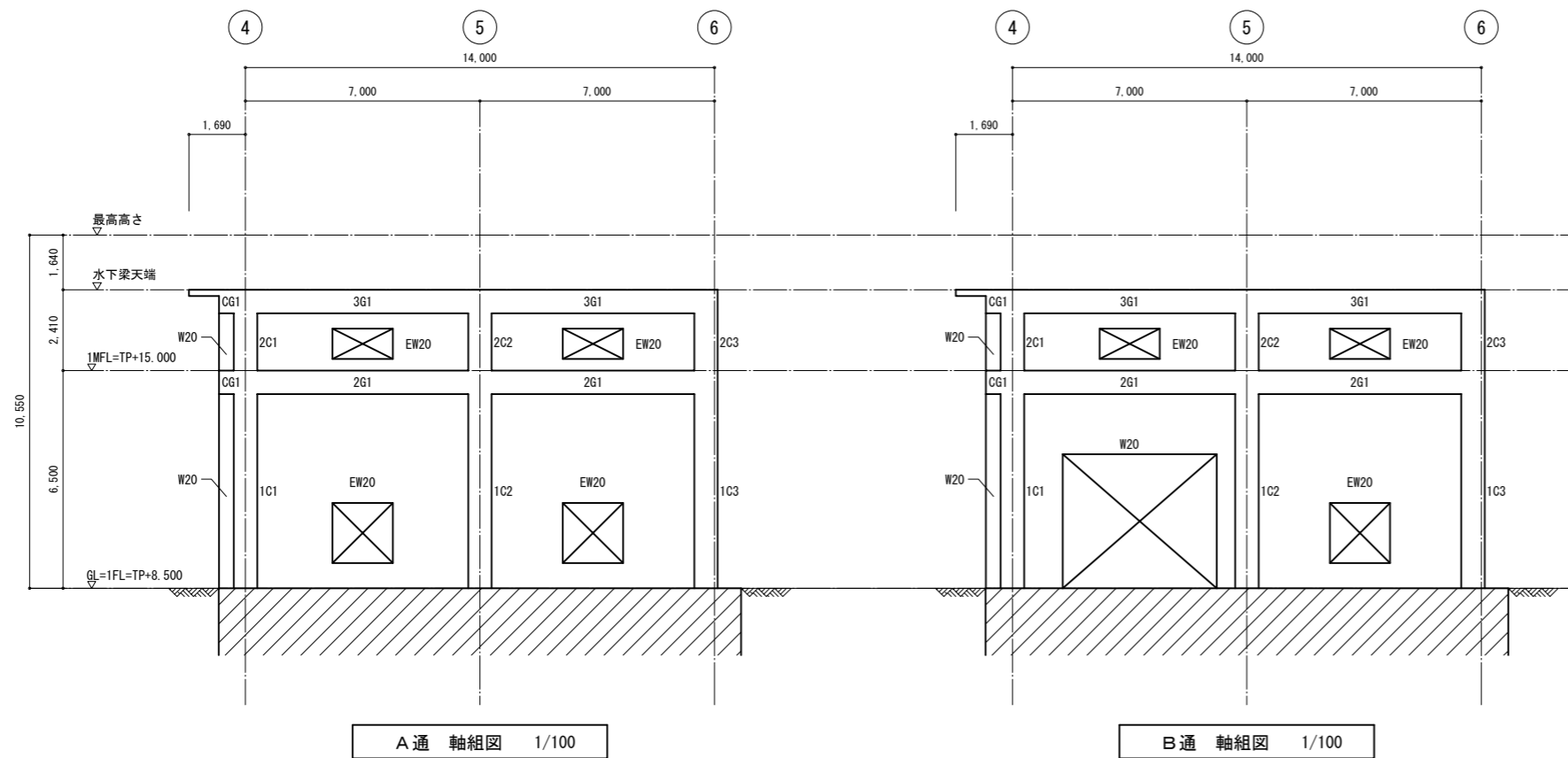
B通り軸組図 S=1/100



3通り軸組図 S=1/100

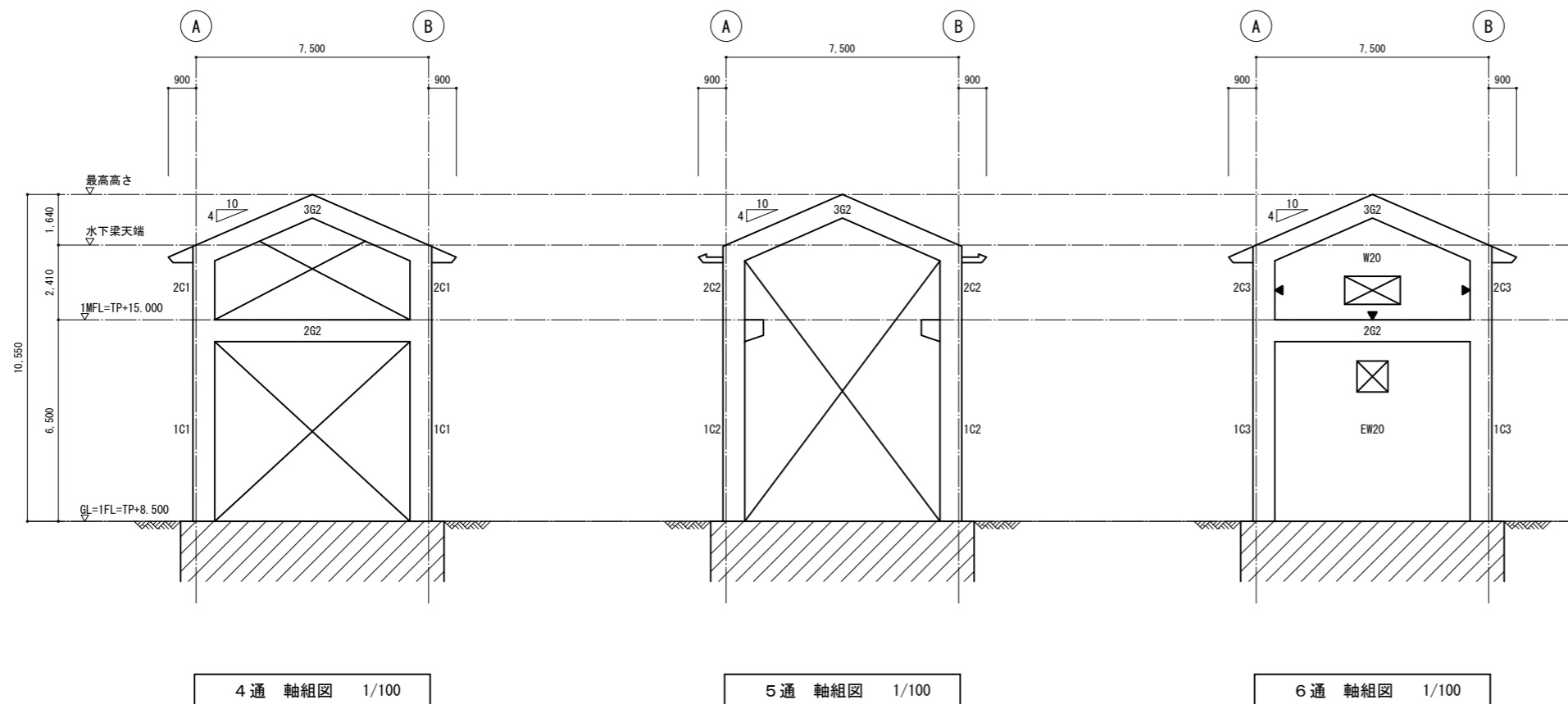
(操作室)

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	軸組図(1)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	S-12
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		



A通 軸組図 1/100

B通 軸組図 1/100



4通 軸組図 1/100

5通 軸組図 1/100

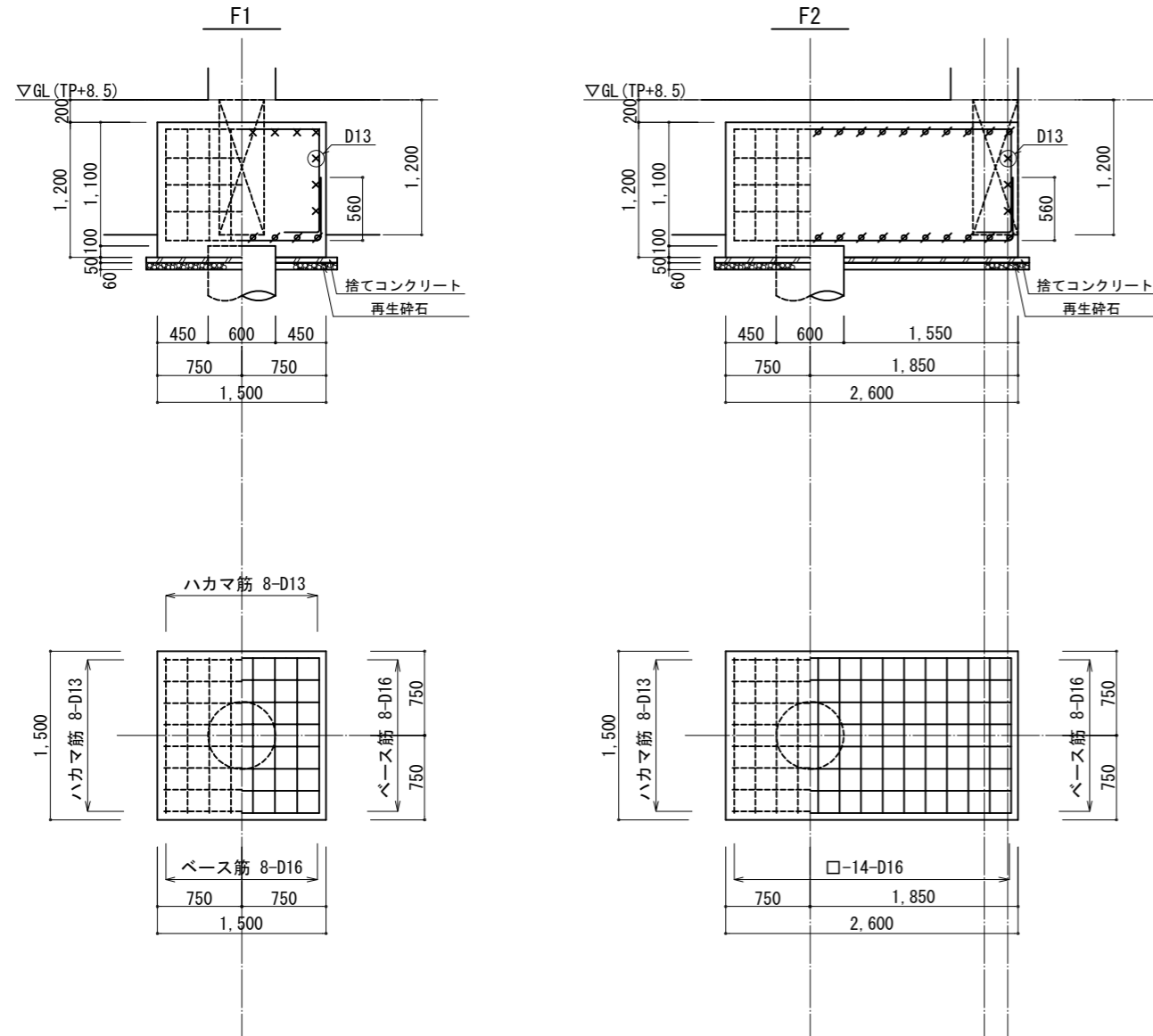
6通 軸組図 1/100

特記なき限り(共通事項)
1. ◀印は、構造スリットを示す。

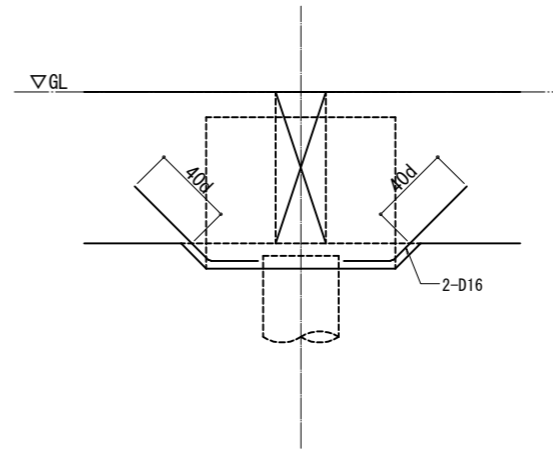
工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	軸組図(2)		
作成年月日			
縮尺	1/100	図面番号	S-13
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

(ポンプ室)

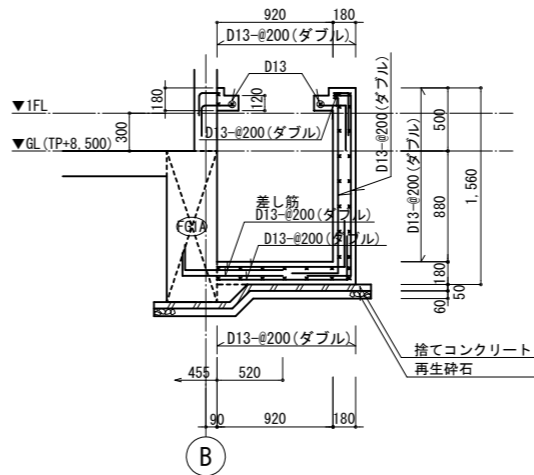
基礎断面表 S=1/30



基礎梁ハンチ部分補強筋図 S=1/30



ハンドホール配筋図 S=1/30



(操作室)

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	断面リスト(1)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	S-14
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

基礎大梁断面表 S=1/30

特記事項 特記なき腹筋は D13 とし、幅止め筋は D10-@1,000以内 とする。

符号	FG1	FG1A	FG2	FG3
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
断面				
上端筋	4 - D22	4 - D22	6 - D22	6 - D22
下端筋	4 - D22	8 - D22	4 - D22	6 - D22
スターラップ	2-D13 @200	2-D13 @150	2-D13 @200	2-D13 @200
腹筋	4 - D13	4 - D13	4 - D13	4 - D13

基礎小梁断面表 S=1/30

特記事項 特記なき腹筋は D13 とし、幅止め筋は D10-@1,000以内 とする。

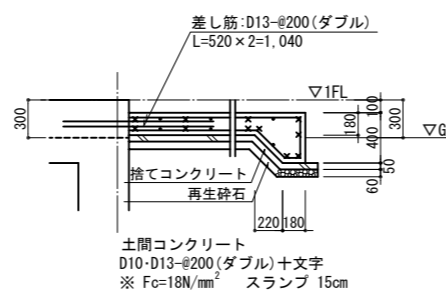
符号	FB1	
位置	両端	中央
断面		
上端筋	5 - D22	5 - D22
下端筋	5 - D22	10 - D22
スターラップ	2-D13 @200	
腹筋	2 - D13	

スラブ断面表 S=1/30

特記事項 1)幅止め筋は D10-@1,000 とする。
2)再生クラッシュランは RC40 とする。

FS1		S1	
FS2		S2 CS2	
		CS1	

土間配筋要領 S=1/30



(操作室)			
工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	断面リスト (2)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	S-15
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

大梁断面表 S=1/30

特記事項 特記なき腹筋は 2-D10 とし、幅止め筋は D10-@1,000以内 とする。

R階	符号	RG1		RG2		RG3	
	位置	全断面		全断面		全断面	
断面							
上端筋		4 - D22		6 - D22		5 - D22	
下端筋		4 - D22		5 - D22		5 - D22	
スターラップ		2-D13 @200		2-D13 @200		2-D13 @200	

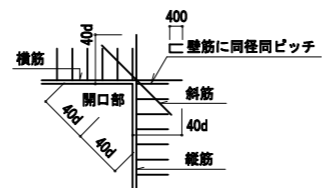
小梁断面表 S=1/30

特記事項 特記なき腹筋は 2-D10 とし、幅止め筋は D10-@1,000以内 とする。

共通	符号	B1	
	位置	両端	中央
断面			
上端筋		4 - D22	4 - D22
下端筋		4 - D22	6 - D22
スターラップ		2-D13 @200	

壁リスト S=1/30

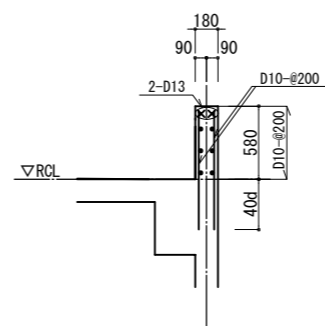
符号	W15	W18	EW18	FW18	特記事項
断面					1) ダブル配筋量の巾止筋は両方向共に D10-@1,000 以内とする。 2) 開口補強要領は下図による。 3) 壁筋は躯体面 50 より割り付ける。
縦筋	1-D13 (先端補強筋)	1-D13 (ダブル)	1-D16 (ダブル)	-	
開口補強横筋	-	1-D13 (ダブル)	1-D16 (ダブル)	-	
開口補強斜筋	-	1-D13 (ダブル)	1-D16 (ダブル)	-	



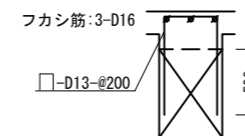
柱断面表 S=1/30

1階	符号	C1	
	断面		
主筋		24 - D25	
フープ		□ - D13 @100	

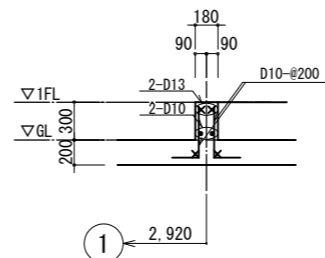
パラペット配筋図 S=1/30



梁フカシ要領 S=1/30

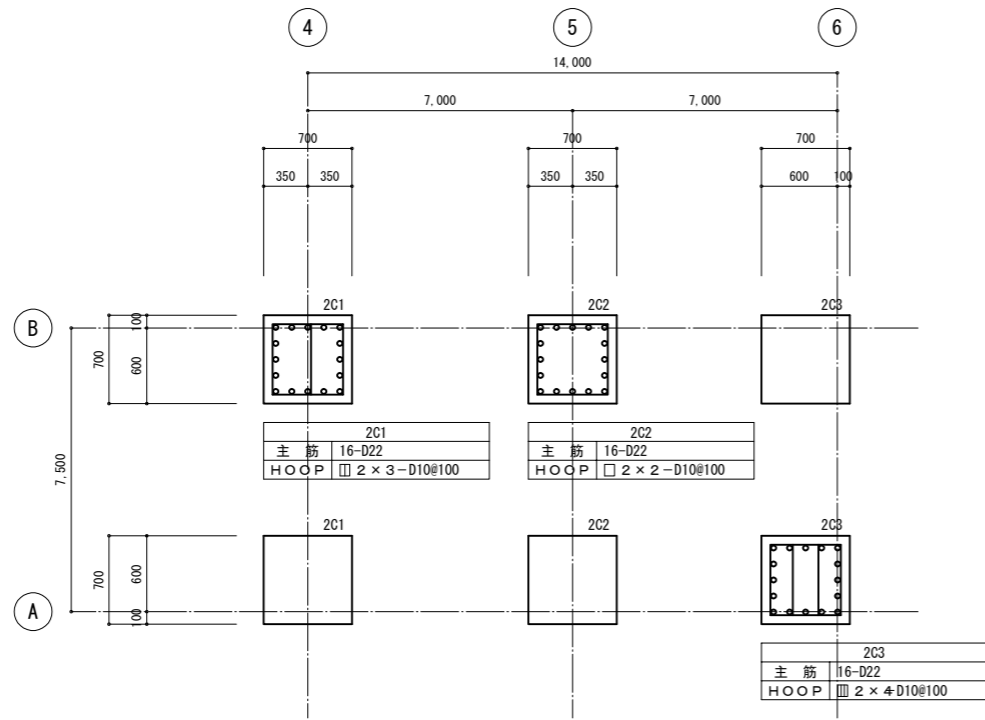


腰壁配筋図 S=1/30

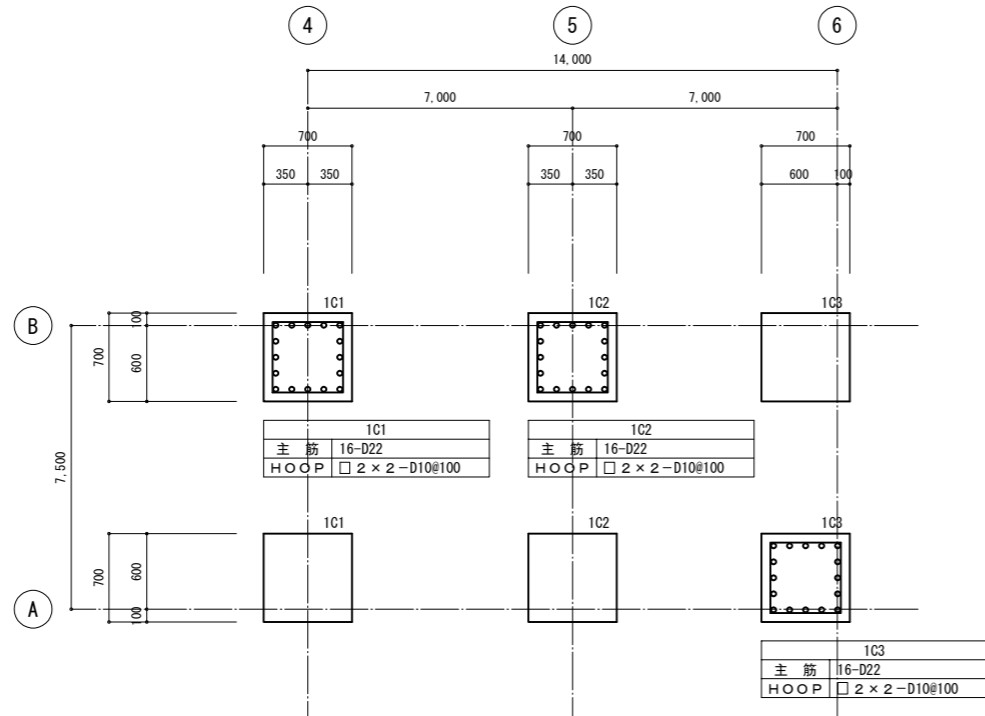


(操作室)

工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	断面リスト (3)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	S-16
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		



1MF 柱リスト 1/30



1階 柱リスト 1/30

大梁リスト 1/30		共通事項 巾止筋 D10@1.000	
符号	3G1	3G2	
位置	全域	全域	
断面			
B × D	450 × 700	450 × 700	
上筋	4-D22	9-D22	
下筋	4-D22	8-D22	
S. T	□ - D10@150	▣ - D10@100	
腹筋	2-D10	2-D10	
符号	2G1	2G2	
位置	全域	全域	
断面			
B × D	450 × 700	450 × 700	
上筋	4-D22	8-D22	
下筋	4-D22	7-D22	
S. T	□ - D10@150	▣ - D10@150	
腹筋	2-D10	2-D10	

(ポンプ室)

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	断面リスト(4)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	S-17
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

小梁リスト 1/30 共通事項 巾止筋 D10@1,000

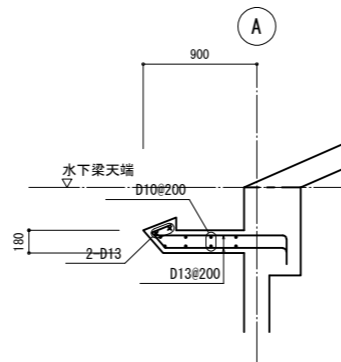
符号	B1	CG1
位置	全域	全域
断面		
B x D	450 x 700	450 x 700
上筋	5-D22	4-D22
下筋	5-D22	4-D22
S.T	□ - D10@150	□ - D10@150
腹筋	2-D10	2-D10

床版リスト

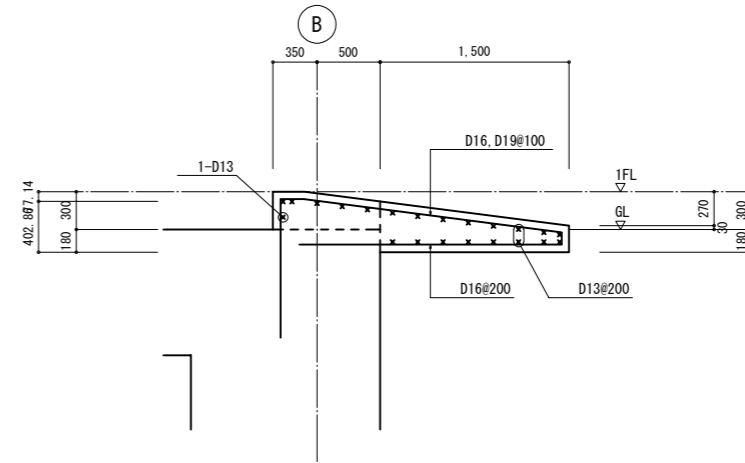
符号	版厚	位置	短辺方向 (主筋)		長辺方向 (配力筋)		備考
			端部	中央部	端部	中央部	
S1	180	上端筋	D13@150	D13@150	D13@200	D13@200	
			D13@150	D13@150	D13@200	D13@200	
CS1	180	上端筋	D13@200	D13@200	D10@200	D10@200	
			D13@200	D13@200	D10@200	D10@200	
CS2	180	上端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	
			D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	
CS3	180~403	上端筋	D16D19@100	D16D19@100	D13@200	D13@200	
			D16@200	D16@200	D13@200	D13@200	

壁リスト 1/30

符号	W20	EW20
壁厚	200	200
断面		
縦筋	D13@200	D13@200
横筋	D13@200	D13@200
開口補強筋	縦	4-D16
	横	4-D16
	斜め	2-D13
幅止筋	∟-D10@1000	∟-D10@1000



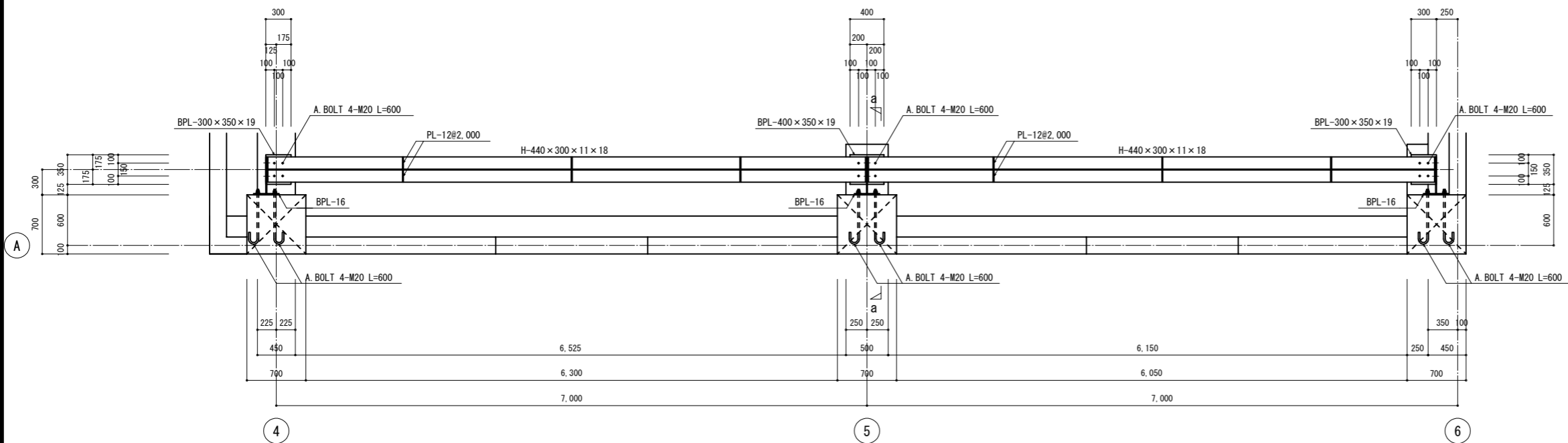
CS1 配筋図 1/30



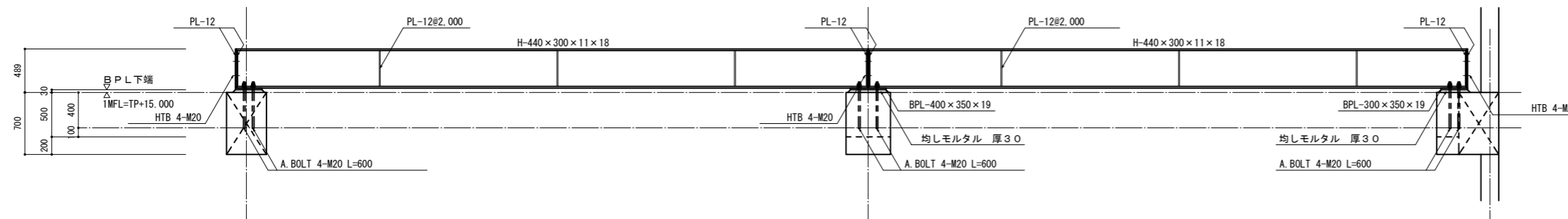
CS3 配筋図 1/30

(ポンプ室)

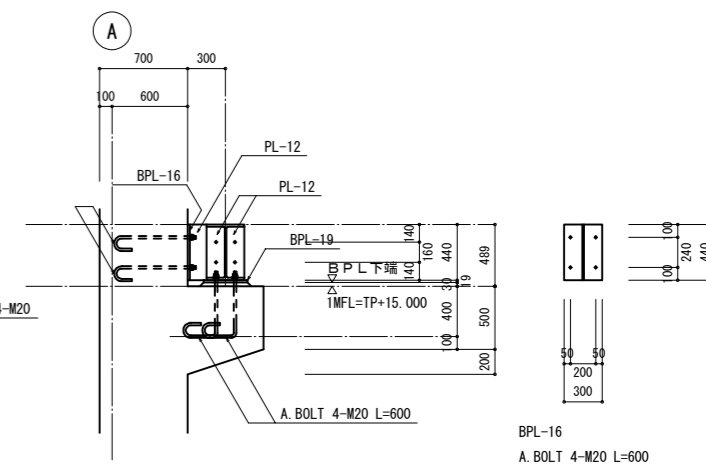
工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	断面リスト (5)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	S-18
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		



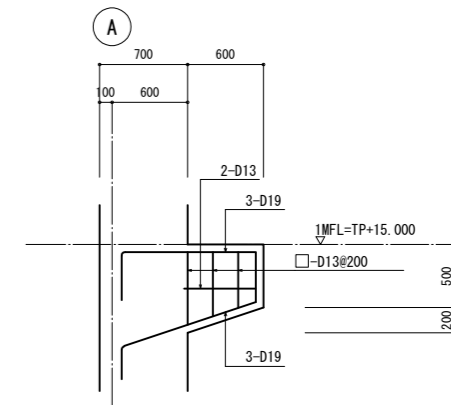
平面図



断面図



a-a 矢視



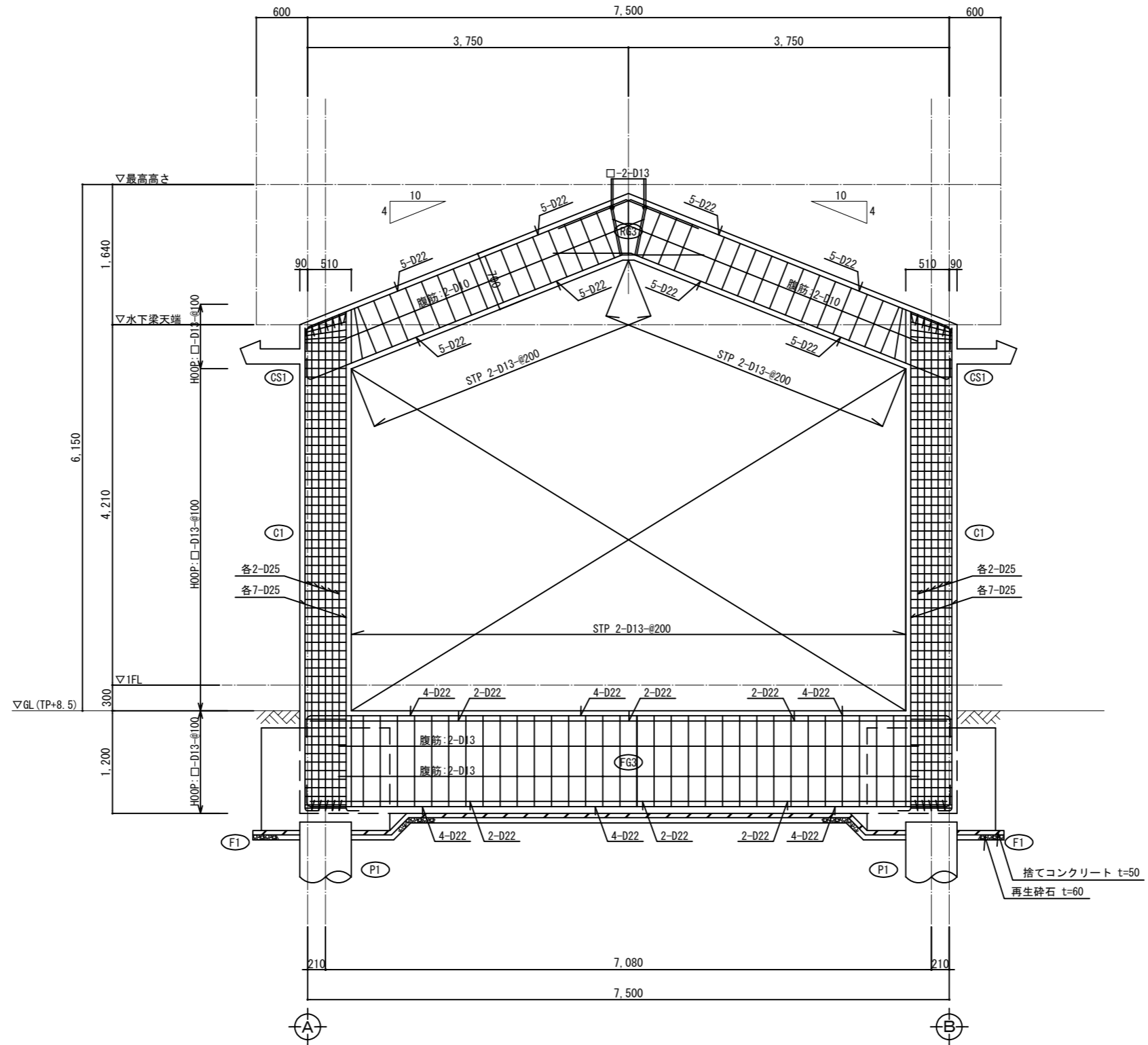
受け梁配筋図

- 特記なき限り(共通事項)
1. 鋼材の材質は、SS400とする。
 2. アンカーボルトの材質は、SS400とする。
 3. HTBは、F8Tとする。
 4. 鋼材は溶融亜鉛めっきA種(JIS H 8641 2種 HDZ55)の上、SOP仕上げとする。

(ポンプ室)

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	断面リスト(6)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	S-19
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

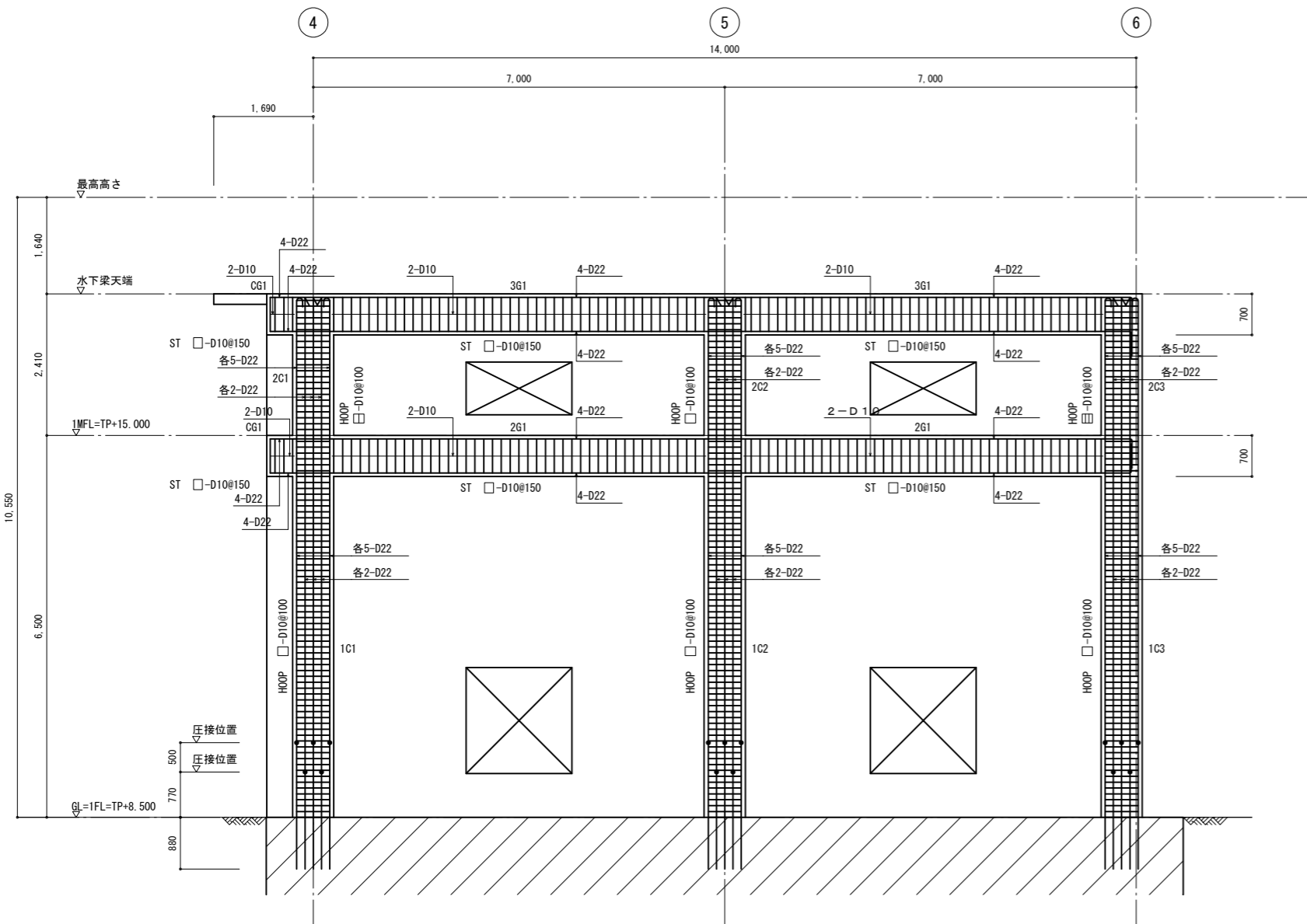
架構配筋図(1/2) S=1:30



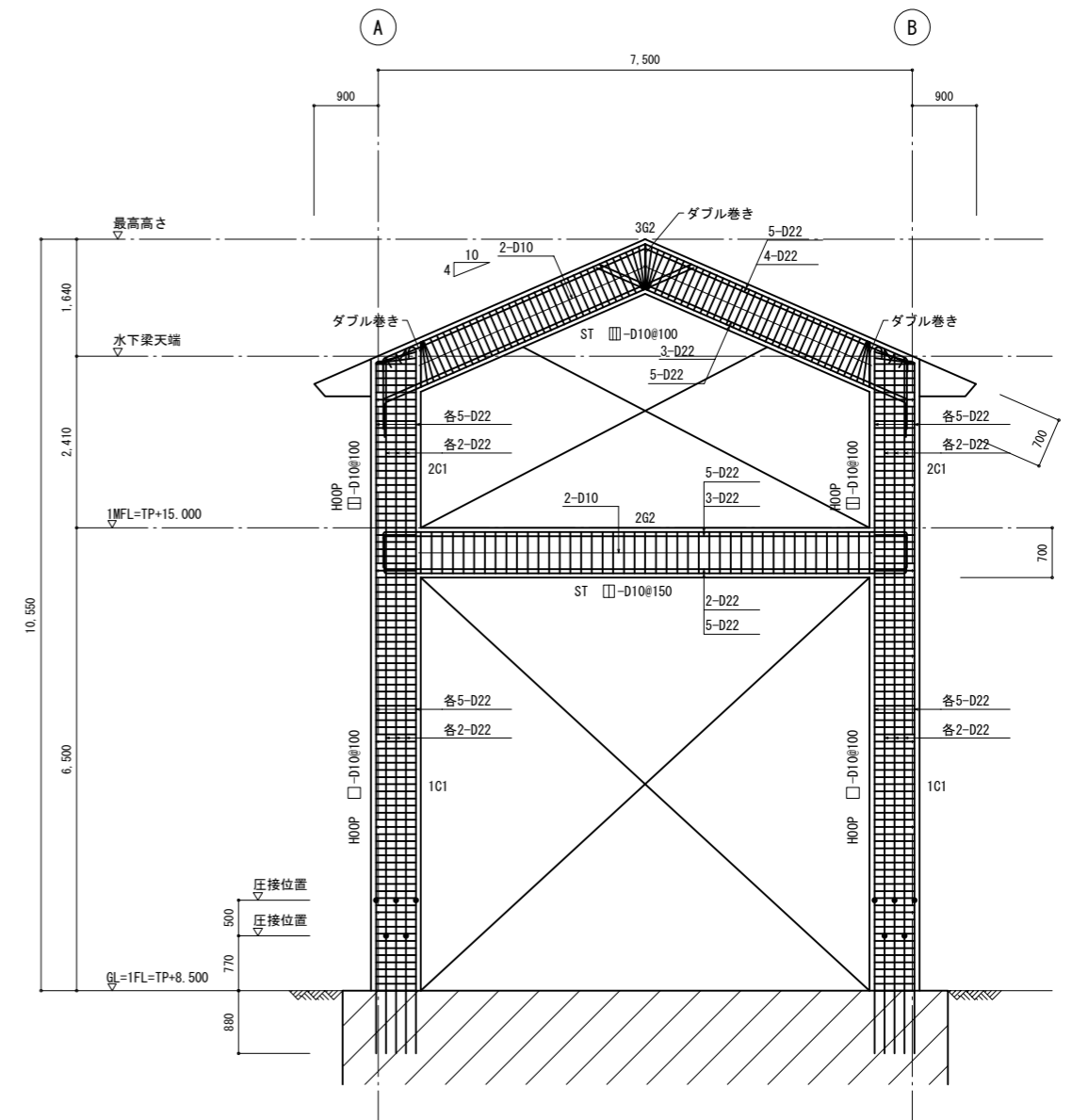
2通り配筋詳細図

(操作室)			
工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	架構配筋図(1)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	S-20
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

架構配筋図(2/2) S=1:50



A通 架構配筋図



4通 架構配筋図

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	架構配筋図(2)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	S-21
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

(ポンプ室)

大杉山揚水機場改修工事 建築機械設備設計図

仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 茨城県水戸市三の丸131-73,96、三丁目131-15,74,75

2. 建物概要

Table with columns: 建物名称, 構造, 階数, 建築基準法による延べ面積(m2), 消防法施行令別表第一, 備考. Includes '大杉山揚水機場' and '新築 一般の施設'.

(備考中の特定の施設、一般の施設とは耐震安全性の分類を示す。)

3. 工事種目 (●印の付いたものを適用する)

Table with columns: 建物別及び屋外工事種目, 工事項別, 屋外. Lists various equipment types like air conditioning, plumbing, etc.

4. 指定部分 ● 無 ○ 有 対象部分 ()

指定部分工期 平成 年 月 日

5. 設備概要●印の付いたものを適用する。)

Table with columns: 方式及び種別, 設備概要. Details air conditioning, water supply, and fire equipment specifications.

6. 改修内容 (改修工事のみ)

II. 工事仕様

1. 共通仕様 (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官制制定の下記仕様書等のうち、●印の付いたものを適用する。

2. 特記仕様 表、項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。

● 一般共通事項

Table with columns: 項目, 特記事項. Lists general requirements for materials, construction, and safety.

○ 工事用仮設物 ● 足場その他
● 建設発生土の処理
● 埋戻し土・盛土
● 運転操作説明板
● 機材の承諾書
● 総合調整

● 建設発生土の処理
● 埋戻し土・盛土
● 運転操作説明板
● 機材の承諾書
● 総合調整

● 電動機
● 電源周波数
● 容量等の表示
● 耐震措置

Table with columns: 設置場所, 機器種別, 特定の施設, 一般の施設. Lists equipment specifications for different building levels.

● 地中埋設機等
○ 配管
○ 絶縁線手
● 保温

○ 絶縁線手
● 保温
○ 配管
○ 絶縁線手
● 保温

○ 塗装
● 電線類
○ 天井上区分
○ 吊り及び支持
○ 施工調査

○ 既存躯体への穿孔
○ 試験
● 他工事又は他工種との取合い

● 設計用温度
○ 空気調和設備
○ 鋼板製煙道
○ ダクト
○ 風量測定口
○ チャンパー

○ ダンパー
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料

○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料

○ ダクト
● 風量測定口
● ダンパー
○ 排気ダクトのシール
● チャンパー
● 保温

○ ダクト
○ 排煙口の形式
○ 排煙口手動開放装置
○ 排煙風量測定

○ システム構成
その他
○ 電気計装用機材

● 衛生器具付水栓
● 洗面器
○ 衛生器具ユニット
○ 浴室・シャワーユニット

● 配管材料
● 水栓
● 量水器
● 量水器料
● 弁類

● 管の地中埋設深さ
○ 水栓柱
● 建物導入部配管
● 引込納付金等

● 配管材料
(1) 屋内
(2) 屋外

● 洗面器等の排水水
○ 満水試験継手
○ 放流納付金等

● 配管材料
● 弁類
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料

○ システム
○ 機器の機能等
○ ガス種別
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料

○ ガス種別
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料
○ 配管材料

○ 仕替等
○ 仕替等
○ 仕替等
○ 仕替等
○ 仕替等
○ 仕替等
○ 仕替等
○ 仕替等

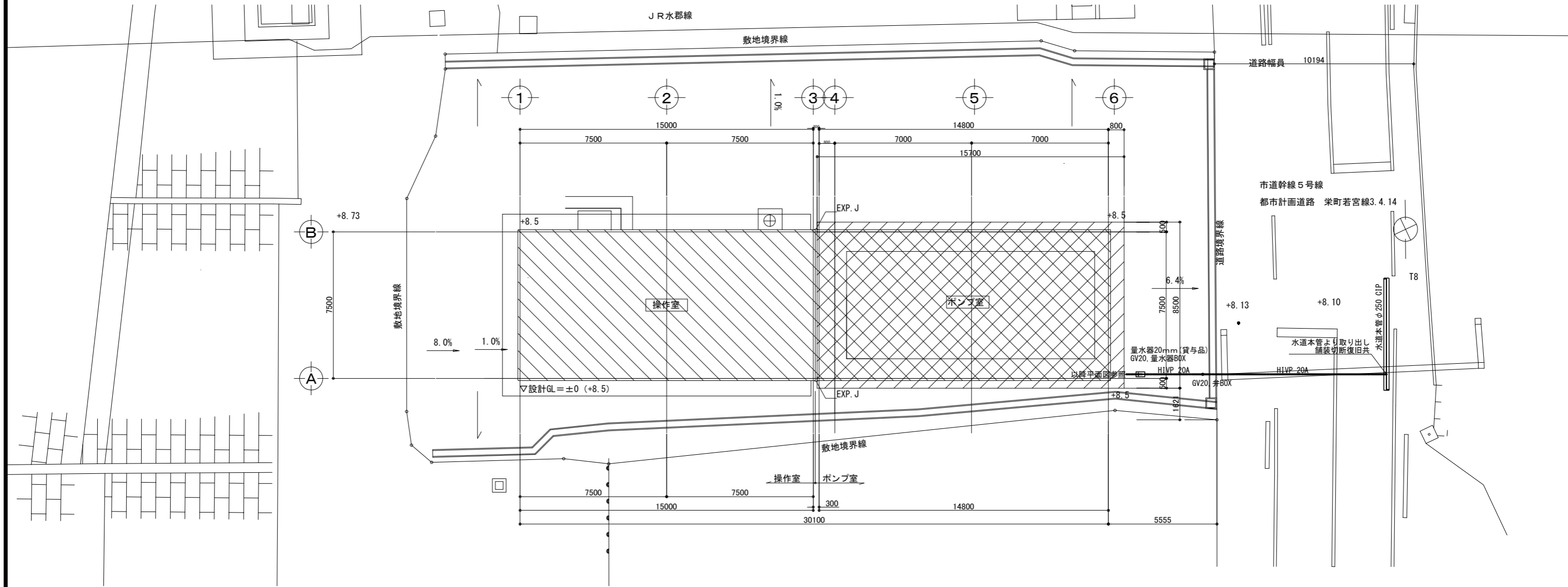
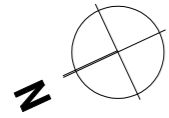
○ 撤去工事
○ 撤去内容
○ 発生材の処理

Table with columns: 品目, 機材名. Lists various materials and equipment.

Table with columns: 工事名, 図面名, 作成年月日, 縮尺, 会社名, 事業者名. Provides project and drawing details.

(設計者等表示欄) ※ 一級建築士番号 (第 号)

※設計者等表示欄は建築士法に基づき、建築士等がその業務に必要な表示を行う場合等に作成する。



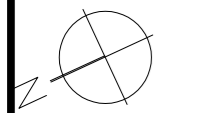
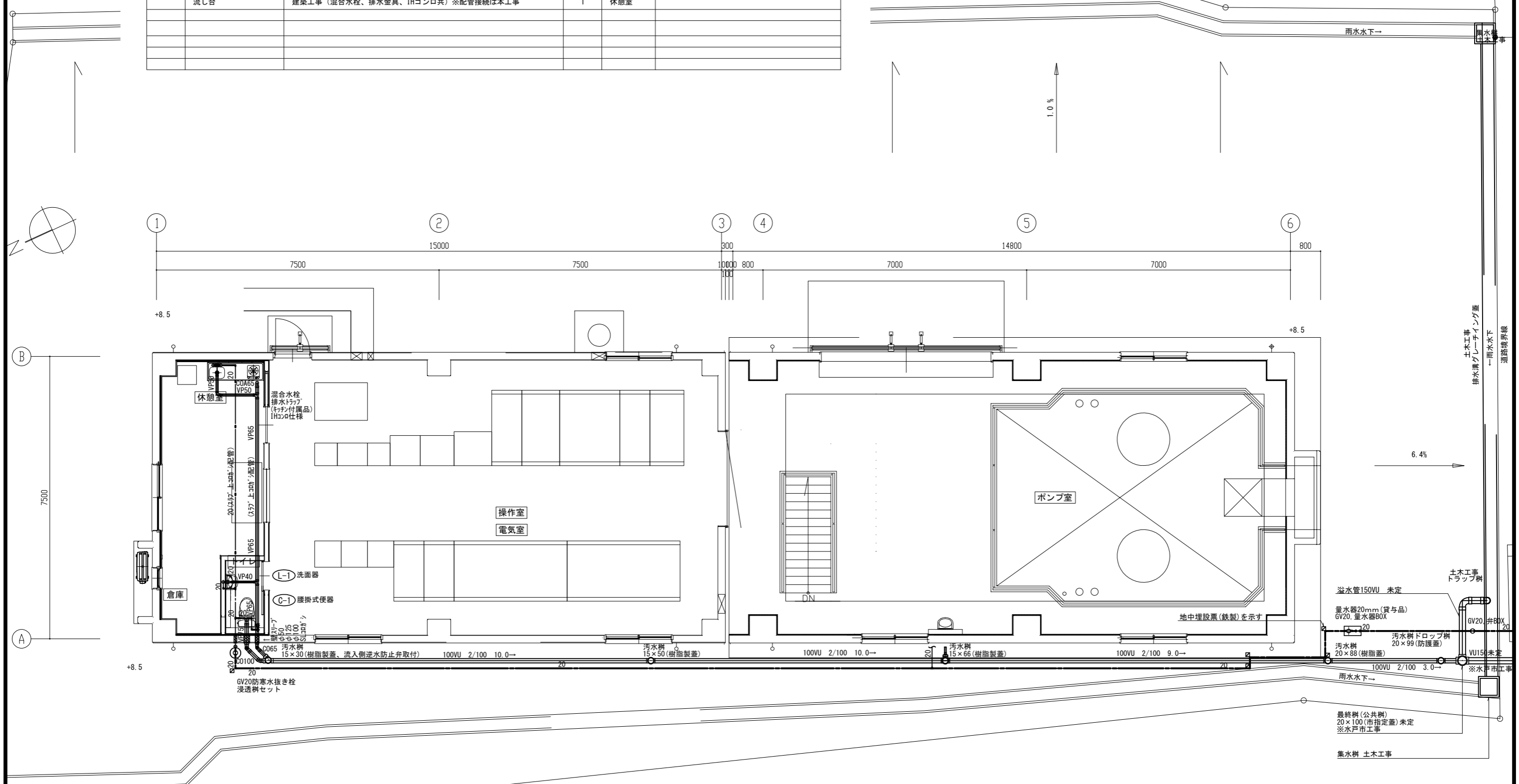
操作室・ポンプ室 平面図1/100

	敷地境界線		下部土木躯体

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	給水設備 配置図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	M-02
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

機器・器具表

記号	名称	仕様	数量	設置場所	備考(参考型番)
C-1	腰掛式便器	防露式便器、ロータンク式(手洗なし)、止水栓、暖房便座(AC100V 52W)、樹脂製フタタッチ式紙巻器、付属品一式共	1	トイレ	C1200S(参考型番:CS230B,SH230BA,TCF116,YH50)
L-1	洗面器	立水栓、止水栓、Pトラップ、化粧棚、化粧鏡(350×450)、付属品一式共	1	トイレ	L420(参考型番:L210C,YKA600C)
	流し台	建築工事(混合水栓、排水金具、IHコンロ共)※配管接続は本工事	1	休憩室	



B

A

下部土木躯体

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	給排水衛生設備 平面図		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	M-03
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

冷暖房設備機器表

機番	名称	形式	台数	冷房能力 kW	暖房能力 kW	電源 相・V・Hz	圧縮機 kW	送風機 室外 W	送風機 室内 W	消費電力W 冷房/暖房/低温	設置場所	リモコン SW	備考(参考型番)
ACR-1	ルームエアコン	室内機：壁掛形 (10畳用)	1	3.6	4.2	1・100・50 室内プラグ 20A	0.95	22	28	1,150/1,070/1,520	1階 休憩室	1 ワイヤレス	室外機高置台、付属品一式共 (S36UTCXS-W)

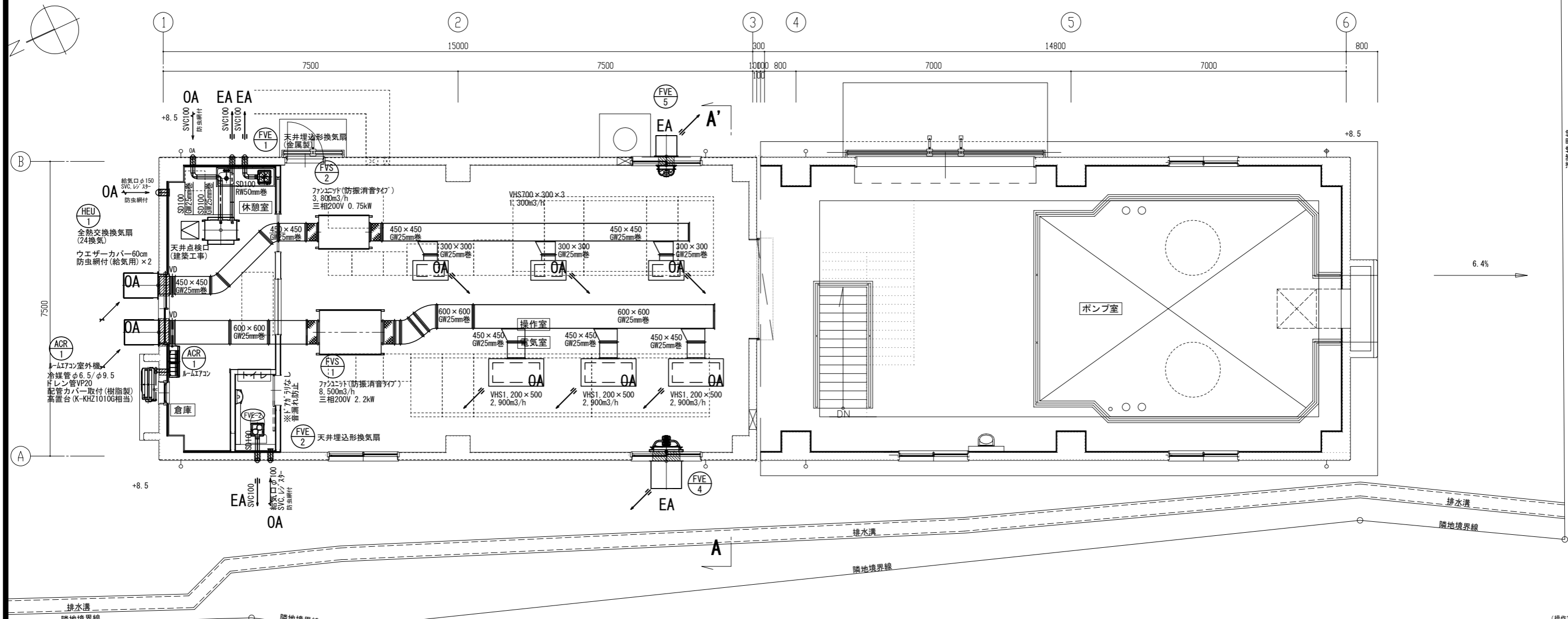
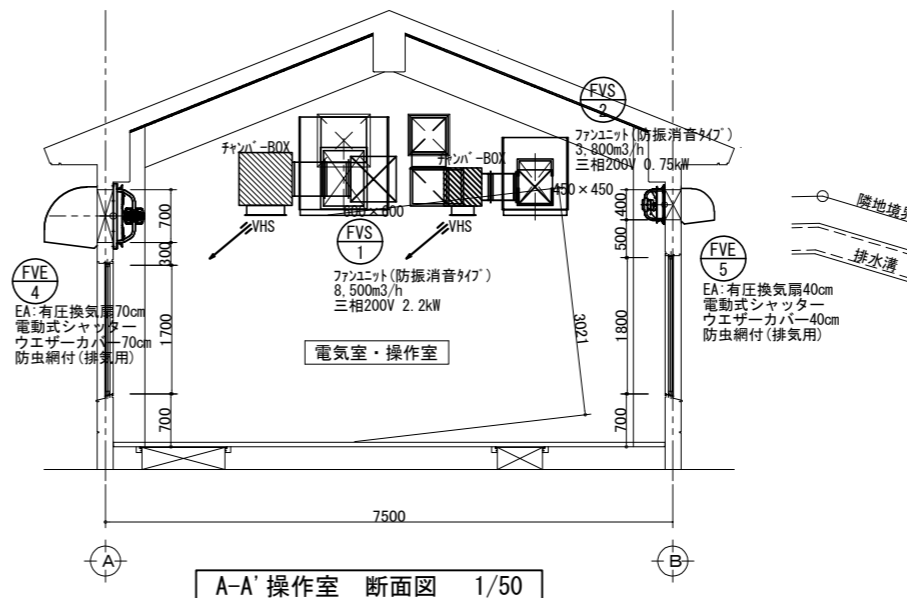
換気設備機器表

機番	名称	台数	番手 #・φ	風量 CMH (一般/24時間)	静圧 Pa (一般/24時間)	電源 相・V・Hz・W	設置場所	参考型番	備考
HEU-1	全熱交換気扇 (24時間換気機能付)	1	100φ	100/30	30/10	1・100・50・69	1階 休憩室	LGH-N15CS	天井カセット形、スタンダードタイプ、インテリアパネル 防振吊金具、高性能フィルター、 24時間換気ユニット、コントロールスイッチ 付属品、必要部材一式共
FVE-1	天井埋込形換気扇 (金属製)	1	100φ	100	30	1・100・50・13.5	1階 休憩室	VD-13ZY9	台所用、低騒音形、付属品、必要部材一式共
FVE-2	天井埋込形換気扇	1	100φ	100	30	1・100・50・13	1階 トイレ	VD-13ZC10	サニタリー用、低騒音タイプ、付属品、必要部材一式共
FVS-1	多翼送風機 (給気用)	1	3 1/2#	8,500	300	3・200・50・2,200	1階 電気室	MFU型#3504	防振防音構造、天井吊設置、消音ボックス、相フランジ、 付属品、必要部材一式共
FVS-2	多翼送風機 (給気用)	1	2 1/2#	3,800	190	3・200・50・750	1階 操作室	MFU型#2504	防振防音構造、天井吊設置、消音ボックス、相フランジ、 付属品、必要部材一式共
FVE-4	有圧換気扇 (排気用)	1	70cm	8,500	40	3・200・50・1,500	1階 電気室	KG-70GTF3	大風量形、取付枠、電動式シャッター、バックガード 付属品、ウエザーカバー70cm防虫網付 (排気用)、必要部材一式共
FVE-5	有圧換気扇 (排気用)	1	40cm	3,800	50	3・200・50・400	1階 操作室	EWf-40ETA	低騒音形、取付枠、電動式シャッター、バックガード 付属品、ウエザーカバー40cm防虫網付 (排気用)、必要部材一式共

特記事項：電気室給排気用換気扇FVS-1、FVE-4、操作室給排気用換気扇FVS-2、FVE-5は連動運転とする。運転は手動及びサーモスイッチ（電気設備工事）による。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	空調・換気設備 機器表		
作成年月日			
縮尺	NON	図面番号	M-04
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

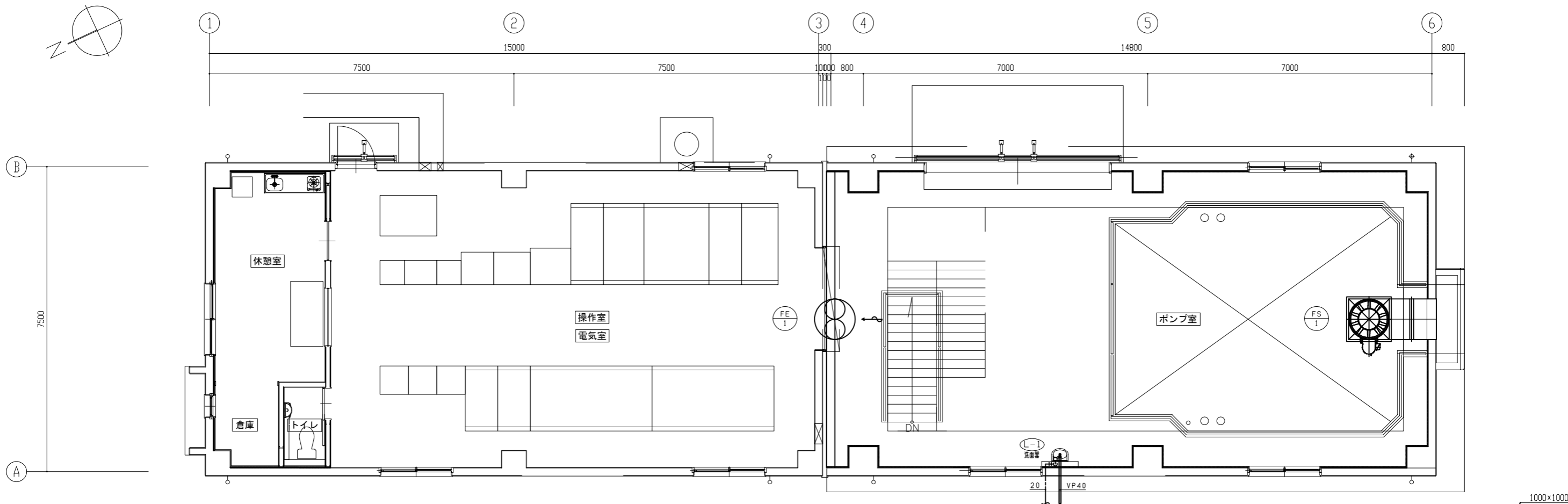
制気口リスト		設置室名	電気室	設置室名	操作室
風量	2,900m ³ /h	風量	1,300m ³ /h		
VHS	1,200×500 二重枠, VD	VHS	700×300 二重枠, VD		
フィルタ	フィルト'ン PS/300	フィルタ	フィルト'ン PS/300		
チャンパ	1,400×700×700H	チャンパ	900×500×500H		
断熱工事	GW25mm	断熱工事	GW25mm		
個数	3	個数	3		
備考	風量調整機構付 H=FL+3000 VHS下端	備考	風量調整機構付 H=FL+3000 VHS下端		



操作室 平面図 1/50

（操作室）			
工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	空調・換気設備 平面図		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	M-05
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

下部土木躯体



操作室・ポンプ室 1階平面図 1/50

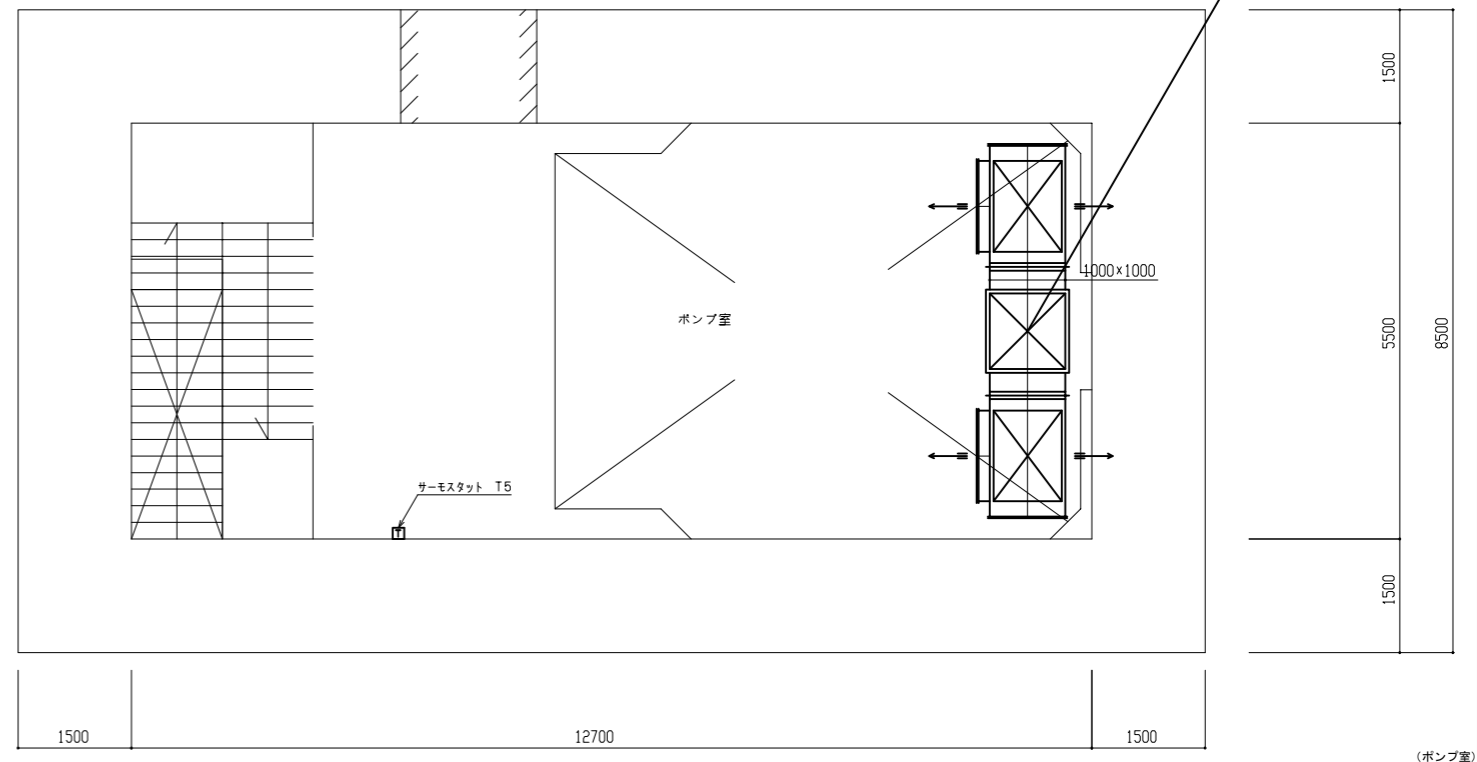
機器表

記号	機器名称	系統	機器仕様	電動機			運転方式	台	設置場所	備考	
				φ	V	Hz					kW
FS-1	送風機 (給気)	ポンプ室	形 式 床置型鋼板製斜流ファン (天井設置) 900φ×32,520CMH×105Pa 付属品 防振吊金物 (メーカー標準品)	3	200	50	5.5	サーモタイマー FE-1連動	1	ポンプ室	
FE-1	送風機 (排気)	ポンプ室	形 式 鋼板製有圧換気扇 (低騒音型) 1050φ× 32,520m ³ /h × 140Pa 付属品 SUS製ウェザーカバー (防鳥網付), 電動シャッター, 取付枠	3	200	50	11.0	FS-1連動	1	ポンプ室	

注記: 1. 動力は参考値とする。

機器・器具表

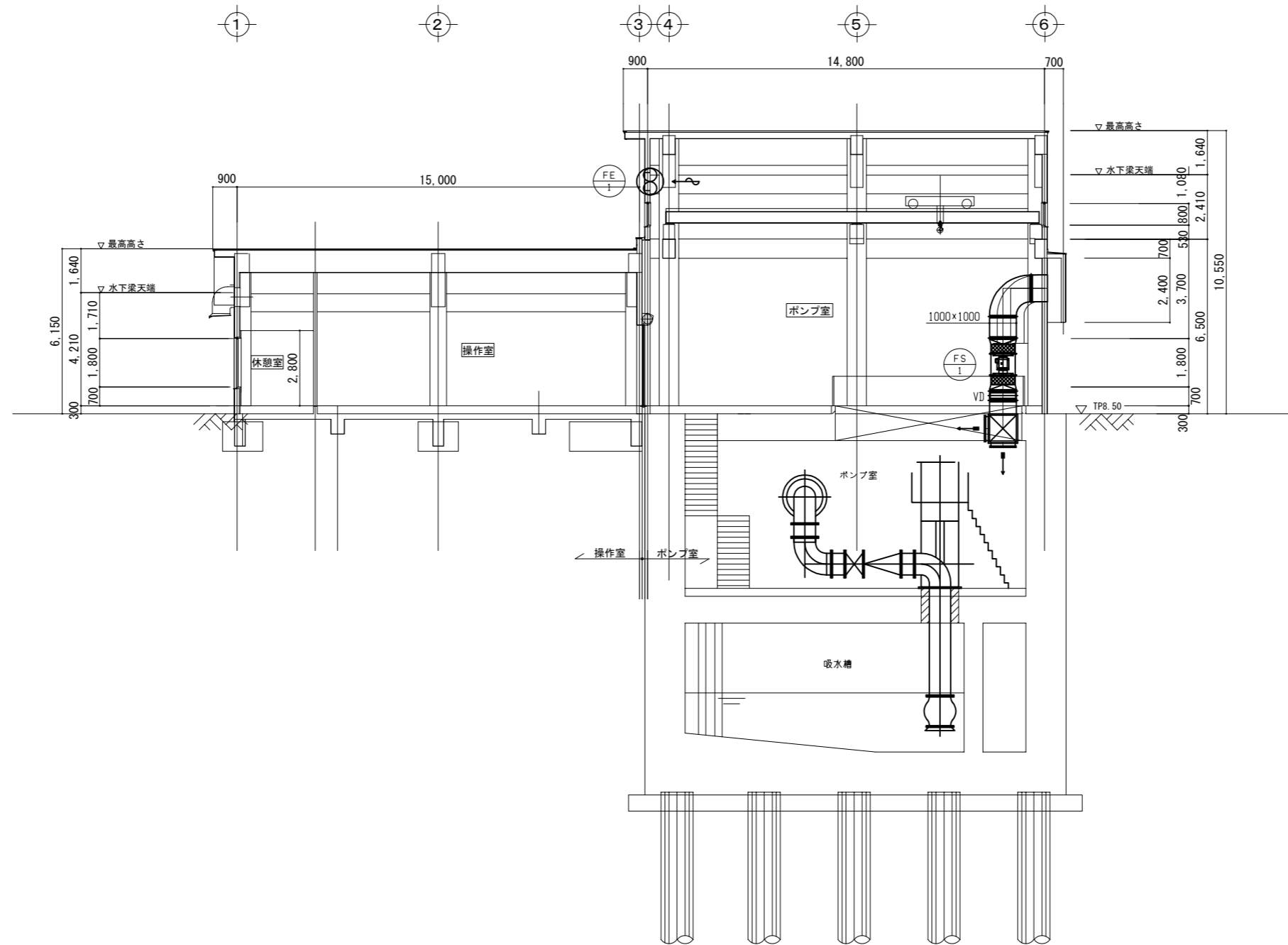
記号	名称	仕様	数量	設置場所	備考 (参考型番)
L-1	洗面器	立水栓、止水栓、Pトラップ、化粧棚、化粧鏡 (350×450)、付属品一式共	1	ポンプ室	L420 (参考型番: L210C, YKA600C)



発電機室			
VHS	1200×900		
OA	8130 m ³ /h	4	
	32520 m ³ /h		

操作室・ポンプ室 B1階平面図 1/50

工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	給排水・換気設備 平面図		
作成年月日		図面番号	M-06
縮尺	1:50	会社名	
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		



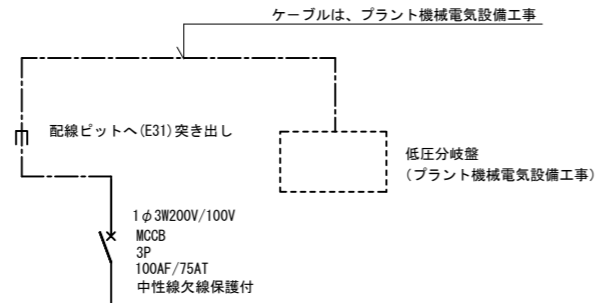
操作室・ポンプ室 断面図 1/100

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	換気設備 断面図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	M-07
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

電灯動力分電盤結線図

本体参考寸法 1,200W x 1,800H x 200D (壁掛型)

盤名称	1-LP
キャビネット形式	W
相数・電圧	1φ3W200V/100V
合計容量	5.889VA



A相 2.984

開閉器	電圧	負荷容量 (VA)	負荷名称	回路番号
ELCB 2P 50AF20AT	100V	434	照明	①
MCCB 2P 50AF20AT	100V	600	冷蔵庫	③
ELCB 2P 50AF20AT	100V	1,250	エアコン	⑤
MCCB 2P 50AF20AT	100V	300	コンセント	⑦
ELCB 2P 50AF20AT	100V	500	コンセント	⑧
ELCB 2P 50AF20AT	100V	—	予備	⑪

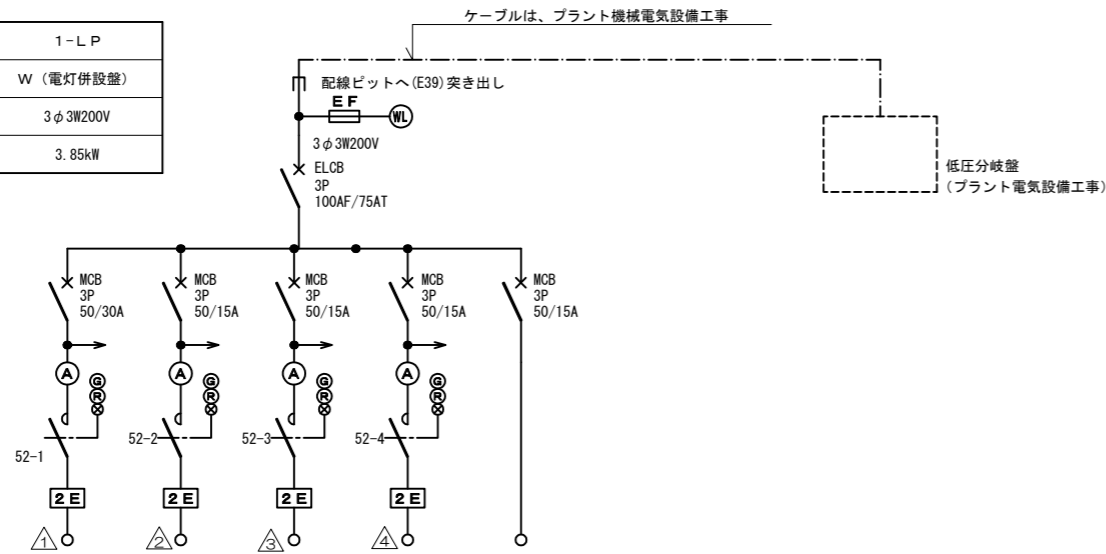
B相 2.905

回路番号	負荷名称	負荷容量 (VA)	電圧	開閉器
②	照明	455	100V	MCCB 2P 50AF20AT
④	コンセント	450	100V	ELCB 2P 50AF20AT
⑥	コンセント	900	100V	MCCB 2P 50AF20AT
⑧	I Hコンロ用	1,000	100V	ELCB 2P 50AF20AT
⑩	予備	—	100V	ELCB 2P 50AF20AT
⑫	予備	—	100V	ELCB 2P 50AF20AT

セパレーター





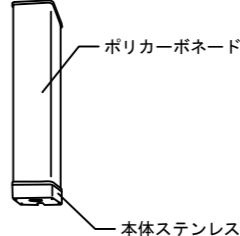
◎ ◎ E T

盤名称	1-LP
キャビネット形式	W (電灯併設盤)
相数・電圧	3φ3W200V
合計容量	3.85kW



負荷名称	FVS-1	FEV-4	FVS-2	FEV-5	制御電源
負荷容量	2.2kW	0.4kW	0.75kW	0.4kW	0.1kW
始動方式	L	L	L	L	電源送り
操作・制御装置	4-1	4-1	4-1	4-1	
操作・制御スイッチ	Th, I	Th, I	Th, I	Th, I	
運動	┌── 運動 ─┘		┌── 運動 ─┘		

照明器具参考姿図

LED 直付 レースウェイ取付	LED シーリングライト	LED7.9W 埋込型
A32.5	B35.5	C7.9
		
公共施設用照明器具型番4-65	LGBZ2256K 市販品相当品 器具光束：4800lm以上 消費電力：36W以下	公共施設用照明器具型番08
LED5.0W 埋込型	LED19W 壁付型	
D5.0	E19	
		
公共施設用照明器具型番05	NNFS21852JLE9 市販品相当品 器具光束：1920lm以上 消費電力：20W以下	

(操作室)

工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	盤結線図・照明器具配置図 (1)		
作成年月日			
縮尺	NON	図面番号	E-02
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

電灯動力分電盤結線図

本体参考寸法 1,200W x 1,500H x 300D (壁掛型)

盤名称	2-LP
キャビネット形式	W
相数・電圧	1φ3W200V/100V
合計容量	5,228 VA (予備含)

低圧分岐盤
(プラント機械電気設備工事)

配管配線は、プラント機械電気設備工事

1φ3W200V/100V

MCCB
3P
50AF/30AT
中性線欠線保護付

A相 2,813VA

開閉器	電圧	負荷容量 (VA)	負荷名称	回路番号
MCCB 2P 50AF20AT	200V	630	電動シャッター	①
MCCB 2P 50AF20AT	100V	704	照明 (1F)	②
MCCB 2P 50AF20AT	100V	294	照明 (B1F)	③
MCCB 2P 50AF20AT	100V	(1000)	予備	④

B相 2,415VA

回路番号	負荷名称	負荷容量 (VA)	電圧	開閉器
②	予備	(1000)	200V	MCCB 2P 50AF20AT
③	コンセント (1F)	400	100V	ELCB 2P 50AF20AT
④	コンセント (B1F)	200	100V	ELCB 2P 50AF20AT
⑤	予備	(1000)	100V	MCCB 2P 50AF20AT

◎ ◎ ET

セパレーター

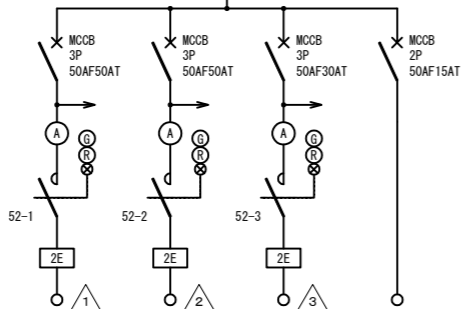
盤名称	2-LP
キャビネット形式	W (電灯併設盤)
相数・電圧	3φ3W200V
合計容量	9.6 kW

低圧分岐盤
(プラント機械電気設備工事)

配管配線は、プラント機械電気設備工事

3φ3W200V

E F N-L



負荷名称	FS-1	FE-1	FE-2	制御電源
負荷容量	3.7kW	3.7kW	2.2kW	—
始動方式	L	L	L	電源送り
操作・制御装置	4-1	4-1	4-1	
操作・制御スイッチ	Ti・Th	I	Ti	
連動	インターロック			

照明器具参考姿図

LED 直付 (壁付)	LED 直付 (高天井用)	LED 直付 (壁付) 防湿型
F-40	G-200	H-40
公共施設用照明器具型番 LSS1-4-30	公共施設用照明器具型番 LSR1W-200	公共施設用照明器具型番 LSS1MP/RP-4-46

凡例

記号	名称	摘要	記号	名称	摘要
	電灯動力分電盤	露出型			
			○ 2	丸型露出ボックス 2方出	1F: 金属製, B1F: 樹脂製
	LED灯	壁付	○ 3	丸型露出ボックス 3方出	1F: 金属製, B1F: 樹脂製
	LED灯 WP	壁付 防湿型	○ 4	丸型露出ボックス 3方出	1F: 金属製, B1F: 樹脂製
	LED灯	高天井用	□	露出スイッチボックス 1方出	1個用 金属製
	埋込スイッチ	1P15A×1		有圧換気扇	建築機械設備工事
	埋込スイッチ	1P15A×4		電動シャッター	建築工事
	埋込コンセント	2P15A×2 接地端子付	-----	配管配線	露出 (塗装共)
	埋込コンセント	3P15A×1 接地端子付			
	防水コンセント	2P15A×2 接地端子付			

(ポンプ室)

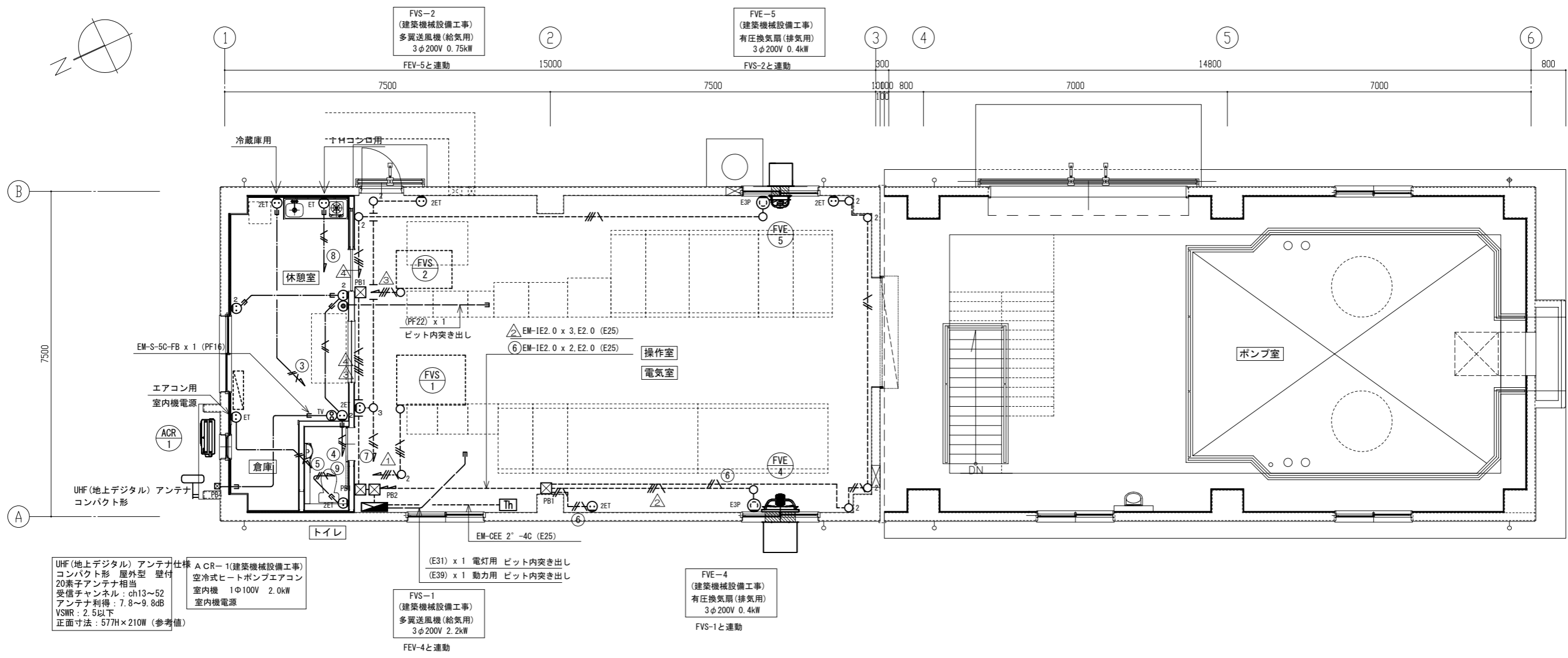
工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	盤結線図・照明器具姿図 (2)		
作成年月日			
縮尺	NON	図面番号	E-03
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

凡例

記号	名称	摘要	記号	名称	摘要	記号	名称	摘要
	電灯動力分電盤	露出型	☒ PB1	プルボックス 200x200x200	溶融亜鉛鍍金		EM-IE 2.0 x 3, E2.0 (E19)	躯体埋設配管配線
			☒ PB2	プルボックス 250x250x250	溶融亜鉛鍍金		EM-IE 2.0 x 4, E2.0 (E22)	躯体埋設配管配線
⊕ E3P	コンセント 3P15A x 1	接地端子付	☒ PB4	プルボックス 200x200x200	溶融亜鉛鍍金 防水型		EM-IE 2.0 x 3, E2.0 (E19)	露出配管配線 塗装
Th	温度調整器	40°C (可変型)					EM-IE 2.0 x 6, E2.0 (E25)	露出配管配線 塗装
2	コンセント	2P15A x 2	○	露出丸ボックス 1方出	金属製		EM-IE 2.0 x 4 (E19)	露出配管配線 塗装
2ET	コンセント	2P15A x 2 接地端子付	○2	露出丸ボックス 3方出	金属製	Ⓢ	T V用端子	
ET	コンセント	2P15A x 1 接地端子付	Ⓛ B	ユニバーサルエルボ	金属製	Ⓞ	電話用ノズレプレート付	配線ビット内 配管突き出し
WP	コンセント	2P15A x 1 接地端子付, 防水形						

凡例

番号	名称	幅×高さ×奥行	備考
①	引込受電盤	1000×2350×1900	
②	主変圧器盤	2000×2350×1900	
③	No.1ポンプ盤	800×2350×1900	
④	No.2ポンプ盤	800×2350×1900	
⑤	動力変圧器・コンデンサ盤	1200×2350×1900	
⑥	直流電源盤	1000×2350×900	
⑦	低圧制御盤	800×2350×700	
⑧	補助継電器盤	700×2350×700	
⑨	テレメータ盤(備前堀用親局)	700×2350×700	
⑩	テレメータ盤(原研用子局)	700×2350×700	
⑪	監視制御盤	600×2350×600	
⑫	監視操作卓(大杉山)	800×2350×1540	
⑬	監視操作卓(備前堀)	800×2350×1540	
⑭	パソコン	1600×1600×800	
⑮	取水ゲート遠方操作盤	600×2000×400	
⑯	起伏ゲート操作盤	800×2000×600	
⑰	油圧ユニット	1400× ×1000	
⑱	テレメータ盤(中央子局)	700×2350×700	



UHF(地上デジタル)アンテナ
コンパクト形 屋外型 壁付
20素子アンテナ相当
受信チャンネル: ch13~52
アンテナ利得: 7.8~9.8dB
VSWR: 2.5以下
正面寸法: 577H×210W (参考値)

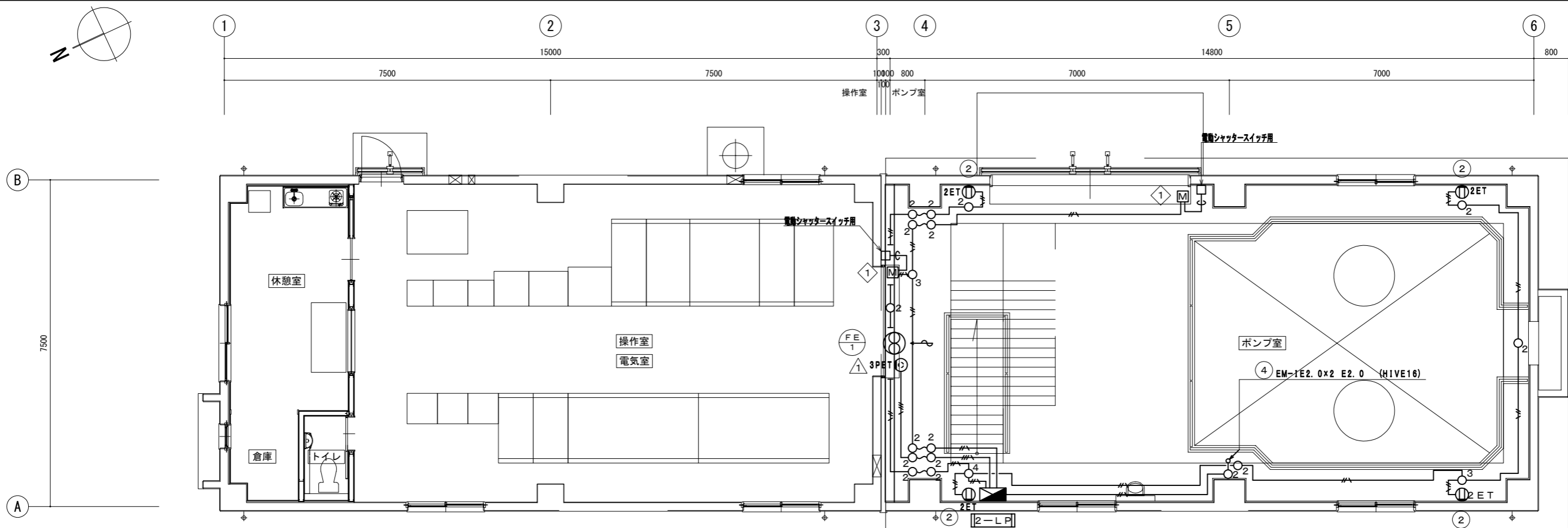
ACR-1(建築機械設備工事)
空冷式ヒートポンプエアコン
室内機 1Φ100V 2.0kW
室内機電源

FVS-1
(建築機械設備工事)
多翼送風機(給気用)
3Φ200V 2.2kW
FEV-4と連動

FVE-4
(建築機械設備工事)
有圧換気扇(排気用)
3Φ200V 0.4kW
FVS-1と連動

操作室・ポンプ室 平面図 1/ 50

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	動力・コンセント・弱電設備 平面図		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	E-04
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

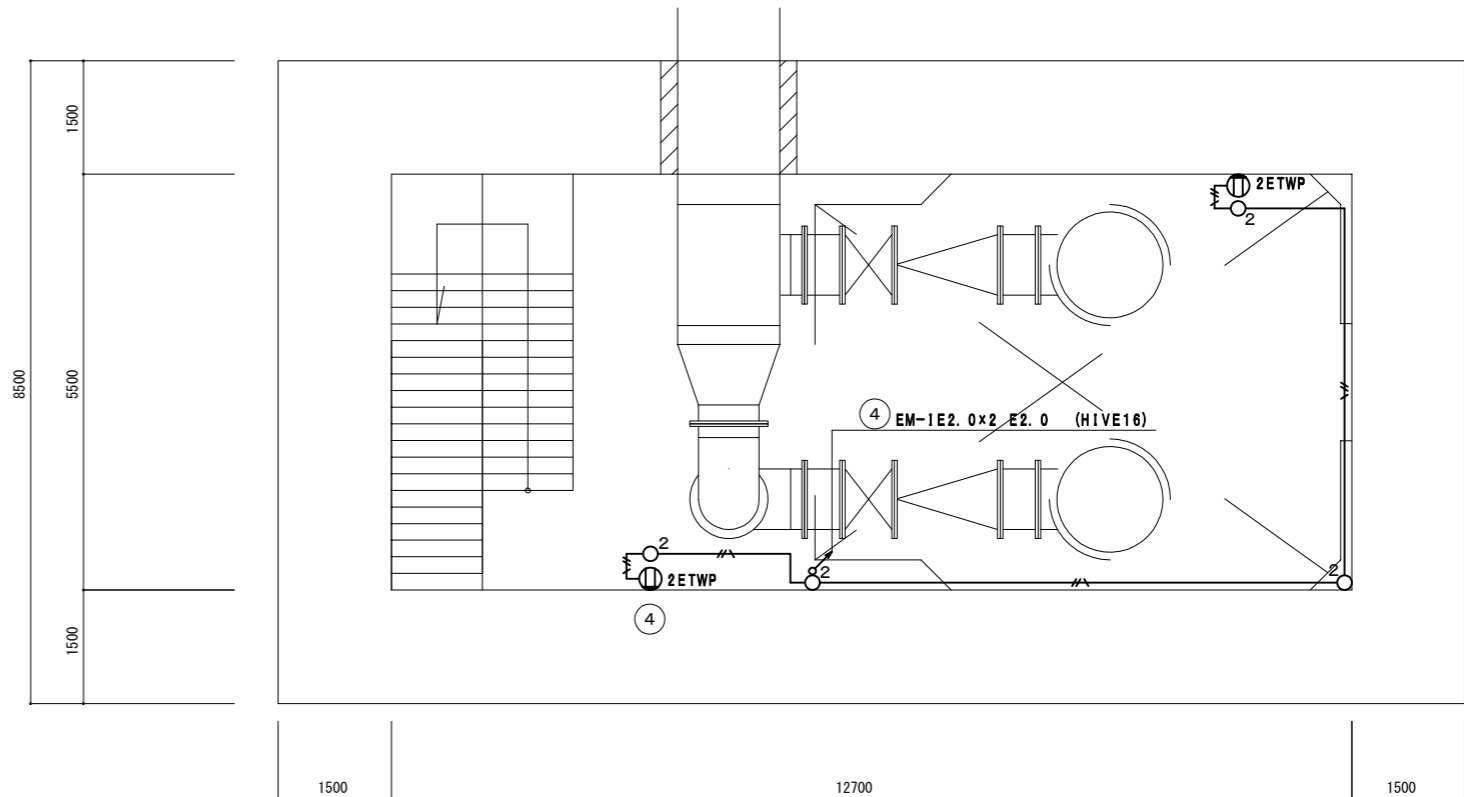


操作室・ポンプ室 1階平面図 1/50

(注記)

1. 特記なき配管配線は下記とする。

	(B1F)	(1F)
	EM-IE2.0x2 E2.0 (HIVE16)(E19)	
	EM-IE2.0x3 E2.0 (HIVE22)(E25)	
	空配管	(HIVE22)(E25)
	エキスパンションジョイント部 金属製可とう電線管を示す	



操作室・ポンプ室 B1階平面図 1/50

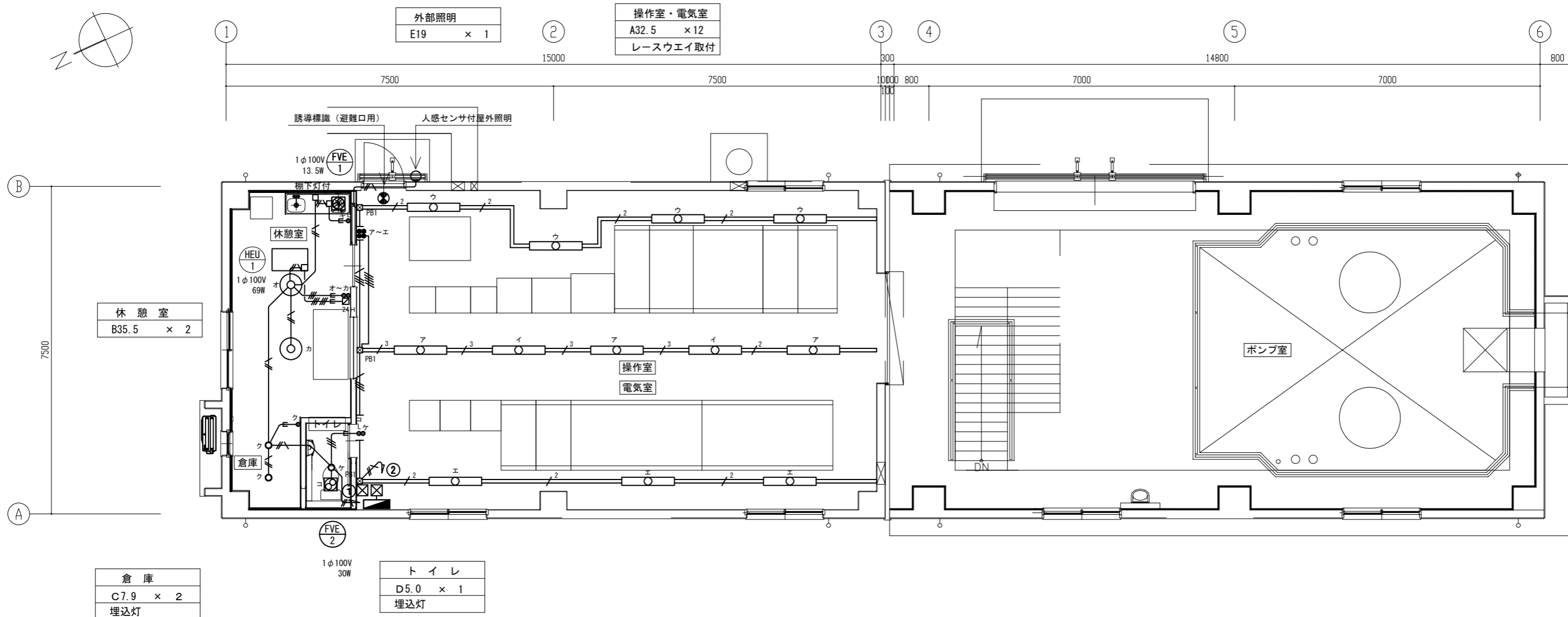
工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	動力・コンセント設備 平面図		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	E-05
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

凡例

記号	名称	摘要	記号	名称	摘要	記号	名称	摘要	記号	名称	摘要
	電灯動力分電盤	露外型		ブルボックス 200x200x200	溶融亜鉛鍍金		二種金属線び 40x30	溶融亜鉛めつき (MM2-A)		EM-IE 2.0 x 2, E2.0 (PF16)	躯体埋設配管配線
	LED灯	2種金属線び取付 LED灯用		露出丸ボックス 2方出	金属製		EM-IE 2.0 x 3, E2.0	二種金属線び内		EM-IE 2.0 x 3 (PF16)	躯体埋設配管配線
	LED灯	天井直付棟		露出丸ボックス 3方出	金属製		EM-IE 2.0 x 3, E2.0	二種金属線び内		EM-IE 2.0 x 6 (PF16)	躯体埋設配管配線
	LED灯	天井埋込灯		ユニバーサルエルボ	LB型 ねじ無し電線管					EM-IE 2.0x2, E2.0 (E19)	露出配管配線 塗装
	LED灯	屋外壁付灯 (人感センサ付)		24時間全交換制御用コントローラスイッチ	(機械設備支給品)					EM-IE 2.0x4, E2.0 (E19)	露出配管配線 塗装
				タンブラースイッチ	1P15A x 1					EM-IE 2.0x6, E2.0 (E25)	露出配管配線 塗装
				タンブラースイッチ	1P15A x 2					EM-IE 2.0 x 6 (E19)	露出配管配線 塗装
				タンブラースイッチ	1P15A x 3						
				タンブラースイッチ	点灯表示付						

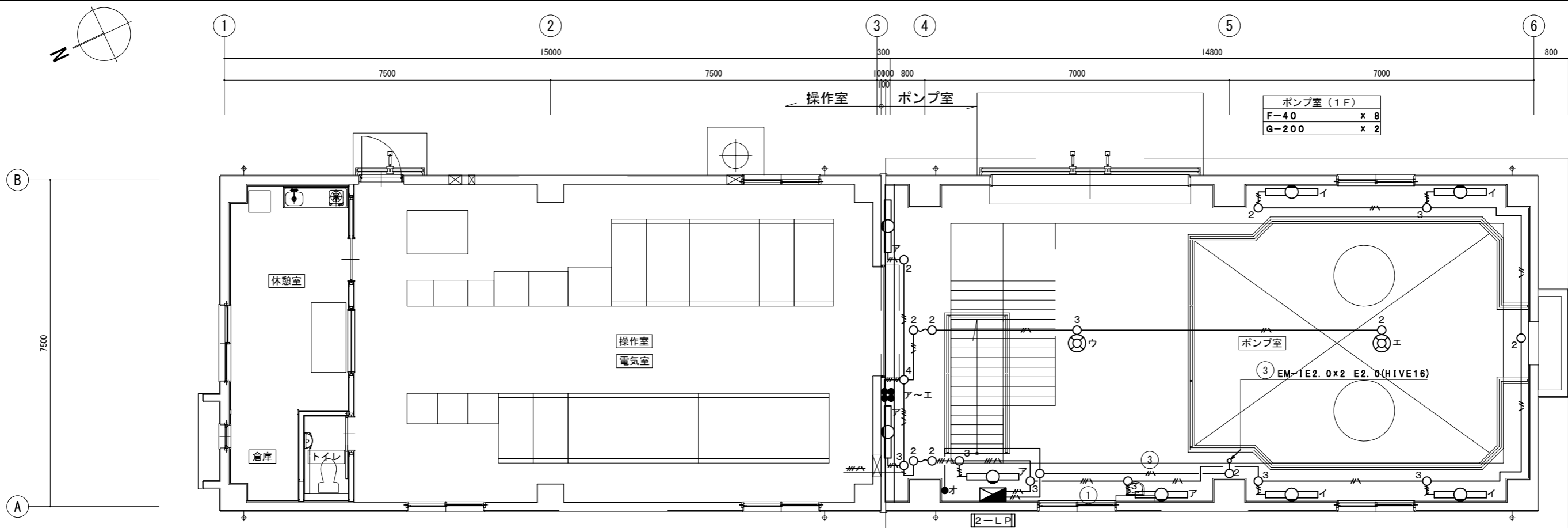
凡例

番号	名称	幅×高さ×奥行	備考
①	引込受電盤	1000×2350×1900	
②	主変圧器盤	2000×2350×1900	
③	No.1ポンプ盤	800×2350×1900	
④	No.2ポンプ盤	800×2350×1900	
⑤	動力変圧器・コンデンサ盤	1200×2350×1900	
⑥	直流電源盤	1000×2350×900	
⑦	低圧制御盤	800×2350×700	
⑧	補助継電器盤	700×2350×700	
⑨	テレメータ盤(備前堀用親局)	700×2350×700	
⑩	テレメータ盤(原研用子局)	700×2350×700	
⑪	監視制御盤	600×2350×600	
⑫	監視操作卓(大杉山)	800×2350×1540	
⑬	監視操作卓(備前堀)	800×2350×1540	
⑭	パソコン	1600×1600×800	
⑮	取水ゲート遠方操作盤	600×2000×400	
⑯	起伏ゲート操作盤	800×2000×600	
⑰	油圧ユニット	1400× ×1000	
⑱	テレメータ盤(中央子局)	700×2350×700	



操作室・ポンプ室 平面図 1/ 50

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	電灯設備 平面図		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	E-06
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		



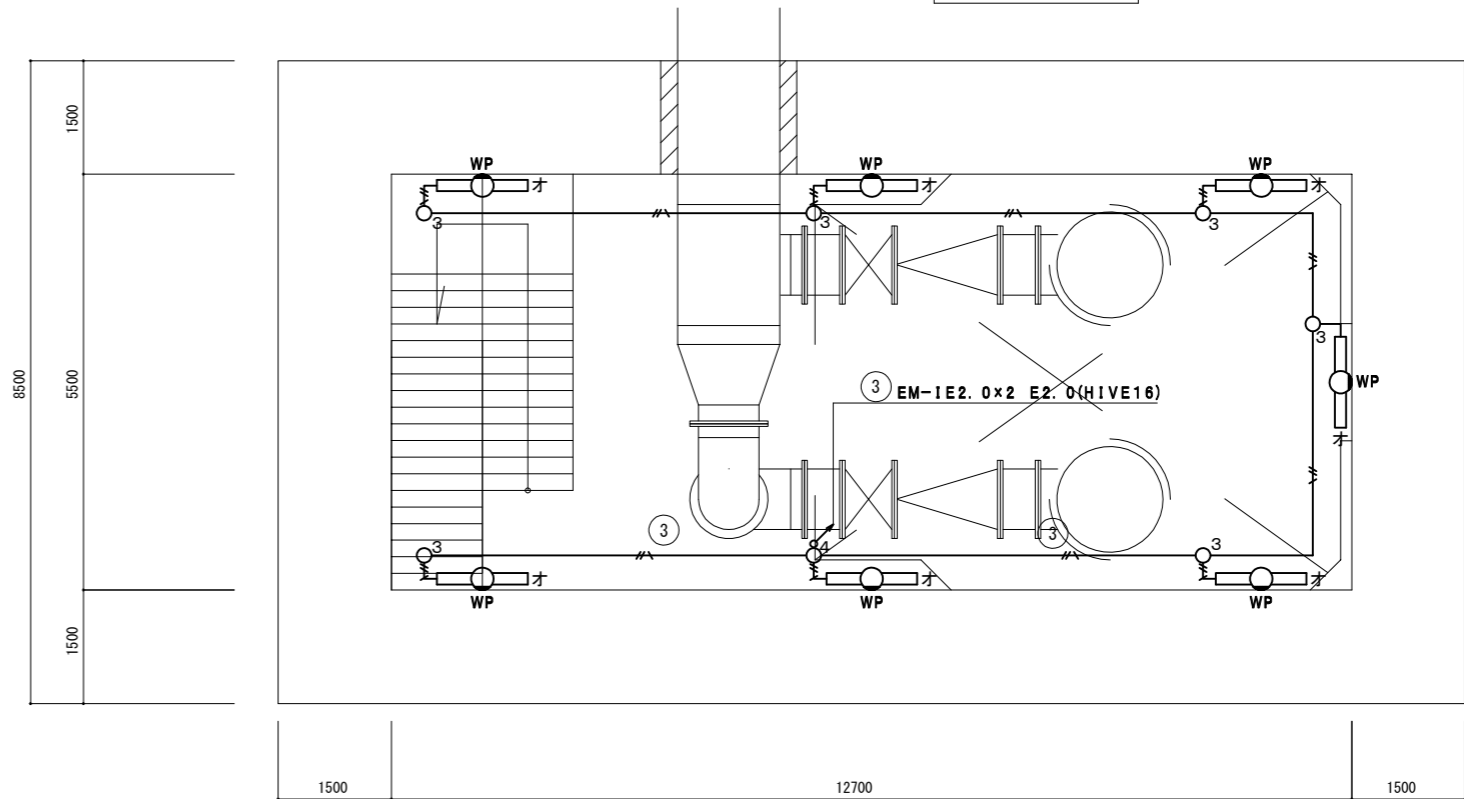
操作室・ポンプ室 1階平面図 1/50

(注記)

1. 特記なき配管配線は下記とする。

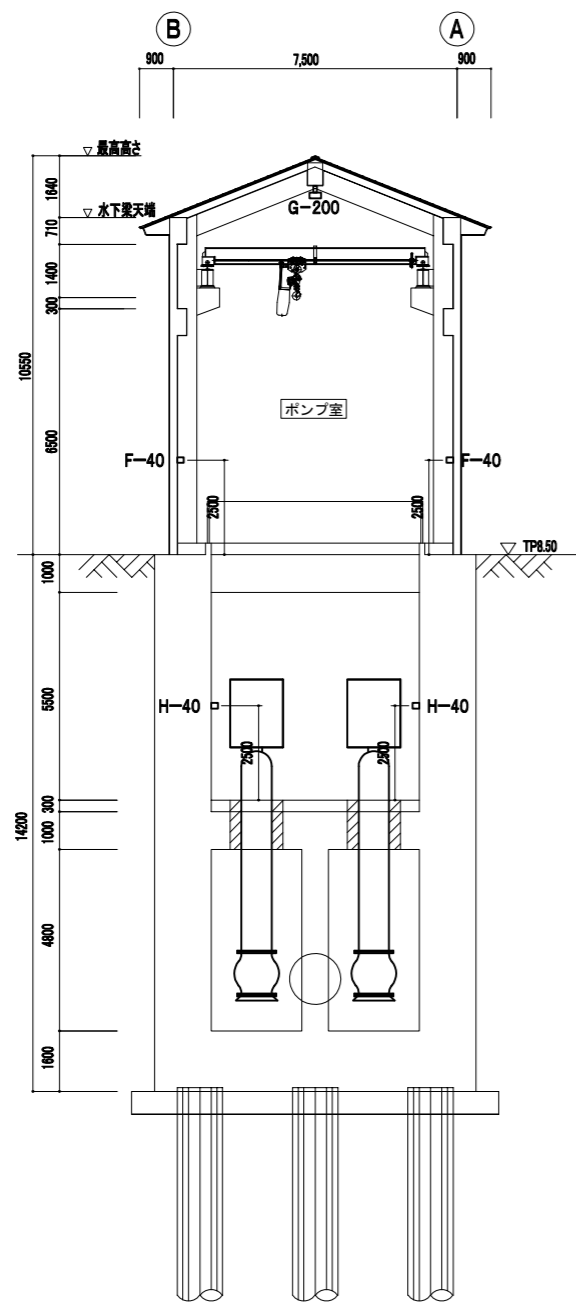
	(B1F)	(1F)
	EM-1E2.0x2 E2.0 (HIVE16) (E19)	
	EM-1E2.0x3 E2.0 (HIVE22) (E25)	
	EM-1E2.0x4 E2.0 (HIVE22) (E25)	
	EM-1E2.0x5 (HIVE22) (E25)	
	○—○ エキスパンションジョイント部 金属製可とう電線管を示す	

ポンプ室 (B1F)
H-40 x 7

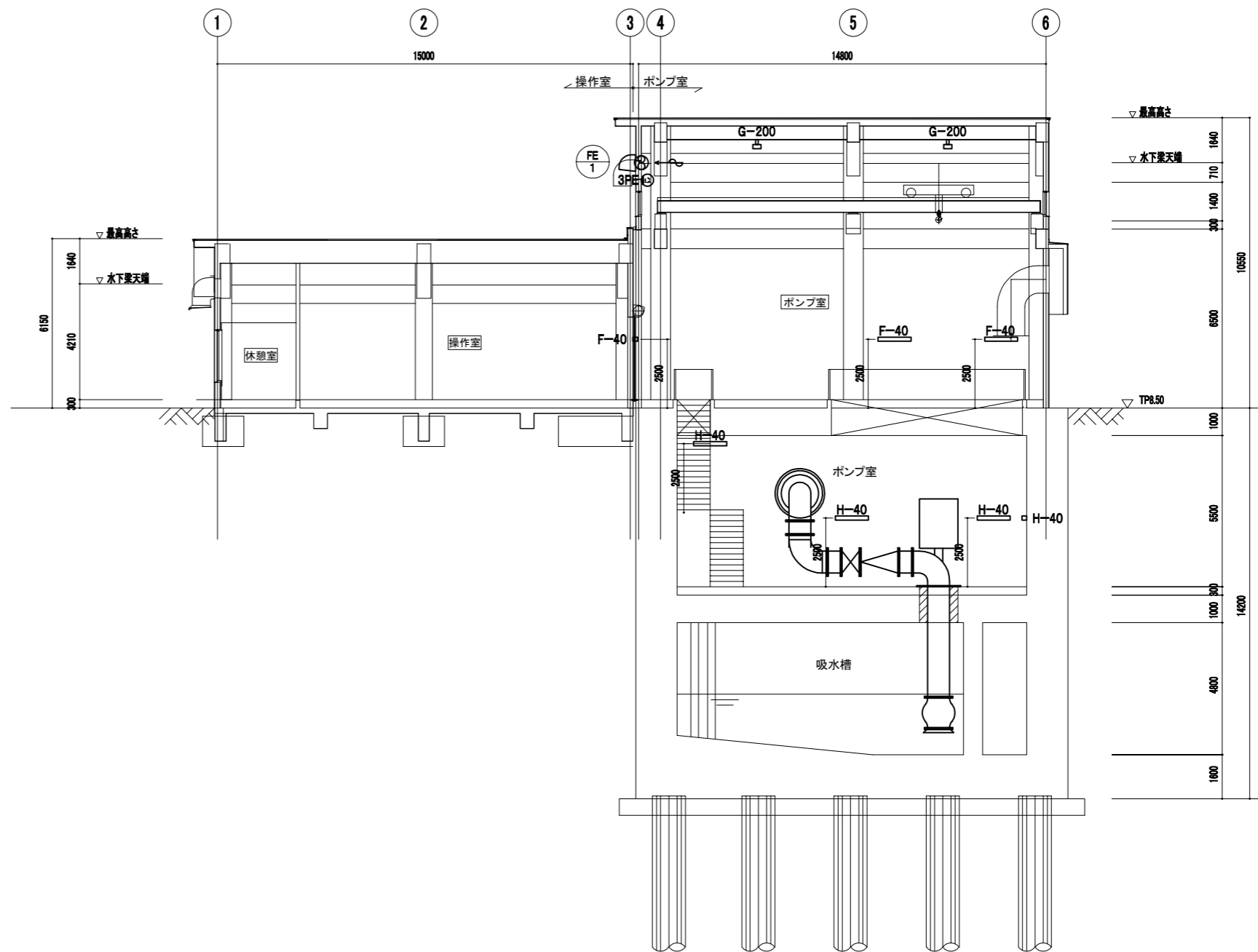


操作室・ポンプ室 B1階平面図 1/50

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	ポンプ室 電灯設備 平面図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	E-07
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		



ポンプ室 断面図 1/100



ポンプ室 断面図 1/100

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	ポンプ室 電灯設備 断面図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	E-08
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		